

農業従事者と農業労働力との関係

清水良平

一 はじめに

わが国の農業労働力は六〇年代における経済一般の高度成長とともに、著しい減少傾向を示していることは周知のとおりである。しかしながらその場合に農業労働力を示す統計指標には、統計の種類によってその水準および減少率にかなり違った値を示してきている。それぞれの統計はその調査の目的によって、調査の方法、定義などに相違があるので、調査結果の統計数値が異なるのは当然であるが、最近における開差には黙視しえない値を示してきた。まず昭和四〇年代における農業労働力の推移を示す各種の統計値を整理すると、第一表のようにあらわす

《ノート》 農業従事者と農業労働力との関係

ことができる。

農林省統計情報部による調査は五年置きに行なう「農業センサス」(二月一日現在)とその間を補完する「農業調査」(一月一日現在)があるが、そこでは農業労働力の指標として農業従事者と農業就業人口が把握されている。前者は一六歳以上の者で年間少しでも自家農業に従事した世帯員をいい、農業労働力としてはきわめて広い概念である。これに対して後者は農業従事者のうち、自家農業だけに従事した者と、農業とその他の仕事の両方に従事した者のうち農業が主である者の合計であり、後述の各種統計で把握されている農業就業者と同じ概念である。

さて農業従事者は昭和四〇年において一五四四万人(男七四九万人、女七九五万人)であったが、四七年現在では一三七六万人(男六七六万人、女七〇〇万人)というように減少し、その減少率は年率で一・六〇%というように、その減少傾向は他の統計に比べると著しく緩慢である。なお男女に区分すると、男は一・四〇%、女は一・八〇%と女子のほうが減少傾向はやや大きい。これに対して農業就業人口の場合には、昭和四〇年において一一五一万人(男四五六万人、女六九五万人)であったが、四七年現在では九〇〇万人(男三四六万人、女五五四万人)に減少し、その減少率は年率で三・五〇%というように農業従事者の二倍近い減少傾向を示している。なお男女別には男

第1表 農業労働力の推移（全国計）

（単位：万人）

統計の種類	昭40	41	42	43	44	45	46	47	減少率 (年率) (%)	
(1) 農業従事者	男女計	749 795 1,544	743 775 1,518	728 759 1,487	— — —	686 714 1,399	759 788 1,547	715 733 1,448	676 700 1,376	1.40 1.80 1.60
(2) 農業就業人口	男女計	456 695 1,151	460 678 1,138	443 657 1,100	428 630 1,058	408 605 1,013	397 628 1,025	378 582 960	346 554 900	3.75 3.20 3.50
(3) 農業就業者	男女計	446 544 990	432 522 954	421 508 929	417 490 907	410 467 878	385 438 823	352 398 750	324 364 687	4.50 5.60 5.10
(4) 農業就業者	男女計	514 576 1,090	— — —	— — —	466 537 1,003	— — —	— — —	369 437 806	— — —	5.40 4.50 4.90
(5) 農業就業者	男女計	501 585 1,086	— — —	— — —	— — —	— — —	411 516 927	— — —	— — —	3.90 2.50 3.10

備考. (1), (2)の農業従事者, 農業就業人口は「農業センサス」「農業調査」(農林省統計情報部)の結果で, それぞれ期首の値である。

(3)の農業就業者は「労働力調査」(総理府統計局)の結果で, 年平均の値である。

(4)の農業就業者は「就業構造基本調査」(総理府統計局)の結果で, 7月1日調査の値である。

(5)の農業就業者は「国勢調査」(総理府統計局)の結果で, 10月1日調査の値である。

三・七五%、女三・二〇%というように、男の減少傾向のほうが大きい点は、上述の農業従事者の場合と逆になっている。

次に総理府統計局が実施している「労働力調査」(年平均)、「就業構造基本調査」(七月一日現在)、「国勢調査」(一〇月一日現在)における農業労働力の推移について触れることにする。「労働力調査」における農業就業者は年平均の値が毎年発表されているが、昭和四〇年で九九〇万人(男四四六万人、女五四四万人)であったのが四七年現在では六八七万人(男三二四万人、女三六四万人)と減少してきている。この統計では農業労働力の水準、値が他のものに比べて最も小さく、既述の「農業センサス」および「農業調査」のそれに比べると一五〇～二〇〇万人小さいが、これは主として女子の農業労働力の格差によるものである。またこの「労働力調査」による値はその減少率が最も著しく、四〇年から四七年にかけて年率五・一〇%の減少傾向を示し、とくに女子のそれは五・六〇%で男子の

四・五〇％に比べると著しく大きい。

「就業構造基本調査」は三年ごとに実施されているが、四〇年の一〇九〇万人（男五一四万人、女五七六万人）から四六年には八〇六万人（男三六九万人、女四三七万人）というように、年率四・九〇％で減少してきている。農業労働力の水準値としては既述の「農業センサス」「農業調査」より小さく、「労働力調査」より大きい。また減少傾向は両者の中間であるが「労働力調査」の値のほうに近い値を示し、減少傾向は著しいといえる。しかし男女別にみると男子のほうが大きく、「労働力調査」の場合と反対である。

最後に「国勢調査」における農業労働力をみると、この調査は「農業センサス」と同一年次に実施されているが、四〇年の値が一〇八六万人（男五〇二万人、女五八五万人）であり、「農業センサス」の値より数十万人小さい。四五年には九二七万人（男四一一万人、女五一六万人）となり、その減少率は、年率三・一〇％で最も緩やかである。男女別には男子のほうが三・九〇％で、女子の二・五〇％に比べると著しく大きい。この点は上述の「就業構造基本調査」の場合と同様であり、「労働力調査」の場合と逆になっている。

以上のように各種系列の統計によって農業労働力を示す値は

《ノート》 農業従事者と農業労働力との関係

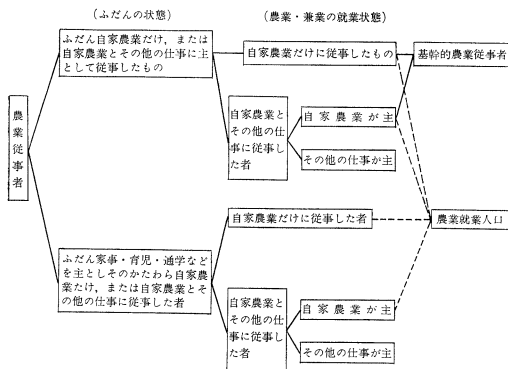
異なっている。とくに昭和四〇年当時は相対的にその開差が小さかったのが、時間の経過とともにその開差が拡大してきている。とくに「農業調査」（農林省統計情報部）のもの、と「労働力調査」（総理府統計局）のものとは、四七年現在で二〇〇万人以上の開差を示している。このように統計の種類によって大きな差があることは、使用する統計によって農業の労働生産性を求める場合に、また農業の生産開数を計測する場合などには問題が残ることになる。

この意味から農業生産に参与した農業労働力をあたまかずとして的人数で把握する現在の統計に対して、実際に投下された農業労働力をある一つの単位を基準にして、その量的把握を試みようとしたのが本稿の目的である。なおこの場合には全国一本という立場ではなく、各農業地域別のみならず都道府県別に求めることを目的としているが、これはその点から農業の地域構造の解明に、一つの情報を得ようと望んでいるためである。

注（一） 農業従事者と農業就業人口との乖離現象については、次の論文において展開されているので参照して頂きたい。

並木正吉「農業従事者と農業就業人口の乖離」（『本誌』第二七巻第二号）。

農業従事者の分類



注. 「その他の仕事」には、家事、育児は含まない。

二 農業従事者の変動

農業従事者という概念は既に触れたように、農業労働力を把握するための指標としては最も広範の概念であり、「農業センサス」、「農業調査」によって経年的に調査、公表されている。この農業従事者と農業就業人口、基幹的農業従事者といわれるものとの関係は、念のために農林省統計情報部の定義に即して述べると、次のように示すことができる。これから明らかなように農業生産に投下された労働力としては、あたまかずでみるかぎり農業従事者の概念によってカバーされることになる。

したがって農業労働力を量的に把握するためには、この農業従事者に依拠してある単位に換算することが必要となる。

その場合に使用しうる有力なものは、農業従事者日数別農業従事者という統計である。農業従事者そのものの統計は、戦後の農業センサスにおいて昭和二十一年、三〇年、三五年、四〇年、四五年の五回分が公表されている。しかしながら農業従事者日数別の農業従事者が公表されたのは、「七〇年農林業センサス」の統計がはじめてであり、以後は「農業調査」において公表されている。ただし「六五年農業センサス」については二〇分の一の抽出集計値が発表されている。したがって

農業従事日数別従事者の統計としては、昭和四〇年代からであり、それも現在までのところ四〇年、四五年、四六年、四七年の四年次である。

(一) 農業従事者の推移

昭和四〇年代における農業従事者について、従事日数を区分しない全体について概観すると、第二表のように示すことができる。これから明らかのように昭和四〇年において農業従事者は全国計で一五四四・四万人（男七四九・〇万人、女七九五・四万人）であったが、四五年には一五四六・五万人（男七五八・七万人、女七八七・八万人）とほとんど同じ水準で推移してきたが、四六年には一四四七・八万人（男七一五・一万人、女七三二・七万人）、四七年には一三七六・一万人（男六七五・九万人、女七〇〇・二万人）というように減少を示してきている。

したがってこの七年間における低下傾向は、〇・八九倍（男〇・九〇倍、女〇・八八倍）となっている。しかしながらこれを地域別にみると、地域によって減少の程度に多少の強弱がみられる。まず減少程度が相対的に著しい地域は、北海道、東京、大阪、鹿児島、ついで神奈川、愛知、広島、徳島、高知、熊本、宮崎の諸地域である。これらの地域は北海道、南九州などを除くと、おおむね都市化の進展している地域である。

これに対して減少傾向が相対的に緩慢な地域は、長野、群馬、福島、岐阜、滋賀、新潟、秋田、石川などの諸地域である。これらの地域は滋賀県を除くと、一般に中部以東の東日本地帯に集中しているのが目立っている。したがって昭和四〇年代における農業従事者の減少傾向を地域的にみると、既述のようにその程度が比較的著しい地域は、北海道、東京、神奈川などを除くと一般に西日本地帯に集中しているのに対して、減少程度が比較的緩やかな地域は東日本地帯に集中している点が対照的な特徴を示している。

(二) 従事日数別農業従事者の推移

農業従事者全体についての推移およびその地域性については上述のように概観したので、ここでは農業従事者の内容をその従事日数別に区分して考察することにする。この従事日数別農業従事者の統計については、はじめにも触れたように昭和四〇年、四五年、四六年、四七年の四年次しかないもので、これらについて整理したものが、第三、六表のように表示してある。ただしここでは都道府県別に示すと繁雑になるので、全国を二三の農業地域に大別して載せてある。

さて昭和四〇年における農業従事者は全国（男女計）で一五四四・四万人であるが、従事日数が年間一五〇日以上という専

者の推移

(単位:万人)

昭 46		昭 47			変動指数 (昭47/40)		
女 子	計	男 子	女 子	計	男 子	女 子	計
23.3	45.1	19.5	21.4	40.9	0.73	0.73	0.73
16.2	31.4	14.9	16.2	31.1	0.89	0.87	0.88
19.4	37.3	17.3	18.4	35.7	0.95	0.91	0.92
15.7	33.0	16.4	15.2	31.6	0.94	0.87	0.91
16.2	32.8	16.3	16.0	32.3	0.95	0.92	0.94
14.5	30.3	15.8	14.6	30.4	0.98	0.89	0.93
23.8	47.6	22.4	22.9	45.3	0.98	0.93	0.96
26.2	51.8	24.5	25.1	49.6	0.94	0.89	0.91
15.7	31.9	15.2	15.0	30.2	0.93	0.87	0.90
17.4	35.7	17.0	16.3	33.3	0.99	0.95	0.97
19.2	39.2	18.4	18.6	37.0	0.89	0.87	0.88
21.7	42.0	19.4	20.8	40.2	0.89	0.85	0.87
3.4	7.7	4.0	3.4	7.4	0.74	0.76	0.75
7.0	14.9	8.3	7.0	15.3	0.88	0.81	0.85
27.9	55.5	26.6	27.7	54.3	0.96	0.93	0.95
11.9	23.3	10.3	10.9	21.2	0.91	0.88	0.89
11.2	21.5	9.6	10.8	20.4	0.93	0.96	0.94
9.3	17.6	8.0	8.7	16.7	0.93	0.92	0.92
9.3	19.0	9.3	9.0	18.3	0.92	0.93	0.92
31.4	60.9	28.5	29.8	58.3	1.00	0.97	0.98
19.3	38.5	18.3	18.4	36.7	0.95	0.95	0.95
20.3	40.3	18.7	19.8	38.5	0.87	0.86	0.86
24.4	47.7	21.6	23.0	44.6	0.85	0.85	0.85
15.9	31.3	14.3	14.8	29.1	0.93	0.88	0.90
12.3	23.9	11.1	11.8	22.9	0.96	0.94	0.95
9.5	19.0	9.4	9.4	18.8	0.92	0.92	0.92
7.2	16.6	8.6	6.6	15.2	0.80	0.79	0.80
26.3	52.2	24.6	24.5	49.1	0.93	0.92	0.92
7.0	14.8	7.5	6.9	14.4	0.91	0.93	0.92
8.7	17.5	8.0	8.3	16.3	0.84	0.87	0.86
8.5	16.4	7.4	8.3	15.7	0.91	0.91	0.91
12.3	23.5	10.7	11.4	22.1	0.91	0.88	0.89
21.5	42.3	19.3	20.0	39.3	0.89	0.88	0.89
20.8	40.0	17.3	19.5	36.8	0.83	0.85	0.84
14.5	27.3	11.8	13.8	25.6	0.86	0.89	0.87
9.7	18.7	8.6	9.4	18.0	0.84	0.85	0.85
11.4	22.1	10.3	10.9	21.2	0.91	0.90	0.91
15.5	30.4	14.5	14.9	29.4	0.90	0.89	0.89
9.0	17.7	8.0	8.6	16.6	0.83	0.84	0.84
21.9	43.4	20.5	21.3	41.8	0.96	0.91	0.93
10.1	20.1	9.5	9.6	19.1	0.96	0.88	0.92
12.2	23.8	11.3	11.8	23.1	0.88	0.84	0.86
19.6	38.5	17.8	18.7	36.5	0.87	0.84	0.85
15.7	30.5	13.3	14.6	27.9	0.88	0.86	0.87
12.5	24.6	11.3	12.0	23.3	0.86	0.85	0.85
25.8	48.6	20.9	24.0	44.9	0.82	0.79	0.81
732.7	1,447.8	675.9	700.2	1,376.1	0.90	0.88	0.89

第2表 農 業 従 事

	昭 40			昭 45			男 子
	男 子	女 子	計	男 子	女 子	計	
北海道	26.7	29.3	56.0	23.8	26.0	49.8	21.8
青森	16.8	18.6	35.4	17.3	18.6	35.9	15.1
岩手	18.3	20.3	38.6	19.3	20.5	39.8	17.9
宮城	17.4	17.4	34.8	17.6	16.8	34.4	17.3
秋田	17.1	17.3	34.4	18.0	17.8	35.8	16.6
山形	16.2	16.4	32.6	16.9	16.2	33.1	15.8
福島	22.8	24.6	47.4	23.7	24.4	48.1	23.8
茨城	26.2	28.1	54.3	26.9	27.9	54.8	25.6
栃木	16.3	17.2	33.5	17.0	17.0	34.0	16.2
群馬	17.1	17.2	34.3	18.4	18.0	36.4	18.2
埼玉	20.6	21.5	42.1	21.3	21.2	42.5	20.0
千葉	21.7	24.6	46.3	21.9	23.3	45.2	20.3
東京	5.4	4.5	9.9	4.5	3.6	8.1	4.3
奈良	9.4	8.6	18.0	9.2	8.3	17.5	7.9
和歌山	27.6	29.8	57.4	28.9	29.6	58.5	27.6
富山	11.3	12.4	23.7	12.1	12.8	24.9	11.5
石川	10.3	11.3	21.6	10.6	11.4	22.1	10.3
福井	8.6	9.5	18.1	8.8	9.5	18.4	8.3
山梨	10.1	9.7	19.8	10.4	10.3	20.7	9.7
長野	28.6	30.6	59.2	30.7	32.6	63.3	29.5
岐阜	19.3	19.3	38.6	20.0	20.1	40.1	19.2
静岡	21.6	23.0	44.6	22.2	22.9	45.1	20.0
愛知	25.5	27.2	52.7	26.3	27.2	53.5	23.3
三重	15.4	16.8	32.2	16.1	16.8	32.9	15.5
滋賀	11.6	12.6	24.2	12.3	12.9	25.2	11.6
京都	10.2	10.2	20.4	10.0	10.1	20.1	9.6
大阪	10.7	8.4	19.1	9.7	7.5	17.2	9.3
兵庫	26.4	26.7	53.1	26.6	26.8	53.4	25.9
奈良	8.2	7.4	15.6	8.1	7.2	15.4	7.9
和歌山	9.5	9.5	19.0	9.1	9.2	18.3	8.8
鳥取	8.1	9.1	17.2	8.4	9.3	17.8	7.8
島根	11.8	12.9	24.7	11.6	12.5	24.1	11.2
岡山	21.6	22.7	44.3	22.1	23.2	45.3	20.8
広島	20.9	23.0	43.9	20.1	22.1	42.2	19.3
山口	13.8	15.5	29.3	13.8	15.6	29.4	12.8
徳島	10.2	11.0	21.2	10.1	10.8	21.0	9.0
香川	11.3	12.1	23.4	11.4	12.3	23.7	10.7
愛媛	16.2	16.7	32.9	15.5	16.3	31.8	14.9
高知	9.6	10.2	19.8	8.7	9.2	17.9	8.6
福岡	21.4	23.4	44.8	22.6	24.3	46.9	21.5
佐賀	9.9	10.9	20.8	10.6	11.3	21.9	10.0
熊本	12.9	14.1	27.0	12.5	13.2	25.7	11.7
大分	20.4	22.3	42.7	20.8	22.1	42.9	18.9
宮崎	15.2	16.9	32.1	14.9	16.5	31.4	14.8
鹿児島	13.1	14.2	27.3	13.0	13.9	26.9	12.1
沖縄	25.5	30.2	55.7	24.7	28.5	53.2	22.8
全 国	749.0	795.4	1,544.4	758.7	787.8	1,546.5	715.1

資料：「農業センサス」、「農業調査」（農林省統計情報部）。

第3表 従事日数別農業従事者の推移 (昭和40)

(単位:千人)

地 域	農 業 従 事 日 数				計	同 構 成 比 (%)				計	
	～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59	60～149	150～		
北海道	57.5	51.9	68.3	382.2	559.9	10.3	9.3	12.2	68.2	100.0	
東北	351.4	300.1	382.2	1,196.6	2,232.3	15.7	13.5	17.1	53.7	100.0	
北 陸	248.2	180.8	225.0	554.2	1,208.3	20.5	15.0	18.6	45.9	100.0	
北関東	218.4	188.9	244.8	991.6	1,643.7	13.3	11.5	14.9	60.3	100.0	
南関東	105.0	96.9	124.7	414.5	741.2	14.2	13.1	16.8	55.9	100.0	
東 山	176.0	109.8	130.2	374.9	790.9	22.3	13.9	16.5	47.3	100.0	
東 海	375.2	271.8	317.8	717.5	1,682.3	22.3	16.2	18.9	42.6	100.0	
近 畿	417.8	289.0	296.9	510.0	1,513.8	27.6	19.1	19.6	33.7	100.0	
山 陰	76.4	60.0	79.4	204.1	419.8	18.2	14.3	18.9	48.6	100.0	
山 陽	237.0	189.2	222.8	527.3	1,176.3	20.1	16.2	18.9	44.8	100.0	
四 国	172.1	151.0	189.0	459.9	972.1	17.7	15.6	19.4	47.3	100.0	
北九州	299.1	232.4	300.9	840.8	1,673.2	17.9	13.9	18.0	50.2	100.0	
南九州	126.1	101.3	141.3	460.9	829.6	15.2	12.2	17.0	55.6	100.0	
全国計	2,860.4	2,223.2	2,723.2	7,636.5	15,443.3	18.5	14.5	17.6	49.4	100.0	
男	北海道	32.0	23.8	26.4	184.7	266.9	12.0	8.9	9.9	69.2	100.0
	東北	196.8	155.3	173.6	560.5	1,086.2	18.1	14.3	16.0	51.6	100.0
	北 陸	142.3	94.8	98.3	242.0	577.5	24.6	16.5	17.0	41.9	100.0
	北関東	116.8	91.6	106.4	488.3	803.1	14.5	11.4	13.2	60.8	100.0
	南関東	56.3	45.8	52.8	209.8	364.7	15.4	12.6	14.5	57.5	100.0
東 山	97.1	58.4	54.4	177.6	387.5	25.1	15.1	14.0	45.8	100.0	

子	東海	209.2	135.7	137.5	336.8	819.2	26.5	16.6	16.8	41.1	100.0
	近畿	224.3	145.9	134.1	261.9	766.3	29.3	19.0	17.5	34.2	100.0
	山陰	44.6	32.3	35.1	87.0	199.0	22.4	16.3	17.6	43.7	100.0
	山陽	134.4	101.9	101.1	226.0	553.4	23.9	18.1	17.9	40.1	100.0
	四国	93.3	77.3	85.6	216.1	472.4	19.8	16.4	18.1	45.7	100.0
	北九州	162.1	116.7	129.5	389.2	797.5	20.3	14.7	16.2	48.8	100.0
	南九州	69.7	53.2	63.7	199.3	385.9	18.1	13.8	16.5	51.6	100.0
	全国計	1,579.0	1,132.7	1,198.5	3,579.3	7,489.5	21.1	15.1	16.0	47.8	100.0
女	北海道	25.5	28.1	41.9	197.5	293.0	8.7	9.6	14.3	67.4	100.0
	東北	154.6	144.8	208.6	638.1	1,146.1	13.5	12.6	18.2	55.7	100.0
	北陸	105.9	86.0	126.7	312.2	630.8	16.8	13.6	20.1	49.5	100.0
	北關東	101.6	97.3	138.4	503.3	840.6	12.0	11.6	16.5	59.9	100.0
	南關東	48.7	51.1	71.9	204.7	376.5	12.9	13.6	19.1	54.4	100.0
	東山	78.9	51.4	75.8	197.3	403.4	19.6	12.7	18.8	48.9	100.0
	東海	166.0	136.1	180.3	380.7	863.1	19.2	15.8	20.9	44.1	100.0
	近畿	193.5	143.1	162.8	248.1	747.5	25.9	19.1	21.8	33.2	100.0
	山陰	31.8	27.7	44.3	117.1	220.8	14.4	12.5	20.1	53.0	100.0
	山陽	102.6	87.3	121.7	301.3	612.9	16.7	14.2	19.9	49.2	100.0
子	四国	78.8	73.7	103.4	243.8	499.7	15.8	14.7	20.7	48.8	100.0
	北九州	137.0	115.7	171.4	451.6	875.7	15.6	13.2	19.6	51.6	100.0
	南九州	56.4	48.1	77.6	261.6	443.7	12.7	10.8	17.5	59.0	100.0
	全国計	1,281.4	1,090.5	1,524.7	4,057.2	7,983.8	16.1	13.7	19.2	51.0	100.0

資料：第2表と同じ。

第4表 従事日数別農業従事者の推移 (昭和45)

(単位:千人)

地 域	農 業 従 事 日 数					同 構 成 比 (%)					
	～29日	30～59	60～149	150～	計	～29日	30～59	60～149	150～	計	
北海道	83.1	51.6	65.8	297.2	497.7	16.7	10.4	13.2	59.7	100.0	
東 北	536.8	341.5	441.6	950.9	2,270.9	23.7	15.0	19.4	41.9	100.0	
北 陸	362.4	224.2	281.8	369.9	1,238.3	29.3	18.1	22.8	29.8	100.0	
北関東	383.0	219.1	271.9	802.4	1,676.4	22.8	13.1	16.2	47.9	100.0	
南関東	153.5	115.7	139.1	299.6	707.9	21.7	16.4	19.6	42.3	100.0	
東 山 陰	276.6	134.3	128.5	300.9	840.3	32.9	16.0	15.3	35.8	100.0	
東 海	580.2	319.7	308.4	507.9	1,716.2	33.8	18.6	18.0	29.6	100.0	
近 畿	583.7	329.0	279.0	304.4	1,496.1	39.0	22.0	18.7	20.3	100.0	
山 陽	111.6	72.9	82.5	152.3	419.2	26.7	17.4	19.7	36.2	100.0	
山 陰	357.3	225.5	229.4	357.5	1,169.7	30.5	19.3	19.6	30.6	100.0	
四 国	254.6	172.5	183.0	334.0	944.0	27.0	18.3	19.4	35.3	100.0	
北九州	462.6	281.7	319.9	623.6	1,687.9	27.4	16.7	19.0	36.9	100.0	
南九州	186.1	120.1	149.1	345.5	800.8	23.2	15.1	18.6	43.1	100.0	
全国計	4,331.4	2,607.9	2,880.0	5,646.3	15,465.6	28.0	16.9	18.6	36.5	100.0	
男	北海道	40.3	20.4	27.2	150.2	238.0	16.9	8.6	11.4	63.1	100.0
	東 北	292.4	176.6	206.8	451.2	1,126.9	25.9	15.7	18.4	40.0	100.0
	北 陸	199.4	113.5	124.3	167.5	604.6	33.0	18.8	20.6	27.6	100.0
	北関東	204.6	111.1	120.4	399.0	885.1	24.5	13.3	14.4	47.8	100.0
	南関東	83.3	57.0	59.8	155.8	355.9	23.4	16.0	16.8	43.8	100.0
東 山 陰	143.4	72.2	54.0	141.8	411.5	34.8	17.5	13.2	34.5	100.0	

子	東 瀨	315.6	157.7	130.6	242.0	845.9	37.3	18.6	15.4	28.6	100.0
	近 畿	308.6	167.3	125.2	163.8	759.8	40.0	22.0	16.5	21.5	100.0
	山 陰	60.4	37.9	37.6	65.0	200.9	30.1	18.9	18.7	32.3	100.0
	山 陽	188.0	118.4	102.2	151.5	560.2	33.6	21.1	18.3	27.0	100.0
	四 国	129.8	88.2	82.9	157.1	457.9	28.3	19.3	18.1	34.3	100.0
	北九州	234.8	139.2	139.3	300.8	814.1	28.8	17.1	17.2	36.9	100.0
	南九州	96.2	61.5	65.9	153.1	376.7	25.5	16.4	17.5	40.6	100.0
	全国計	2,291.7	1,320.9	1,276.2	2,698.7	7,587.5	30.2	17.4	16.8	35.6	100.0
	北海道	42.8	31.3	38.5	147.1	259.7	16.5	12.1	14.8	56.6	100.0
	東北	244.5	164.9	234.8	499.7	1,143.9	21.4	14.4	20.5	43.7	100.0
女	北 陸	163.0	110.7	157.6	202.4	633.7	25.7	17.5	24.9	31.9	100.0
	北関東	178.4	108.1	151.5	403.4	841.4	21.2	12.9	18.0	47.9	100.0
	南関東	70.3	58.7	79.3	143.8	352.0	20.0	16.7	22.5	40.8	100.0
	東 山	133.2	62.1	74.5	159.1	428.9	31.1	14.4	17.4	37.1	100.0
	東 海	264.7	161.9	177.9	265.9	870.3	30.4	18.6	20.4	30.6	100.0
	近 畿	280.1	161.7	153.8	140.7	736.3	38.0	22.0	20.9	19.1	100.0
	山 陰	51.1	35.0	44.9	87.3	218.3	23.4	16.0	20.6	40.0	100.0
	山 陽	169.2	107.1	127.2	206.0	609.6	27.8	17.6	20.9	33.9	100.0
	四 国	124.8	84.4	100.1	176.9	486.2	25.7	17.4	20.6	36.3	100.0
	北九州	227.9	142.5	180.6	322.9	873.8	26.1	16.3	20.7	36.9	100.0
子	南九州	89.8	58.6	83.2	192.5	424.1	21.2	13.8	19.6	45.4	100.0
	全国計	2,039.6	1,287.0	1,603.9	2,947.6	7,878.1	25.9	16.4	20.4	37.3	100.0

1 図 図

第5表 従事日数別農業従事者の推移（昭和46）

（単位：千人）

地 域	農 業 従 事 日 数					同 構 成 比 (%)					
	～29日	30～59	60～149	150～	計	～29日	30～59	60～149	150～	計	
男	北海道	66.3	46.4	53.7	284.1	450.5	14.7	10.3	11.9	63.1	100.0
	東北	460.6	329.6	430.3	902.6	2,123.1	21.7	15.5	20.3	42.5	100.0
	北陸	359.8	212.3	257.4	348.9	1,178.4	30.5	18.1	21.8	29.6	100.0
	北関東	319.1	225.3	281.3	759.5	1,585.1	20.1	14.3	17.7	47.9	100.0
	南関東	106.5	98.2	108.7	332.8	646.2	16.5	15.2	16.8	51.5	100.0
女	東 山	245.7	127.8	121.5	304.1	799.0	30.7	16.0	15.2	38.1	100.0
	東 海	472.5	314.9	292.6	497.6	1,577.6	30.0	20.0	18.5	31.5	100.0
	近 畿	568.6	334.7	251.8	285.4	1,440.4	39.5	23.2	17.5	19.8	100.0
	山 陽	99.2	77.9	79.2	142.3	398.6	24.9	19.5	19.9	35.7	100.0
	山 陰	302.1	231.5	210.3	352.1	1,096.0	27.6	21.1	19.2	32.1	100.0
計	四 国	220.0	171.6	170.1	326.9	888.5	24.8	19.3	19.1	36.8	100.0
	北九州	380.1	262.4	289.3	631.2	1,562.9	24.3	16.8	18.5	40.4	100.0
	南九州	127.2	107.8	140.0	356.5	731.5	17.4	14.8	19.1	48.7	100.0
	全国計	3,727.5	2,540.2	2,666.1	5,523.9	14,477.7	25.7	17.5	18.6	38.2	100.0
男	北海道	33.2	18.0	23.3	143.5	218.0	15.2	8.3	10.7	65.8	100.0
	東北	255.1	167.8	207.4	434.3	1,064.7	24.0	15.8	19.5	40.7	100.0
	北陸	207.5	103.9	111.6	152.9	575.9	36.0	18.1	19.4	26.5	100.0
	北関東	183.2	113.8	123.2	379.7	799.9	22.9	14.2	15.4	47.5	100.0
	南関東	58.7	50.1	49.8	165.8	324.4	18.1	15.4	15.4	51.1	100.0
東 山	132.0	67.9	52.9	139.1	391.9	33.7	17.3	13.5	35.5	100.0	

子	北海道	274.7	149.0	122.7	232.3	778.7	35.3	19.1	15.8	29.8	100.0
	近畿	308.9	160.0	113.8	147.6	730.4	42.3	21.9	15.6	20.2	100.0
	山陽	57.6	38.8	35.2	56.7	190.3	30.3	20.4	18.5	30.8	100.0
	山陽	166.8	120.2	92.3	148.8	528.1	31.6	22.8	17.5	28.1	100.0
	四国	120.0	85.6	77.3	149.3	432.1	27.8	19.8	17.9	34.5	100.0
	北九州	209.0	135.0	127.9	296.9	767.8	27.2	17.6	16.7	38.5	100.0
	南九州	70.5	57.1	66.3	154.7	348.6	20.2	16.4	19.0	44.4	100.0
	全国計	2,077.3	1,267.1	1,203.8	2,602.6	7,150.8	29.0	17.7	16.9	36.4	100.0
女	北海道	33.1	28.4	30.4	140.6	232.6	14.2	12.3	13.1	60.4	100.0
	東北	205.5	161.8	222.9	468.2	1,058.3	19.4	15.3	21.1	44.2	100.0
	北陸	152.3	108.3	145.8	196.0	602.4	25.3	18.0	24.2	32.5	100.0
	北関東	135.9	111.5	158.1	379.7	785.2	17.3	14.2	20.1	48.4	100.0
	南関東	47.8	48.1	59.0	167.0	321.8	14.9	14.9	18.3	51.9	100.0
	東山	113.6	59.9	68.6	165.0	407.1	27.9	14.7	16.9	40.5	100.0
	東海	197.8	166.0	169.9	265.3	798.9	24.8	20.8	21.3	33.1	100.0
	近畿	259.7	174.7	138.0	137.7	710.0	36.6	24.6	19.4	19.4	100.0
	山陽	41.6	39.0	44.0	83.7	208.3	20.0	18.7	21.1	40.2	100.0
	山陽	135.3	111.3	118.0	203.3	567.8	23.8	19.6	20.8	35.8	100.0
子	四国	100.0	86.0	92.8	177.7	456.4	21.9	18.9	20.3	38.9	100.0
	北九州	171.1	127.4	161.4	335.3	795.2	21.5	16.0	20.3	42.2	100.0
	南九州	56.7	50.7	73.8	201.8	382.9	14.8	13.2	19.3	52.7	100.0
	全国計	1,650.2	1,273.1	1,482.3	2,921.4	7,327.0	22.5	17.4	20.2	39.9	100.0

第6表 従事日数別農業従事者数の推移（昭47）

（単位：千人）

地 域	農 業 従 事 日 数					同 構 成 比 (%)				
	～29日	30～59	60～149	150～	計	～29日	30～59	60～149	150～	計
北海道	54.3	44.4	55.6	254.5	408.7	13.3	10.9	13.6	62.3	100.0
東北	478.8	342.0	444.0	797.4	2,062.4	23.2	16.6	21.5	38.7	100.0
北 陸	342.1	236.5	249.6	298.2	1,126.4	30.3	21.0	22.2	26.5	100.0
北 海 道	311.5	244.0	269.2	676.3	1,500.9	20.8	16.3	17.9	45.0	100.0
南 関 東	112.5	103.2	108.6	304.8	629.0	17.9	16.4	17.3	48.4	100.0
東 山 越	262.2	139.4	125.7	237.9	765.3	34.3	18.2	16.4	31.1	100.0
東 海	486.4	311.6	263.6	428.5	1,489.9	32.6	20.9	17.7	28.8	100.0
近 畿	533.8	320.0	247.5	265.1	1,366.5	39.1	23.4	18.1	19.4	100.0
山 陽	89.4	77.0	78.2	134.4	379.0	23.6	20.3	20.6	35.5	100.0
山 陰	318.4	234.2	199.8	263.8	1,016.2	31.3	23.0	19.7	26.0	100.0
四 国	212.8	171.6	165.2	300.9	850.5	25.0	20.2	19.4	35.4	100.0
北 九 州	371.6	273.7	280.9	557.1	1,483.2	25.1	18.5	18.9	37.5	100.0
南 九 州	117.1	123.0	138.7	300.6	682.4	17.2	18.0	20.3	44.5	100.0
全 国 計	3,691.3	2,620.5	2,626.4	4,822.2	13,760.4	26.8	19.0	19.1	35.1	100.0
計	26.3	17.2	21.5	130.2	195.2	13.5	8.8	11.0	66.7	100.0
	264.1	163.7	211.3	391.0	1,030.2	25.6	15.9	20.5	38.0	100.0
	192.6	115.4	104.3	132.7	545.0	35.3	21.2	19.2	24.3	100.0
	176.3	122.9	114.9	336.8	750.9	23.5	16.4	15.3	44.8	100.0
	64.4	51.5	49.4	151.5	316.8	20.3	16.3	15.6	47.8	100.0
東 山	142.2	67.3	52.9	114.9	377.3	37.7	17.8	14.0	30.5	100.0

子	北海道	282.2	142.6	102.1	202.3	729.1	38.7	19.6	14.0	27.7	100.0
	近畿	289.0	154.5	111.7	135.9	691.2	41.7	22.4	16.2	19.7	100.0
	山陽	52.6	38.3	32.5	58.0	181.4	29.0	21.1	17.9	32.0	100.0
	山陽	171.8	117.1	83.6	111.0	483.6	35.5	24.2	17.3	23.0	100.0
	四国	117.0	84.3	73.4	138.1	412.9	28.3	20.4	17.9	33.4	100.0
	北九州	207.1	135.4	116.8	263.4	722.7	28.7	18.7	16.2	36.4	100.0
	南九州	64.1	64.9	63.4	130.1	322.5	19.9	20.1	19.7	40.3	100.0
	全国計	2,049.9	1,275.2	1,137.8	2,295.8	6,758.7	30.3	18.9	16.8	34.0	100.0
女	北海道	28.0	27.2	34.1	124.3	213.5	13.1	12.7	16.0	58.2	100.0
	東北	214.7	178.3	232.7	406.4	1,082.2	20.8	17.3	22.5	39.4	100.0
	北陸	149.5	121.1	145.3	165.5	581.4	25.7	20.8	25.0	28.5	100.0
	北關東	135.2	121.1	154.3	339.5	750.0	18.0	16.1	20.6	45.3	100.0
	南關東	48.1	51.7	59.2	153.3	312.2	15.4	16.6	19.0	49.0	100.0
	東山	120.0	72.1	72.8	123.0	388.0	30.9	18.6	18.8	31.7	100.0
	東海	204.2	169.0	161.5	226.2	760.8	26.8	22.2	21.2	29.7	100.0
	近畿	244.8	165.5	135.8	129.2	675.3	36.3	24.5	20.1	19.1	100.0
	山陽	36.8	38.7	45.7	76.4	197.6	18.6	19.6	23.1	38.7	100.0
	山陽	146.6	117.1	116.2	152.8	532.6	27.5	22.0	21.8	28.7	100.0
子	四国	95.8	87.3	91.8	162.8	437.6	21.9	19.9	21.0	37.2	100.0
	北九州	164.5	138.3	164.1	293.7	760.5	21.6	18.2	21.6	38.6	100.0
	南九州	53.1	58.1	75.3	173.5	359.9	14.8	16.1	20.9	48.2	100.0
	全国計	1,641.4	1,345.3	1,488.6	2,526.4	7,001.7	23.4	19.2	21.3	36.1	100.0

従者の割合は四九・四%と半分に近いのに対して、従事日数が年間六〇～一四九日という補助者の割合は一七・六%程度である。いっぽう従事日数が年間六〇日未満のフリンジ・レーバーは五〇・八・四万人で、その割合は三二・〇%を占めているが、これを日数区分でみると三〇日未満が一八・五%、三〇～五九日が一四・五%を示している。しかしながらこれを男女別にみると、男女によってかなりの差異がみられる。すなわち専従者（年間一五〇日以上）と補助者（六〇～一四九日）の割合は女子のほうが大きい、フリンジ・レーバーは男子のほうが大きく、とくに従事日数が年間三〇日未満という者の割合は男子のほうが女子に比べてかなり大きい。

以上は全国計についての特徴であるが、これを農地地域別にみると地域の性格によって著しい相違がみられる。まず男女計の場合に専従者（年間一五〇日以上）の割合をみると、北海道、北関東について南関東、南九州の地域ではこの値が相対的に大きく、これとは反対に近畿ではこの値が著しく小さく、ついで山陽、北陸の地域ではこの値が相対的に小さい。次に補助者（年間六〇～一四九日）についてみると、この値が小さい地域は北海道が最も著しく、ついで北関東が目立っているほかは各地域ともおおむね同じ水準に前後している。最後にフリンジ・レーバー（年間六〇日未満）についてみると、従事日数が年間

三〇～五九日の場合には、北海道、北関東における値が相対的に小さく、近畿は逆にこの値が相対的に大きい。また従事日数が年間三〇日未満の場合には、北海道、北関東、南関東の諸地域でその値が小さく、逆に近畿、東海、東山ではその値が大きい点が目立っている。

以上は男女計についての議論であるが、次にこれを男女別に区分して概観することにする。まず専従者の場合についてみると、この値が相対的に大きい地域は男子の場合に、北海道、北関東、南関東の諸地域であり、女子の場合には北海道、北関東、南九州の諸地域が目立っている。次にこの値が相対的に小さい地域は男子の場合に、近畿、四国、東海、北陸の諸地域であり、女子の場合には近畿、東海の両地域が著しい。次に補助者についてみると、この値が相対的に小さい地域は、男女ともに北海道が著しく、ついで北関東である。いっぽうこの値が相対的に大きい地域については、男女ともにくに目立ったところがみられず、おおむね全国平均の水準を前後している。

最後に従事日数が六〇日未満のフリンジ・レーバーについてみると、まず従事日数が三〇～五九日の場合にこの値が相対的に大きい地域は、男子では近畿、山陽、東海、四国、山陰であり、女子では近畿、東海が目立っている。またこれとは逆にその値が相対的に小さい地域は、男子では北海道、北関東、南関

東、女子では北海道、南九州、北関東の諸地域である。次に従事日数が三〇日未満の場合についてみると、この値が相対的に大きい地域は男子では、近畿、東海、東山、北陸であり、また女子では近畿、東海、東山が目立っている。いっぽうこの値が相対的に小さい地域では、男子の場合に北海道、北関東、南関東であり、女子の場合には北海道、北関東、南九州、南関東の諸地域である。

「六五年農業センサス」の結果からみた従事日数別農業従事者の状態は上述のとおりであるが、それに続く「七〇年農林業センサス」の結果はいかになつたかを次に概観することにする。四五年における農業従事者数は全国男女計で一五四六・六万人であり、四〇年の一五四四・四万人と同水準を保っているが、これを従事日数別にみると大きな変化を示している。すなわち年間従事日数が一五〇日以上である専従者のウエートを見ると、四〇年の四九・四％から著しく低下して三六・五％の値となっている。

いっぽう従事日数が六〇～一四九日の補助者のウエートはほとんど変わらない水準を示しているのに対して、従事日数が六〇日未満のフリンジ・レーバーのウエートは四五年になると著しく増大してきている。すなわち従事日数が三〇～五九日の場合には、四〇年のウエートが一四・五％、四五年のそれは一六・

九％であるから増大の程度は比較的小さいが、従事日数が三〇日未満の場合には四〇年のウエートが一八・五％であったのに対して、四五年には二八・〇％というように一〇ポイント近い激増を示している点は注目すべき傾向といえる。

このように四〇年から四五年にかけて従事日数別従事者のシェアには大きな変動が生じてきている。このような状況のなかで農業地域別にみると、四〇年のときと同様に四五年においても地域の性格に著しい差異がみられる。男女合計についてまず専従者のシェアを地域別にみると、この値が相対的に大きい地域は北海道が最も著しく、ついで北関東、南九州、南関東、東北の諸地域である。これに対してこの値が相対的に小さい地域は近畿が最も著しく、ついで東海、北陸、山陽の諸地域が目立っている。

次に従事日数が六〇～一四九日の補助者のシェアについて地域別にみると、この場合には地域によるバラツキが比較的小さい。しかしながらそのなかでは北海道の値が著しく小さく、逆に北陸の値は著しく大きいのが目立っている。最後に従事日数が六〇日未満のフリンジ・レーバーの場合について概観することにする。まず従事日数が三〇～五九日であるもののシェアを地域別にみると、地域によるバラツキは比較的小さいといえる。しかしながら近畿の値は相対的に大きく、北海道について北関

東の値は相対的に小さいのが目立っている。これに対して従事日数が三〇日未満の場合には、地域によるバラツキが比較的大きい。すなわち近畿、東海、東山における値が相対的に大きく、逆に北海道の値は著しく小さいのが特徴的である。

以上は男女合計についての地域的性格であるので、次に男女別にみた地域の特徴を概観することにする。まず従事日数が一五〇日以上という農業専従者のシェアをみると、この値が著しく大きいのは男女とも北海道であり、ついで北関東である。また男子では南関東が女子では南九州が相対的に大きい。これに対してこの値が小さい地域は、男女とも近畿が著しく、ついで北陸、東海の地域である。なお男子では山陽も相対的に小さいのが目立っている。

次に従事日数が六〇〜一四九日という補助者のシェアについてみると、この場合には男女とも地域によるバラツキは比較的小さいといえる。しかしながら男女とも北陸が相対的に大きく、北海道、東山が相対的に小さい点が特徴的である。最後に従事日数が六〇日未満というフルンジ・レーバーのシェアについてみることにする。まず従事日数が三〇〜五九日の場合には、男女とも地域によるバラツキが比較的小さい。しかしそのなかでもシェアが相対的に大きいのは、男子で近畿、山陽、女子で近畿が目立ち、逆にその値が相対的に小さい地域は、男女とも北

海道と北関東の二地域である。次に従事日数が三〇日未満の場合には、男女とも地域によるバラツキが比較的大きい。シェアの値が相対的に大きいところは、男子の場合に近畿、東海、東山、山陽であり、女子の場合にも近畿、東海、東山の諸地域である。これに対してこの値が相対的に小さい地域をみると、男女とも北海道が著しく、ついで南関東、北関東、南九州などが目立っている。

以上センサス年次における農業従事者の状態について、地域的性格の概要を考察してきた。これにつづく年次として四六年、四七年についても第五、六表に載せてあるが、その傾向はおおむね既述と同様であるので、ここでは省略することにする。

注(一) ここでの農業地域は統計情報部の定義した地域区分であり、次のとおりである。

(地域)		(都道府県)	
北海道		北海道	
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島		
北陸	新潟、富山、石川、福井		
北関東	茨城、栃木、群馬、埼玉		
南関東	千葉、東京、神奈川		
東山	山梨、長野		
東海	岐阜、静岡、愛知、三重		
山陰	鳥取、島根		

山陽……岡山、広島、山口
 四国……徳島、香川、愛媛、高知
 北九州……福岡、佐賀、長崎、熊本、大分
 南九州……宮崎、鹿児島

(三) 従事日数別農業従事者の変動

従事日数別にみた農業従事者の状態については、その地域性格をセンサス年次である四〇年、四五年に關して概観してきた。そこでここでは昭和四〇年代における変動指数として、昭和四〇年に対する四七年の指数を求め、その地域的特徴の概要をみることにする。これらを整理したのが第七表である。これから明らかなように、農業従事者数でみるかぎり、男女とも従事日数が一五〇日以上の特従者は激減し、従事日数が六〇〜一四九日の補助者は微減を示し、従事日数が六〇日未満のフリンジ・レーバーについてはかなりの増大を示している。

さて農業従事者の変動の地域性をみる場合に、従事者そのものより従事日数別シエアの変動指数に着目したほうが、地域の性格が明らかにになるので、以下の論述はすべてシエアについての考察である。まず男女計の場合について議論をすすめるが、従事日数が一五〇日以上という専従者の場合には、各地域ともこの期間内に減少しているが、減少の程度が相対的に著しいの

は北陸、近畿、山陽の諸地域であり、逆にこの減少程度が相対的に緩やかなのは北海道、南関東である。

次に従事日数が六〇〜一四九日という補助者についてみると、この場合にはおおむね各地域ともやや増大傾向を示している。しかし近畿と東海は逆に減少の傾向をとっているのは例外である。また増大傾向を示している各地域のなかで、東北は相対的にその程度が大きい点は地域の特徴である。最後に従事日数が六〇日未満のフリンジ・レーバーについてみると、まず従事日数が三〇〜五九日の場合には各地域とも増大傾向をとってきているが、なかでも南九州はその程度が比較的大きく、逆に北海道はその程度が小さいのが目立っている。また従事日数が三〇日未満の場合には、各地域とも増大傾向が著しいが、南九州、南関東、北海道などはその程度が目立って小さい点は、これら地域の地域的特徴といえよう。

以上は男女計についての地域的特徴であるが、これを男女別に区分してみると男女による差が多少みられる。まず専従者のシエアはこの期間内に男女とも減少傾向を示しているが、その程度が相対的に著しい地域は男女とも北陸、近畿、山陽であり、逆にその程度が相対的に緩やかなのは北海道、南関東である。このように専従者に関する限り、地域の性格は男女とも同じである。次に従事日数が六〇〜一四九日である補助者のシエアに

第7表 従事日数別農業従事者の変動指数(昭和47/40)

地 域	農 業 従 事 日 数					同 機 成 比				
	～29日	30～59	60～149	150～	計	～29日	30～59	60～149	150～	
男	北海道	0.94	0.86	0.81	0.67	0.73	1.29	1.17	1.11	0.91
	東北	1.36	1.14	1.16	0.67	0.92	1.48	1.23	1.26	0.72
	北 陸	1.38	1.31	1.11	0.54	0.93	1.48	1.40	1.19	0.58
	北関東	1.43	1.29	1.10	0.68	0.91	1.56	1.42	1.20	0.75
	南関東	1.07	1.07	0.87	0.74	0.85	1.26	1.25	1.08	0.87
	東 山	1.49	1.27	0.97	0.63	0.97	1.54	1.31	0.99	0.66
	東 海	1.30	1.15	0.88	0.60	0.89	1.46	1.29	0.94	0.68
	近 畿	1.28	1.11	0.83	0.52	0.90	1.42	1.23	0.92	0.58
	山 陰	1.17	1.28	0.98	0.66	0.90	1.30	1.42	1.10	0.73
	陽 關	1.34	1.24	0.90	0.50	0.86	1.56	1.42	1.04	0.58
女	四 国	1.24	1.14	0.87	0.65	0.87	1.41	1.29	1.00	0.75
	北九州	1.24	1.18	0.93	0.66	0.89	1.40	1.33	1.06	0.75
	南九州	0.93	1.21	0.98	0.66	0.82	1.13	1.48	1.19	0.80
	全国計	1.29	1.18	0.96	0.63	0.89	1.45	1.31	1.09	0.71
	計									
男	北海道	0.82	0.72	0.81	0.70	0.73	1.13	0.99	1.11	0.96
	東北	1.34	1.05	1.22	0.70	0.95	1.41	1.11	1.28	0.74
	北 陸	1.35	1.22	1.06	0.55	0.94	1.43	1.28	1.13	0.58
	北関東	1.51	1.34	1.08	0.69	0.94	1.62	1.44	1.16	0.74
	南関東	1.14	1.12	0.94	0.72	0.87	1.32	1.29	1.08	0.83
	東 山	1.46	1.15	0.97	0.65	0.97	1.50	1.18	1.00	0.67

子	北海道	1.10	0.97	0.81	0.63	0.73	1.51	1.32	1.12	0.86
	東北	1.39	1.23	1.12	0.64	0.90	1.54	1.37	1.24	0.71
	北陸	1.41	1.41	1.15	0.53	0.92	1.53	1.53	1.24	0.58
	北関東	1.33	1.24	1.11	0.67	0.89	1.50	1.39	1.25	0.76
	南関東	0.99	1.01	0.82	0.75	0.83	1.19	1.22	0.99	0.90
	東山	1.52	1.41	0.96	0.62	0.96	1.58	1.46	1.00	0.65
	東海	1.23	1.24	0.90	0.59	0.88	1.40	1.41	1.01	0.67
	近畿	1.27	1.16	0.83	0.52	0.90	1.40	1.28	0.97	0.58
	山陽	1.16	1.40	1.03	0.65	0.89	1.29	1.57	1.15	0.73
	山陽	1.43	1.34	0.95	0.51	0.87	1.65	1.55	1.10	0.58
女	四国	1.22	1.18	0.89	0.67	0.88	1.39	1.35	1.01	0.76
	北九州	1.20	1.20	0.96	0.65	0.87	1.38	1.38	1.10	0.75
	南九州	0.94	1.21	0.97	0.66	0.81	1.17	1.49	1.19	0.82
	全国計	1.28	1.23	0.98	0.62	0.88	1.45	1.40	1.11	0.71
子	北海道	1.35	1.05	0.74	0.60	0.89	1.52	1.18	0.83	0.67
	近畿	1.29	1.06	0.83	0.52	0.90	1.42	1.18	0.93	0.58
	山陽	1.18	1.19	0.93	0.67	0.91	1.29	1.29	1.02	0.73
	山陽	1.28	1.15	0.83	0.49	0.86	1.49	1.34	0.97	0.57
	四国	1.25	1.09	0.86	0.64	0.87	1.43	1.24	0.99	0.73
	北九州	1.28	1.16	0.90	0.68	0.91	1.41	1.27	1.00	0.75
	南九州	0.92	1.22	1.00	0.65	0.84	1.10	1.46	1.19	0.78
	全国計	1.30	1.13	0.95	0.64	0.90	1.44	1.25	1.05	0.71

ついてみると、おおむね各地域ともやや増大してきているが、男子では東北が、女子では北関東、東北、北陸において増大の程度が大きく、逆にやや減少かまたは増大程度が緩やかな地域は、男子では東海、近畿であり、女子で近畿、南関東、東山、東海の諸地域である。

最後に従事日数が六〇日未満であるフリンジ・レーバーのシェアについてみると、各地域を通じて男女とも大きな増大傾向を示してきている。まず従事日数が三〇～五九日の場合には、増大の程度が相対的に大きい地域は、男子では南九州、北関東であり、女子では北陸、山陽である。いっぽうその程度が相対的に緩やかな地域は、男子で北海道、女子では南関東、近畿である。また従事日数が三〇日未満の場合について、その増大傾向が著しい地域をみると、男子では北関東、女子では山陽である。これに対してその程度が比較的小さい地域は、男子では南九州、北海道であり、女子では南九州と南関東である。

三 投下農業労働力の推計

前節において農業従事者を年間農業従業日数別に区分して、その地域的性格について概観してきた。その結果は既述のように四〇年から四七年にかけて、従事者総数は〇・八九倍の低下程度であるが、従事日数が一五〇日以上という専従者は〇・六

三倍という著しい減少をしめしている。いっぽう従事日数が六〇～一四九日の補助者は〇・九六倍というように、わずかの低下にとどまっているのに対して、従事日数が六〇日未満のフリンジ・レーバーについては、三〇～五九日の場合が一・一八倍、三〇日未満が一・二九倍という著しい増加を示している。

以上のように農業従事者は昭和四〇年から四七年にかけて約一割余の減少にすぎないが、これは従事日数が六〇日未満というフリンジ・レーバーが増加してきたためである。したがって農業生産に投下された労働力の量は、農業従事者の低下以上に著しいものであることが推察される。したがって何らかの単位を基準にして、実際に投下された労働力の実質量を推計し、その地域性あるいはその推移などについて吟味を加えることは、農業の生産構造を解明する上にきわめて必要と考えられる。

さて農業生産に投入された労働力の実質量を農業従事者数から推計する場合に考慮すべき点は種々考えられるが、従事日数（時間）、年齢、性別、技能などはその主要なものである。この場合に従事日数、年齢、性別に関しては、「農業センサス」、「農業調査」の資料から得ることができる。したがって農業従事日数が年間一五〇日以上という専従者を基準にして、従事日数が六〇～一四九日という補助者および従事日数が六〇日未満のフリンジ・レーバーを専従者単位で換算することができる。

この立場から農業に投入された労働力を推計したものを地域別に整理すると、第八表のようにあらわすことができる。なお地域は全国を都道府県別に表示するのは繁雑になるので、一三の農業地域について載せてあり、これについて若干の考察を加えることにする。この場合に既述のように年齢、性別による換算も重要であるが、これについては換算比率をいかにするかが一つの研究課題であり、ここでは一応その点を無視して区別していない。

(一) 専従者基準による農業労働力の推計

専従者を基準にして農業労働力を推計する場合に、その換算比率を次のように仮定した。すなわち従事日数別従事者の従事日数を一五〇日以上層は平均二二五日（一五〇日と三〇〇日との平均）、六〇～一四九日層は平均一〇五日（六〇日と一五〇日との平均）、三〇～五九日層は平均四五日（三〇日と六〇日との平均）、二九日以下層は平均一五日とし、これより一五〇日以上層を一にして、その他の階層それぞれのウェイトを〇・四六六七、〇・二二〇〇、〇・〇六六七と考へた。この換算係数によって推計したのが上述の第八表の値である。

これから明らかなように昭和四〇年における農業労働力の投入量は、専従者単位でみるかぎり全国男女合計で九五四・三万

人（男四四七・一万人、女五〇七・三万人）であり、これは農業従事者総数一五四四・四万人の六割余である。また換算された労働力の内訳をみると、専従労働力が七六三・六万人、補助労働力が一二七・一万人、フリンジ・レーパーが六三・六万人であるので、そのシェアはそれぞれ八〇・〇％、一三・三％、六・七％（三〇日未満は二・〇％、三〇～五九日は四・七％）となっている。

専従労働力のシェアが相対的に大きい地域をみると、北海道で北関東であり、反対にこの値が小さいところは近畿ついで東海であり、その他の地域はおおむね全国平均の値の前後で差異は比較的小さい。次に補助労働力のシェアの地域性をみると、この値が相対的に大きいところは近畿、東海、山陽であり、反対にこの値が相対的に小さいところは北海道がとくに著しく、ついで北関東が目立っている。最後にフリンジ・レーパーのシェアについてみると、近畿における値が著しく大きく、逆に北海道における値が著しく小さいのを除くと、他の地域はおおむね全国平均の値に前後している。

以上は男女合計についての地域性の特徴であるが、次に男女に区分してその性格をみることにする。まず全国平均では男女とも専従労働力のシェアは八〇％と同じであるが、補助労働力のシェアは女子のほうがやや大きく、フリンジ・レーパーのシ

(換算)の推計

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・ レーバー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
12.3	184.7	203.9	1.7	5.6	19.6	197.5	224.4
81.0	560.5	685.7	10.3	29.0	97.4	638.2	774.9
49.6	488.3	564.0	6.8	19.5	64.6	503.3	594.2
24.6	209.8	247.4	3.3	10.2	33.6	204.7	251.8
45.9	242.0	316.4	7.1	17.2	59.1	312.2	395.6
25.4	177.6	221.2	5.3	10.3	35.4	197.3	248.3
64.2	336.8	442.1	11.1	27.2	84.1	380.7	503.1
62.6	261.9	368.7	12.9	28.6	76.0	248.1	365.6
16.4	87.0	112.9	2.1	5.5	20.7	117.1	145.4
47.2	226.0	302.6	6.8	17.5	56.8	301.3	382.4
40.0	216.1	277.8	5.3	14.7	48.3	243.8	312.1
60.4	389.2	483.7	9.1	23.1	80.0	451.6	563.8
29.7	199.3	244.3	3.8	9.6	36.2	261.6	311.2
559.3	3,579.2	4,470.7	85.6	218.0	711.8	4,057.4	5,072.8
12.7	150.2	169.7	2.9	6.3	18.0	147.1	174.3
96.5	451.2	602.5	16.3	33.0	109.6	499.7	658.6
56.2	399.0	491.0	11.9	21.6	70.7	403.4	507.6
27.9	155.8	200.7	4.7	11.7	37.0	143.8	197.2
58.0	167.5	261.5	10.9	22.1	73.5	202.4	308.9
25.2	141.8	191.0	8.9	12.4	34.8	159.1	215.2
60.9	242.0	355.4	17.7	32.4	83.0	265.9	399.0
58.4	163.8	276.0	18.7	32.3	71.8	140.7	263.5
17.6	65.0	94.2	3.4	7.0	21.0	87.3	118.7
47.7	151.5	235.4	11.3	21.4	59.4	206.0	298.1
38.7	157.1	222.1	8.3	16.9	46.7	176.9	248.8
65.0	300.8	409.3	15.2	28.5	84.3	322.9	450.9
30.8	153.1	202.6	6.0	11.7	38.8	192.5	249.0
595.6	2,698.8	3,711.4	136.2	257.3	748.6	2,947.7	4,089.8

(つづく)

第8表 農 業 勞 働 力

	地 域	男 女 計					男	
		フ リ ン ジ ・ レ ー バ ー		補 助 者	専 従 者	計	フ リ ン ジ ・ レ ー バ ー	
		～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
昭和40年	北海道	3.8	10.4	31.9	382.2	428.3	2.1	4.8
	東北	23.4	60.0	178.4	1,198.7	1,460.5	13.1	31.1
	北関東	14.6	37.8	114.2	991.6	1,158.2	7.8	18.3
	南関東	7.0	19.4	58.2	414.5	499.1	3.8	9.2
	北 陸	16.6	36.2	105.0	554.2	712.0	9.5	19.0
	東 山	11.7	22.0	60.8	374.9	469.4	6.5	11.7
	東 海	25.0	54.4	148.3	717.5	945.2	14.0	27.1
	近 畿	27.9	57.8	138.6	510.0	734.3	15.0	29.2
	山 陰	5.1	12.0	37.0	204.1	258.2	3.0	6.5
	山 陽	15.8	37.8	104.0	527.2	684.8	9.0	20.4
	四 国	11.5	30.2	88.2	459.9	589.8	6.2	15.5
	北九州	19.9	46.5	140.4	840.8	1,047.6	10.8	23.3
	南九州	8.4	20.3	65.9	460.8	555.4	4.7	10.6
	全国計	190.7	444.8	1,270.9	7,636.4	9,542.8	105.5	226.7
昭和45年	北海道	5.5	10.3	30.7	297.2	343.7	2.7	4.1
	東北	35.8	68.3	206.1	950.9	1,261.1	19.5	35.3
	北関東	25.5	43.8	126.3	802.4	998.0	13.6	22.2
	南関東	10.2	23.1	64.9	299.6	397.8	5.6	11.4
	北 陸	24.2	44.8	131.5	369.9	570.4	13.3	22.7
	東 山	18.4	26.9	60.0	300.9	406.2	9.6	14.4
	東 海	38.7	63.9	143.9	507.9	754.4	21.0	31.5
	近 畿	38.9	65.8	130.2	304.4	539.3	20.3	33.5
	山 陰	7.4	14.6	38.5	152.3	212.8	4.0	7.6
	山 陽	23.8	45.1	107.1	357.5	533.5	12.5	23.7
	四 国	17.0	34.5	85.4	334.0	470.9	8.7	17.6
	北九州	30.9	56.3	149.3	623.6	860.1	15.7	27.8
	南九州	12.4	24.0	69.6	345.5	451.5	6.4	12.3
	全国計	288.7	521.4	1,343.5	5,646.1	7,799.7	152.9	264.1

(つづき)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・ レーバ		補助者	専従者	計
60～149	150～		～29日	30～59	60～149	150～	
10.9	143.5	160.2	2.2	5.7	14.2	140.6	162.7
96.8	434.3	581.7	13.7	32.4	104.1	468.2	618.4
57.5	379.7	472.2	9.1	22.3	73.8	379.7	484.9
23.2	165.8	202.9	3.2	9.6	27.5	167.0	207.3
52.1	152.9	239.6	10.2	21.7	68.1	196.0	296.0
24.7	139.1	186.2	7.6	12.0	32.0	165.0	216.6
57.3	232.3	337.7	13.2	33.2	79.3	265.3	391.0
53.1	147.6	253.3	17.3	34.9	64.4	137.7	254.3
16.4	58.7	86.7	2.8	7.8	20.5	83.7	114.8
43.1	148.8	227.0	9.0	22.3	55.1	203.3	289.7
36.1	149.3	210.5	6.7	17.2	43.3	177.7	244.9
59.7	295.9	396.5	11.4	25.5	75.4	335.3	447.6
30.9	154.7	201.7	3.8	10.1	34.4	201.8	250.1
561.8	2,602.6	3,556.2	110.2	254.7	692.1	2,921.3	3,978.3
10.1	130.2	145.5	1.9	5.4	15.9	124.3	147.5
98.6	391.0	539.8	14.3	35.7	108.6	406.4	565.0
53.6	336.8	426.8	9.0	24.2	72.0	339.5	444.7
23.1	151.5	189.2	3.2	10.3	27.6	153.3	194.4
48.7	132.7	217.3	10.0	24.2	67.8	165.5	267.5
24.7	114.9	162.6	8.0	14.4	34.0	123.0	179.4
47.7	202.3	297.3	13.6	33.8	75.4	226.2	349.0
52.1	135.9	238.2	16.3	33.1	63.4	129.2	242.0
15.2	58.0	84.4	2.5	7.7	21.3	76.4	107.9
39.0	111.0	184.9	9.8	23.4	54.2	152.8	240.2
34.3	138.1	197.0	6.4	17.5	42.8	162.8	229.5
54.5	263.4	358.8	11.0	27.7	76.6	293.7	409.0
29.6	130.1	177.0	3.5	11.6	35.1	173.5	223.7
531.2	2,295.9	3,218.8	109.5	269.0	694.7	2,526.6	3,599.8

第8表 つづき

	地 域	男 女 計					男	
		フ リ ン ジ ・ レ ー バ ー		補 助 者	専 従 者	計	フ リ ン ジ ・ レ ー バ ー	
		～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
昭和46年	北海道	4.4	9.3	25.1	284.1	322.9	2.2	3.6
	東 北	30.7	65.9	200.8	902.6	1,200.1	17.0	33.6
	北関東	21.3	45.1	131.3	759.5	957.2	12.2	22.8
	南関東	7.1	19.6	50.7	332.8	410.2	3.9	10.0
	北 陸	24.0	42.5	120.1	348.9	535.5	13.8	20.8
	東 山	16.4	25.6	56.7	304.1	402.7	8.8	13.6
	東 海	31.5	63.0	136.5	497.6	728.7	18.3	29.8
	近 畿	37.9	66.9	117.5	285.4	507.8	20.6	32.0
	山 陰	6.6	15.6	37.0	142.3	201.5	3.8	7.8
	山 陽	20.2	46.3	98.1	352.1	516.7	11.1	24.0
	四 国	14.7	34.3	79.4	326.9	455.3	8.0	17.1
	北九州	25.4	52.5	135.0	631.2	844.0	13.9	27.0
	南九州	8.5	21.6	65.4	356.5	451.9	4.7	11.4
	全国計	248.7	508.2	1,253.6	5,524.0	7,534.5	138.3	253.5
昭和47年	北海道	3.6	8.9	26.0	254.5	293.0	1.8	3.4
	東 北	31.9	68.4	207.2	797.5	1,105.0	17.6	32.6
	北関東	20.8	48.8	125.6	676.3	871.5	11.8	24.6
	南関東	7.5	20.6	50.7	304.8	383.6	4.3	10.3
	北 陸	22.8	47.3	116.4	298.2	484.7	12.8	23.1
	東 山	17.5	27.9	58.7	237.9	342.0	9.5	13.5
	東 海	32.4	62.3	123.0	428.4	646.1	18.8	28.5
	近 畿	35.6	64.0	115.5	265.1	480.2	19.3	30.9
	山 陰	6.0	15.4	36.5	134.4	192.3	3.5	7.7
	山 陽	21.2	46.8	93.3	263.8	425.1	11.5	23.4
	四 国	14.2	34.3	77.1	300.1	425.7	7.8	16.8
	北九州	24.8	54.7	131.1	557.1	767.7	13.8	27.1
	南九州	7.8	24.6	64.7	303.6	400.7	4.3	13.0
	全国計	246.1	524.0	1,225.8	4,821.7	6,817.6	138.3	254.9

エアは逆に男子のほうがやや大きい。さて専従労働力のシェアが相対的に大きい地域は、男子では北海道ついで北関東、南関東であるが、女子では北海道ついで北関東、南九州というようにやや異なる。これに対して専従労働力のシェアが相対的に小さい地域は、男子の場合に近畿、山陽であり、女子の場合には近畿、東海が目立っている。

補助労働力のシェアについてその地域性をみると、その値が相対的に大きいのは男子では近畿、山陽であり、女子の場合には近畿、東海であり、上述の専従労働力の場合と逆になっている点は、農業労働力の投入に際して専従労働力と補助労働力が互いに補完していることが理解される。最後にフリンジ・レーバーについてみると、男女とも近畿における値が著しく大きく、逆に北海道においてその値がきわめて小さいのが目立った特徴である。

以上は昭和四〇年における農業労働力を専従労働力を基準にして推計した値であるが、次に五年後のセンサス年次である四五年における農業労働力の推計値を概観することにする。四五年における農業労働力は全国男女合計で七八〇・〇万人（男三七一・一万人、女四〇九・〇万人）であり、これは農業従事者総数一五四・五万人の約五割である。また換算された労働力の内訳をみると、専従労働力は五六四・六万人、補助労働力は

一三四・四万人、フリンジ・レーバーは八一・〇万人であるので、そのシェアはそれぞれ七二・四％、一七・二％、一〇・四％（三〇日未満は三・七％、三〇～五九日は六・七％）となっている。

次に専従労働力のシェアについて地域別にみると、その値が相対的に大きいのは北海道ついで北関東であり、逆にその値が相対的に小さいのは近畿が著しく、ついで北陸、山陽、東海の諸地域である。補助労働力の場合にはそのシェアが相対的に大きいところは、近畿、北陸ついで山陽であり、これと反対にその値が相対的に小さいところは北海道がとくに著しく、ついで北関東が目立っている。最後にフリンジ・レーバーのシェアについてみると、近畿における値が著しく大きく、ついで東海、山陽となっている。これに対してこの値が相対的に小さい地域は、北海道が著しく目立っているのにつづいて、北関東、南九州、南関東の諸地域となっている。

以上は男女合計についての論述であるが、次にこれを男女に区分してその特徴をみることにする。まず専従労働力のシェアが相対的に大きい地域をみると、男女とも北海道が著しく、ついで北関東である。これに対してこの値が相対的に小さい地域は、男女とも近畿が最も著しく、ついで北陸となっているが、なおこれに加えて男子では山陽が、女子では東海が比較的目立

っている。これらの点は五年前の四〇年の時と同じ傾向であるが、男女とも北陸におけるシェアが低下してきているのが特徴的である。

次に補助労働力のシェアについて地域の特徴をみると、その値が相対的に大きいところは男子の場合に北陸、近畿、山陽であり、女子では近畿、北陸となっており、上述の専従労働力の場合と逆になっている。これは農業労働力の投入において、専従労働力と補助労働力とが互いに補充しているためと考えられる。最後にフリンジ・レーバーについてみると、男女とも近畿における値が著しく大きく、ついで東海となっているが、これとは逆にシェアの値が相対的に小さい地域は、男女とも北海道がとくに著しく、ついで北関東が目立っている。

以上でセンサス年次の四〇年、四五年の両年次における農業労働力（専従者基準による）について、その男女別の地域的性情を概観してきた。つづいて四六年、四七年における推計値も第五表に載せてあるが、年次の推移とともに次第に専従労働力のシェアが低下し、補助労働力とフリンジ・レーバーのシェアが逆に増大してきている傾向を別にする、地域による性格はおおむね四五五年のそれに大同小異である。したがって、これらの年次については同表をみていただき、ここでは内容に立ち入った論述は省略することにする。

《ノート》 農業従事者と農業労働力との関係

なお専従者基準による農業労働力の推計は、冒頭に述べたように都道府県別に求めるのが本稿での一つの目的であるので、これらを整理すると第九―一二表のようにあらわされる。これによって農業に投入された実質労働力が、専従者基準によって把握されることになる。これらについて内容に立ち入った考察は複雑になるので、詳細は同表をみていただくことにしてここでは一切省略することにする。

(二) 専従者基準による農業労働力の変動

農業専従者を基準にした農業労働力の内容について、センサス年次である四〇年、四五年に關して地域的性情の概要をこれまで述べてきたので、ここでは昭和四〇年代の変動を四〇年から四七年にいたる絶対数の指數の形で論述することにする。これを農業地域別に整理すると第一三表のようにあらわすことができる。まず全国男女合計でみると、この期間内に〇・七一倍に低下してきていることがわかる。しかしこれを専従労働力、補助労働力、フリンジ・レーバーに区分してみると、専従労働力はこの期間内に〇・六三倍に激減し、補助労働力は〇・九六倍とわずかな減少を示しているのに対して、フリンジ・レーバーについてみると従事日数が三〇〇五九日の場合には一・一八倍に増加、三〇日未満の場合には一・二九倍という著しい増加

(換算)の推計(昭40)

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリンジ・ レバー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
12.3	184.7	204.0	1.7	5.6	19.6	197.5	224.4
11.9	83.6	102.9	1.4	4.2	15.0	111.5	132.1
14.2	90.9	113.0	1.4	4.4	16.6	123.4	145.8
14.0	86.1	107.4	1.9	5.4	17.6	80.2	105.2
14.1	78.9	100.6	2.0	5.2	16.9	81.7	105.8
11.5	89.6	107.1	1.7	4.5	13.5	86.8	106.6
15.3	131.4	154.8	1.8	5.2	17.8	154.5	179.4
15.8	163.4	187.4	1.9	5.8	19.5	181.9	209.2
10.7	97.3	113.3	1.5	4.2	12.4	102.9	120.9
10.8	103.5	119.8	1.6	4.4	16.0	91.8	113.8
12.3	124.2	143.6	1.8	5.1	16.7	126.7	150.3
15.3	132.8	154.7	1.6	5.6	19.4	152.4	179.0
4.1	28.7	34.9	0.5	1.7	5.2	17.9	25.3
5.2	48.3	57.8	1.2	2.9	9.0	34.4	47.5
20.7	140.5	172.2	3.0	7.0	25.3	163.6	198.9
9.5	39.9	55.8	1.3	3.5	12.8	60.3	77.9
8.8	33.1	48.0	1.6	3.8	11.5	45.6	62.5
6.8	28.4	40.4	1.2	2.9	9.5	42.6	56.2
6.4	50.6	61.4	1.3	2.9	9.2	42.8	56.3
19.0	127.1	159.8	3.9	7.3	26.1	154.5	191.9
19.2	63.8	94.0	2.8	7.0	22.5	68.3	100.6
14.1	111.3	134.1	2.5	6.0	19.9	119.4	147.9
17.3	102.4	132.9	3.8	8.1	24.0	123.9	159.7
13.5	59.3	81.0	2.0	6.2	17.7	69.1	95.0
10.4	38.9	55.9	1.6	4.1	14.6	50.5	70.8
7.9	39.8	53.1	1.4	3.2	10.4	42.5	57.6
7.5	33.3	47.4	2.3	3.9	7.1	14.3	26.7
23.0	81.5	120.1	4.7	10.7	27.0	84.9	127.3
6.5	30.3	41.5	1.4	3.3	7.1	20.9	32.7
7.5	38.2	50.6	1.5	3.4	9.7	34.9	49.5
5.6	35.5	45.2	1.0	2.1	7.6	50.2	60.9
10.8	51.5	67.6	1.2	3.4	13.1	66.9	84.5
17.5	94.3	122.0	2.7	6.8	21.4	107.3	138.2
17.7	77.5	106.9	2.6	6.5	21.0	113.6	143.7
12.0	54.2	73.6	1.5	4.2	14.4	80.4	100.5
8.5	47.7	60.8	1.1	2.7	8.9	60.7	73.4
9.5	46.3	61.6	1.3	3.5	12.5	56.8	74.1
13.4	76.0	96.7	1.9	5.5	17.3	73.7	98.4
8.5	46.2	58.8	0.9	3.0	9.6	52.7	66.2
16.1	87.7	114.6	3.3	6.7	22.3	103.5	135.8
7.3	47.9	59.3	1.3	3.0	10.6	51.6	66.5
9.9	67.8	82.9	1.0	3.8	13.6	77.8	96.2
14.2	117.6	138.9	1.8	5.4	16.8	133.3	157.2
12.9	68.2	88.0	1.7	4.2	16.8	85.5	108.2
9.9	69.3	84.1	1.3	2.9	11.0	84.7	99.9
19.8	129.9	160.2	2.5	6.8	25.2	176.8	211.3
559.3	3,579.3	4,470.5	85.5	218.1	711.6	4,057.2	5,072.4

第9表 農 業 勞 働 力

	男 女 計					男	
	フリッジ・レーバー		補助者	専従者	計	フリッジ・レーバー	
	～29日	30～59				～29日	30～59
北海道	3.8	10.4	31.9	382.2	428.3	2.1	4.8
青森	3.6	9.4	26.9	195.0	234.9	2.2	5.2
岩手	3.7	10.0	30.8	214.4	258.8	2.2	5.6
宮城	4.1	10.6	31.6	166.4	212.6	2.2	5.2
秋田	4.4	10.5	31.0	160.6	206.4	2.4	5.3
山形	3.5	8.7	25.0	176.5	213.7	1.8	4.1
福島	4.2	11.0	33.1	285.9	334.1	2.3	5.7
茨城	4.2	11.8	35.3	345.2	396.6	2.4	5.9
栃木	3.1	7.8	23.1	200.2	234.2	1.7	3.6
群馬	3.3	8.2	26.8	195.3	233.5	1.7	3.8
千葉	3.9	10.1	29.0	250.9	293.9	2.1	5.0
東京	3.5	10.3	34.7	285.2	333.7	1.9	4.7
神奈川	1.0	3.3	9.3	46.5	60.2	0.6	1.5
奈良	2.5	5.9	14.2	82.7	105.2	1.3	3.0
新潟	6.7	14.2	46.1	304.1	371.1	3.7	7.2
富山	3.3	7.8	22.3	100.2	133.7	2.0	4.4
石川	3.7	7.7	20.3	78.8	110.5	2.1	4.0
福井	2.9	6.4	16.3	71.1	96.6	1.7	3.5
山梨	2.8	5.9	15.7	93.3	117.7	1.5	3.0
長野	8.9	16.0	45.1	281.6	351.6	5.0	8.7
岐阜	6.1	14.6	41.7	132.1	194.6	3.3	7.7
静岡県	5.6	11.6	34.1	230.7	282.0	3.1	5.6
愛知	8.8	16.3	41.3	226.3	292.6	5.0	8.2
三重	4.6	11.8	31.2	128.4	176.0	2.5	5.7
滋賀	3.8	8.5	25.0	89.4	126.6	2.2	4.4
京都	3.1	7.0	18.3	82.3	110.7	1.8	3.7
大阪	4.8	8.1	14.6	47.6	75.1	2.4	4.2
兵庫	10.2	20.9	50.0	166.3	247.5	5.5	10.2
奈良	2.9	6.5	13.6	51.2	74.2	1.5	3.3
和歌山	3.1	6.8	17.2	73.1	100.1	1.6	3.4
鳥取	2.3	4.8	13.2	85.7	106.1	1.4	2.7
島根	2.8	7.2	23.9	118.3	152.1	1.6	3.8
岡山	6.0	13.7	38.9	201.6	260.2	3.3	7.0
広島	6.1	14.7	38.7	191.1	250.6	3.5	8.2
山口	3.7	9.4	26.4	134.6	174.1	2.1	5.2
徳島	2.4	6.0	17.4	108.3	134.1	1.3	3.3
香川	3.1	7.5	22.0	103.1	135.7	1.7	4.0
愛媛	4.0	10.7	30.7	149.7	195.1	2.1	5.2
高知	2.0	6.0	18.1	98.8	124.9	1.1	3.0
福岡	7.1	13.7	38.4	191.2	250.5	3.8	7.0
佐賀	2.7	5.8	17.8	99.5	125.8	1.4	2.7
長崎	2.4	7.7	23.5	145.6	179.2	1.4	3.9
熊本	3.9	10.3	31.0	250.9	296.1	2.1	5.0
大分	3.9	9.0	29.7	153.7	196.2	2.1	4.8
宮崎	2.9	6.2	20.9	154.0	184.0	1.6	3.3
鹿児島	5.6	14.1	45.0	306.8	371.4	3.1	7.4
全 国	190.8	444.6	1,270.9	7,636.6	9,542.9	105.3	226.5

(換算)の推計(昭45)

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・ レーンバー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
12.7	150.2	169.6	2.9	6.3	18.0	147.1	174.2
14.3	64.6	88.0	2.4	5.3	18.2	84.4	110.3
18.5	68.6	96.8	2.8	5.3	20.9	92.0	121.0
16.2	65.6	90.7	2.8	5.8	17.9	59.1	85.6
17.2	60.5	87.4	2.9	6.0	19.0	64.0	91.9
13.4	77.3	97.9	2.5	4.7	15.3	68.0	90.5
17.0	114.5	141.7	2.9	5.9	18.3	132.2	159.3
17.7	135.7	164.5	3.2	6.8	22.1	149.3	181.5
13.1	79.2	99.4	2.4	4.5	14.9	80.0	101.7
11.4	87.2	106.5	3.1	4.5	15.5	77.3	100.5
14.0	96.9	120.6	3.2	5.7	18.3	96.8	124.0
18.8	98.5	127.1	2.5	7.4	24.6	106.7	141.1
3.2	20.3	25.7	0.6	1.5	4.0	11.2	17.3
5.9	37.0	47.8	1.6	2.8	8.4	25.9	38.8
28.6	102.6	145.3	4.6	8.8	33.1	111.1	157.7
10.9	25.6	45.0	2.2	5.0	16.5	35.4	59.1
11.1	20.3	38.8	2.3	4.7	13.5	27.3	47.9
7.4	18.9	32.4	1.8	3.6	10.4	28.5	44.3
5.8	39.1	51.0	2.2	3.4	8.5	34.0	48.2
19.4	102.8	140.1	6.7	9.0	26.3	125.0	167.0
16.9	40.5	71.6	4.7	8.7	20.4	43.7	77.6
13.2	90.9	115.3	3.8	6.8	19.7	95.2	125.6
16.8	73.3	106.4	5.8	9.5	24.6	85.1	124.9
14.0	37.4	62.3	3.3	7.4	18.3	41.8	70.9
10.7	22.5	42.0	2.7	5.5	15.3	27.9	51.5
7.1	28.1	41.7	2.3	3.8	9.4	26.9	42.4
6.0	20.0	33.2	2.6	3.4	5.3	7.6	18.8
22.0	41.2	83.5	7.3	12.8	26.3	38.3	84.7
6.0	21.7	33.2	1.9	3.2	6.3	13.9	25.3
6.5	30.3	42.3	1.9	3.7	9.1	26.1	40.8
5.9	26.6	37.6	1.7	2.8	7.7	37.8	50.0
11.6	38.4	56.5	1.7	4.2	13.3	49.5	68.7
18.9	63.0	95.5	4.7	8.5	22.0	72.4	107.6
17.1	51.6	82.2	4.0	7.7	21.0	77.7	110.3
11.6	37.0	57.8	2.6	5.3	16.4	55.9	80.2
8.4	33.5	47.8	1.8	3.4	9.4	44.5	59.1
9.5	31.7	48.6	2.3	4.6	11.7	39.8	58.5
13.2	56.2	77.9	3.0	5.9	16.9	52.3	78.1
7.6	35.7	47.7	1.2	3.0	8.6	40.2	53.1
18.2	64.5	96.6	5.2	8.8	24.9	67.4	106.3
8.6	37.8	52.0	2.2	3.6	11.1	38.5	55.5
10.0	52.6	68.8	1.7	4.1	12.7	59.0	77.4
14.8	99.1	122.9	3.3	6.0	17.2	104.9	131.4
13.6	46.8	69.1	2.9	6.0	18.4	53.0	80.3
10.1	56.9	73.0	2.0	3.6	11.6	66.1	83.3
20.7	96.2	129.6	4.0	8.1	27.2	126.4	165.7
595.6	2,698.7	3,711.3	136.0	257.4	748.5	2,947.6	4,089.6

第10表 農 業 勞 働 力

	男 女 計					男	
	フリッジ・レーバー		補助者	専従者	計	フリッジ・レーバー	
	～29日	30～59				～29日	30～59
北海道	5.5	10.3	30.7	297.2	343.8	2.7	4.1
青森	5.6	11.2	32.5	149.0	198.4	3.2	5.9
岩手	6.3	11.5	39.4	160.6	217.9	3.6	6.2
宮城	5.9	11.6	34.1	124.7	176.3	3.1	5.8
秋田	6.3	12.3	36.2	124.6	179.3	3.4	6.4
山形	5.2	9.2	28.7	145.3	188.3	2.7	4.5
福島	6.5	12.5	35.2	246.7	300.9	3.5	6.6
茨城	7.1	14.0	39.8	285.0	346.0	3.9	7.2
栃木	5.1	9.0	28.0	159.1	201.1	2.7	4.4
群馬	6.4	9.2	26.8	164.6	207.0	3.3	4.7
埼玉	7.0	11.6	32.3	193.7	244.6	3.8	5.9
千葉	5.6	14.2	43.4	205.1	268.3	3.1	6.8
東京	1.3	3.0	7.2	31.6	43.0	0.7	1.5
神奈川	3.4	5.9	14.3	62.9	86.6	1.8	3.1
新潟	10.1	17.4	61.7	213.7	303.0	5.5	8.6
富山	5.1	10.4	27.5	61.0	104.1	3.0	5.4
石川	4.9	9.5	24.6	47.7	86.6	2.6	4.8
福井	4.0	7.5	17.7	47.4	76.7	2.3	3.9
山梨	4.4	7.3	14.3	73.1	99.2	2.2	3.8
長野	14.0	19.6	45.6	227.8	307.0	7.3	10.6
岐阜	9.9	17.8	37.3	84.2	149.1	5.2	9.0
静岡県	8.5	13.3	32.9	186.1	240.8	4.7	6.5
愛知	13.0	18.5	41.4	158.4	231.4	7.2	9.1
三重	7.3	14.3	32.3	79.2	133.1	3.9	6.9
滋賀	6.1	10.8	26.0	50.4	93.5	3.4	5.4
京都	4.8	7.8	16.6	55.0	84.1	2.5	4.0
大阪	5.4	7.8	11.3	27.5	52.0	2.8	4.4
兵庫	14.9	25.4	48.4	79.5	168.2	7.6	12.6
奈良	3.9	6.8	12.3	35.6	58.5	2.0	3.6
和歌山	3.8	7.2	15.7	56.4	83.1	1.9	3.5
鳥取	3.6	5.9	13.6	64.4	87.6	2.0	3.2
島根	3.8	8.6	24.9	87.9	125.2	2.1	4.4
岡山	9.6	17.1	40.9	135.4	203.1	4.9	8.7
広島	8.6	16.6	38.1	129.3	192.5	4.6	8.9
山口	5.6	11.4	28.0	92.9	138.0	3.0	6.1
徳島	3.8	7.4	17.8	78.0	107.0	2.0	3.9
香川	4.8	9.4	21.3	71.6	107.1	2.5	4.9
愛媛	5.8	11.6	30.1	108.5	156.0	2.8	5.8
高知	2.6	6.1	16.3	75.9	100.8	1.3	3.1
福岡	10.5	17.4	43.1	131.9	202.9	5.3	8.6
佐賀	4.3	7.1	19.7	76.3	107.4	2.1	3.5
熊本	3.7	8.2	22.7	111.6	146.2	2.0	4.2
大分	6.5	11.9	31.9	204.0	254.3	3.2	5.9
宮崎	5.8	11.7	31.9	99.9	149.3	3.0	5.7
鹿児島	4.1	7.5	21.7	122.9	156.2	2.1	3.9
沖縄	8.3	16.5	47.9	222.6	295.3	4.3	8.4
全 国	288.9	521.6	1,344.1	5,646.3	7,800.9	152.9	264.2

(換算)の推計(昭46)

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリンジ・ レーパー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
10.9	143.5	160.2	2.2	5.7	14.2	140.6	162.7
14.8	56.1	78.8	1.8	5.0	19.3	68.9	95.1
16.2	74.0	98.5	2.3	5.0	15.5	100.7	123.5
18.0	60.8	87.7	2.5	5.6	18.3	52.6	78.9
17.8	57.3	83.7	2.4	6.3	19.2	53.9	81.7
14.1	70.8	91.2	2.1	4.2	13.4	64.6	84.2
15.9	115.3	141.9	2.7	6.2	18.5	127.6	155.0
19.6	122.6	153.1	2.8	7.2	24.8	131.4	166.2
13.2	71.7	92.2	1.8	5.0	15.7	71.4	93.8
11.3	88.9	108.0	2.6	4.4	17.0	76.2	100.3
13.4	96.5	118.9	1.9	5.7	16.3	100.7	124.6
15.6	108.4	131.8	1.8	5.5	17.0	126.2	150.5
3.4	21.6	26.8	0.4	1.6	3.9	12.6	18.5
4.2	35.8	44.3	1.0	2.5	6.7	28.2	38.3
25.5	101.2	139.9	4.2	7.2	27.8	120.9	160.1
11.4	17.6	37.0	2.0	5.7	17.2	23.6	48.4
9.1	17.9	34.4	2.3	4.5	13.7	25.7	46.2
6.1	16.3	28.4	1.7	4.3	9.5	25.8	41.3
6.0	39.9	51.1	1.6	2.9	8.0	38.1	50.6
18.6	99.2	135.1	6.0	9.1	24.1	126.9	166.0
16.6	39.0	69.1	3.8	8.9	21.4	45.6	79.7
11.5	87.4	109.0	2.4	7.5	15.9	95.1	120.9
15.6	72.2	101.5	4.2	9.3	22.8	85.6	121.9
13.7	33.7	58.1	2.7	7.5	19.2	39.0	68.5
10.7	15.5	35.3	2.3	6.8	16.8	19.0	45.0
7.0	27.3	40.5	1.7	4.2	8.7	29.1	43.7
5.7	20.8	33.0	2.4	3.4	5.1	8.4	19.3
18.6	36.6	74.8	7.3	13.9	19.9	40.7	81.8
5.8	19.3	30.5	1.9	3.0	5.6	15.2	25.6
5.5	28.0	39.3	1.7	3.7	8.3	25.3	39.0
5.1	25.6	35.6	1.2	3.1	7.0	36.5	47.7
11.4	33.1	51.1	1.5	4.8	13.6	47.2	67.0
16.3	64.8	94.0	3.7	8.5	19.7	74.2	106.1
15.9	49.2	78.4	3.3	8.0	19.5	77.2	107.9
10.9	34.7	54.6	2.0	5.8	15.9	52.0	75.7
7.2	31.8	44.5	1.2	3.3	8.8	43.8	57.0
8.5	29.8	45.3	1.9	4.8	11.1	38.0	55.8
12.4	52.3	73.0	2.5	6.0	15.0	55.3	78.8
8.1	35.4	47.7	1.1	3.1	8.5	40.5	53.2
15.2	62.7	91.6	4.0	8.1	22.1	70.8	105.0
7.9	36.1	49.3	1.7	3.3	10.0	37.2	52.3
10.8	54.2	70.1	1.1	3.0	10.8	66.9	18.8
12.4	99.0	119.3	2.1	5.3	14.1	109.1	130.5
13.4	43.8	66.2	2.5	5.8	18.3	51.4	78.1
10.0	57.6	72.7	1.3	3.4	9.6	68.2	82.4
20.9	97.0	129.0	2.5	6.7	24.9	133.7	167.8
561.8	2,602.6	3,556.3	110.1	254.6	692.1	2,921.4	3,978.2

第11表 農 業 勞 働 力

	男 女 計				男	
	フリンジ・レーバー		補助者	専従者	フリンジ・レーバー	
	～29日	30～59	60～149	150～	計	～29日 30～59
北海道	4.4	9.3	25.1	284.1	322.9	2.2 3.6
青森	4.2	10.4	34.2	125.0	173.8	2.4 5.4
岩手	5.2	10.4	31.7	174.6	222.0	2.9 5.4
宮城	5.4	11.5	36.3	113.4	166.6	2.9 6.0
秋田	5.1	12.2	36.9	111.2	165.4	2.8 5.8
山形	4.6	8.1	27.4	135.4	175.5	2.5 3.9
福島	6.2	13.3	34.3	243.0	296.8	3.5 7.1
茨城	6.5	14.4	44.4	254.1	319.3	3.7 7.2
栃木	4.3	9.8	28.8	143.1	186.0	2.5 4.8
群馬	5.6	9.2	28.3	165.1	208.3	3.0 4.8
埼玉	4.9	11.6	29.7	197.3	243.5	3.0 6.0
東京	4.1	11.0	32.6	234.6	282.3	2.2 5.5
神奈川	0.8	3.1	7.3	34.2	45.3	0.5 1.4
奈良	2.3	5.5	10.9	64.0	82.7	1.2 3.1
新潟	9.6	14.9	53.3	222.1	299.9	5.4 7.8
富山	5.2	10.5	28.6	41.1	85.4	3.2 4.8
石川	5.2	9.0	22.8	43.6	80.5	2.9 4.5
福井	4.1	8.0	15.5	42.1	69.7	2.4 3.7
山梨	3.4	6.2	14.0	78.0	101.6	1.9 3.2
長野	13.0	19.4	42.7	226.1	301.1	6.9 10.4
岐阜	8.7	17.6	37.9	84.6	148.8	4.9 8.7
静岡	6.1	13.9	27.4	182.5	230.0	3.7 6.4
愛知	10.1	17.0	38.4	157.8	223.3	5.9 7.8
三重	6.5	14.4	32.9	72.7	126.6	3.8 6.9
滋賀	5.5	12.7	27.5	34.6	80.3	3.2 5.9
京都	4.0	8.1	15.7	56.4	84.2	2.2 4.0
大阪	5.2	7.1	10.7	29.3	52.3	2.8 3.7
兵庫	15.8	25.1	38.4	77.3	156.6	8.4 11.2
奈良	3.8	6.4	11.3	34.5	56.1	2.0 3.4
和歌山	3.7	7.5	13.9	53.3	78.3	1.9 3.8
鳥取	3.0	6.3	12.0	62.1	83.3	1.7 3.2
島根	3.7	9.3	24.9	80.3	118.1	2.1 4.6
岡山	8.1	17.1	36.0	139.0	200.1	4.3 8.6
広島	7.6	17.0	35.4	126.4	186.3	4.3 9.0
山口	4.5	12.2	26.8	86.7	130.2	2.5 6.5
徳島	2.8	7.2	16.0	75.6	101.5	1.6 3.9
香川	4.3	9.4	19.5	67.8	101.1	2.4 4.6
愛媛	5.3	11.6	27.3	107.6	151.9	2.8 5.6
高知	2.3	6.0	16.6	75.9	100.8	1.2 3.0
福岡	9.2	16.7	37.3	133.5	196.6	5.1 8.6
佐賀	3.7	6.7	17.9	73.3	101.6	2.0 3.4
長崎	2.5	6.7	21.6	121.1	151.9	1.4 3.7
熊本	4.4	10.8	26.4	208.1	249.7	2.4 5.5
大分	5.6	11.7	31.8	95.2	144.2	3.1 5.9
宮崎	2.9	6.9	19.6	125.8	155.2	1.6 3.5
鹿児島	5.6	14.7	45.8	230.7	296.7	3.1 7.9
全 国	248.6	508.0	1,253.6	5,523.9	7,534.2	138.6 253.4

(換算)の推計(昭47)

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・ レーバー		補助者	専従者	計
60～149	150～		～29日	30～59	60～149	150～	
10.1	130.2	145.4	1.9	5.4	15.9	124.3	147.5
14.6	56.1	77.7	2.2	5.3	19.0	62.1	88.5
13.8	76.1	97.8	1.9	4.9	16.3	95.7	118.9
16.9	53.8	79.6	2.3	6.1	18.1	48.1	74.5
21.7	34.5	65.7	2.9	7.9	21.2	30.8	62.9
16.9	60.8	84.7	2.5	5.0	17.2	47.9	72.5
14.9	109.7	134.6	2.6	6.5	16.8	121.8	147.7
18.9	112.2	142.5	2.6	7.1	26.1	120.4	156.2
11.9	63.8	83.3	2.0	5.2	14.0	64.7	85.8
10.2	79.1	97.2	2.3	4.7	14.5	73.6	95.1
12.7	81.7	103.7	2.1	7.2	17.4	80.8	107.6
15.1	97.2	120.2	1.7	5.7	17.6	115.4	140.5
3.4	19.2	24.7	0.4	1.9	3.9	10.3	16.6
4.6	35.0	44.3	1.1	2.7	6.1	27.5	37.3
26.1	91.9	131.8	4.0	8.9	29.7	109.1	151.7
9.1	13.4	30.3	2.2	5.4	14.3	18.0	39.9
8.3	12.5	28.4	2.3	5.6	14.6	15.0	37.5
5.3	15.0	26.8	1.5	4.3	9.1	23.4	38.4
6.0	36.2	47.0	1.5	3.0	7.0	37.1	48.6
18.7	78.7	115.5	6.5	11.4	27.0	86.0	130.9
13.2	27.7	55.3	4.2	9.7	19.1	32.3	65.2
10.3	78.0	97.7	2.8	6.9	19.0	80.9	109.6
12.2	64.7	90.5	4.0	9.9	19.9	79.0	112.7
11.9	31.9	53.8	2.7	7.4	17.3	34.0	61.4
10.4	15.4	34.5	2.1	6.1	16.7	19.3	44.2
6.3	27.7	40.0	1.9	3.8	7.7	30.1	43.5
5.8	16.5	28.6	2.2	3.4	4.5	7.5	17.4
19.3	33.0	70.9	6.8	12.7	21.4	34.0	74.8
5.1	17.4	28.0	1.7	3.6	6.0	13.7	25.0
5.3	25.9	36.2	1.7	3.6	7.2	24.7	37.1
5.1	25.4	34.9	1.2	3.0	8.1	33.3	45.6
10.0	32.6	49.4	1.3	4.7	13.3	43.1	62.3
16.3	47.1	76.5	4.1	8.6	17.9	56.9	87.5
12.5	39.3	64.9	3.4	8.5	20.0	58.0	89.9
10.3	24.7	43.5	2.2	6.3	16.4	37.9	62.8
6.4	28.8	40.4	1.3	3.5	7.9	39.9	52.6
7.6	24.8	39.8	2.0	4.8	10.4	32.5	49.7
12.7	54.3	74.7	2.2	5.6	16.4	53.9	78.0
7.6	30.2	42.1	1.0	3.5	8.2	36.4	49.1
14.8	56.8	84.6	4.0	8.6	23.3	61.0	96.9
7.2	29.5	42.5	1.8	3.5	10.2	30.1	45.5
8.8	48.4	63.4	1.0	4.4	10.9	57.6	73.9
11.4	90.9	110.0	2.1	5.6	14.3	97.7	119.6
12.3	37.6	58.3	2.2	5.6	18.0	47.3	73.0
9.4	54.0	68.7	1.1	3.3	9.5	66.8	80.8
20.2	76.1	108.2	2.5	8.3	25.6	106.7	143.0
531.0	2,295.8	3,218.6	109.5	269.1	694.7	2,526.4	3,599.7

第12表 農 業 勞 働 力

	男 女 計				男	
	フリッジ・レーパー		補助者	専従者	フリッジ・レーパー	
	～29日	30～59	60～149	150～	計	～29日 30～59
北海道	3.6	8.9	26.0	254.5	292.2	1.8 3.4
青森	4.8	9.7	33.6	118.2	166.2	2.6 4.4
岩手	4.6	10.2	30.1	171.8	216.7	2.7 5.2
宮城	5.2	12.1	34.9	101.9	154.2	2.9 6.0
秋田	6.5	13.8	42.9	65.4	128.5	3.5 5.9
山形	5.0	9.4	34.1	108.7	157.2	2.6 4.4
福島	5.8	13.3	31.7	231.5	282.3	3.3 6.8
茨城	6.1	15.1	45.0	232.5	298.7	3.5 8.0
栃木	4.5	10.3	25.8	128.5	169.1	2.5 5.1
群馬	5.2	9.8	24.7	152.7	192.3	2.9 5.1
千葉	5.0	13.7	30.1	162.5	211.3	2.9 6.4
東京	4.2	11.2	32.7	212.7	260.7	2.5 5.4
神奈川	0.7	3.6	7.3	29.6	41.2	0.4 1.7
新潟	2.6	5.8	10.7	62.5	81.6	1.5 3.2
富山	9.0	17.7	55.8	201.0	283.5	4.9 8.9
石川	5.3	10.2	23.4	31.3	70.2	3.1 4.8
福井	5.0	10.6	22.9	27.5	65.9	2.7 5.0
山梨	3.6	8.8	14.4	38.4	65.1	2.1 4.4
長野	3.5	5.9	13.0	73.3	95.6	2.0 2.9
岐阜	14.0	22.0	45.7	164.6	246.4	7.5 10.6
静岡	9.7	18.6	32.3	60.0	120.5	5.5 8.9
愛知	6.9	12.2	29.4	158.9	207.3	4.0 5.3
三重	9.7	17.7	32.1	143.7	203.2	5.8 7.8
滋賀	6.2	13.9	29.3	65.8	115.2	3.5 6.5
京都	5.1	11.7	27.1	34.7	78.7	3.0 5.7
大阪	4.2	7.6	13.9	57.8	83.5	2.3 3.8
奈良	4.7	7.2	10.2	24.0	46.1	2.5 3.9
和歌山	14.6	23.4	40.7	67.0	145.7	7.9 10.7
徳島	3.6	7.2	11.1	31.0	53.0	1.9 3.7
香取	3.4	6.8	12.5	50.6	73.3	1.8 3.2
山根	2.8	5.8	13.2	58.7	80.5	1.6 2.8
島根	3.2	9.6	23.3	75.7	111.7	1.9 4.9
岡山	8.7	17.2	34.1	104.0	163.9	4.5 8.6
広島	7.5	17.6	32.5	97.3	154.8	4.1 9.1
山口	5.1	12.1	26.7	62.6	106.3	2.8 5.7
徳島	3.0	7.1	14.3	68.7	93.1	1.7 3.5
香川	4.5	9.6	18.0	57.4	89.5	2.5 4.8
愛媛	4.6	10.9	29.0	108.2	152.7	2.4 5.4
高知	2.2	6.7	15.8	66.6	91.2	1.2 3.2
福岡	9.1	16.4	38.1	117.9	181.5	5.2 7.8
佐賀	3.9	7.1	17.4	59.6	88.0	2.1 3.6
長門	2.5	9.0	19.6	106.1	137.3	1.5 4.7
熊本	4.5	10.9	25.7	188.6	229.6	2.4 5.3
大分	4.8	11.3	30.3	84.9	131.4	2.7 5.7
宮崎	2.3	7.4	19.0	120.8	149.5	1.3 4.0
鹿児島	5.5	17.2	45.8	182.7	251.2	3.0 9.0
全 国	246.2	524.1	1,225.7	4,822.2	6,818.3	136.7 255.0

の 変 動 指 数 (昭47/40)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フ リ ン ジ ・ レ ー バ ー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
0.82	0.71	0.71	1.12	0.96	0.81	0.63	0.66
1.22	0.70	0.79	1.39	1.23	1.12	0.64	0.73
1.08	0.69	0.76	1.32	1.24	1.11	0.67	0.75
0.94	0.72	0.76	0.97	1.01	0.82	0.75	0.77
1.06	0.55	0.69	1.41	1.41	1.15	0.53	0.68
0.97	0.65	0.73	1.51	1.40	0.96	0.62	0.72
0.74	0.60	0.67	1.23	1.24	0.90	0.59	0.69
0.83	0.52	0.65	1.26	1.16	0.83	0.52	0.66
0.93	0.67	0.75	1.19	1.40	1.03	0.65	0.74
0.83	0.49	0.61	1.44	1.34	0.95	0.51	0.63
0.86	0.64	0.71	1.21	1.19	0.89	0.67	0.74
0.90	0.68	0.74	1.21	1.20	0.96	0.65	0.73
1.00	0.65	0.72	0.92	1.21	0.97	0.66	0.72
0.95	0.64	0.72	1.31	1.23	0.98	0.62	0.71

となっている。

以上は全国平均についての傾向であるが、これを地域別にみると地域の性格によって種々の差異を示していることがわかる。まず専従労働力についてみると、各地域とも減少傾向を示しているが、なかでも山陽、近畿、北陸はその程度が著しく、逆に南関東は減少の程度が緩やかである。次に補助労働力の場合には各地域ともおおむねやや減少という傾向であるが、北海道、近畿、東海はその程度が相対的に著しいのに対して、東北、北陸、北関東ではむしろ増加を示している点は特徴的である。

最後にフリンジ・レーバーについてみると、従事日数が三〇と五九日の場合には各地域ともおおむね増加を示しているが、なかでも北陸、北関東、山陰、東山などはその程度が相対的に大きいのに対して、北海道のみは逆に減少を示している点は特徴的である。また従事日数が三〇日未満の場合には、おおむね各地域とも増加傾向が大きいと、とくに東山、北関東はその程度が著しい。これに対して南九州と北海道は逆に減少を示している点、および南関東は増加を示しているがその程度が著しく小さい点は注目に値する。

これまでの議論は男女計に関するものであるが、これを男女別に区分してみると多少の相違がみられる。まず専従労働力の場合には男女とも各地域を通じて著しい減少傾向を示している

第13表 農 業 勞 働 力(換 算)

地 域	男 女 計					男	
	フリンジ・レーパー		補助者	専従者	計	フリンジ・レーパー	
	～29日	30～59				～29日	30～59
北海道	0.95	0.86	0.82	0.67	0.68	0.86	0.71
東北	1.36	1.14	1.16	0.67	0.76	1.34	1.05
北関東	1.43	1.29	1.10	0.68	0.75	1.51	1.34
南関東	1.07	1.06	0.87	0.74	0.77	1.13	1.12
北陸	1.37	1.31	1.11	0.54	0.68	1.35	1.22
東山	1.50	1.27	0.97	0.63	0.73	1.46	1.15
東海	1.30	1.15	0.83	0.60	0.68	1.34	1.05
近畿	1.28	1.11	0.83	0.52	0.65	1.29	1.06
山陰	1.18	1.28	0.99	0.66	0.74	1.17	1.18
山陽	1.34	1.24	0.90	0.50	0.62	1.28	1.15
四国	1.23	1.14	0.87	0.65	0.72	1.26	1.08
北九州	1.25	1.18	0.93	0.66	0.73	1.28	1.16
南九州	0.93	1.21	0.98	0.66	0.72	0.91	1.23
全国計	1.29	1.18	0.96	0.63	0.71	1.30	1.13

が、なかでもその程度が相対的に著しいところは、男女とも山陽、近畿、北陸の三地域である。これに対して減少の程度が比較的緩やかな地域は、男女とも南関東である点特徴的である。次に補助労働力についてみると、男女ともおおむね各地域を通じてやや減少を示しているが、その程度が著しい地域をみると男子では北海道、近畿、山陽、女子では北海道、近畿である。これに対してこの期間内にむしろ増加している地域もあり、なかでも男子では東北、女子では北陸、東北、北関東は目立っている。

最後にフリンジ・レーパーについてみることにするが、この場合にまず従事日数が三〇～五九日について触れると、男女とも北海道において減少を示しているのを除くとすべての地域で増加している。なかでもその程度が相対的に著しい地域は、男子では北関東、南九州、北陸であり、女子では北陸、東山、山陰、山陽の諸地域である。次に従事日数が三〇日未満の場合には、おおむね男女とも増加傾向が著しいが、とくにその程度が大きい地域は男子の場合には北関東、東山が、女子では東山、山陽、北陸が目立っている。これに対してこの期間内に減少している地域もあり、男子では北海道、南九州が、女子では南九州と南関東がそれに該当するが、これは地域の特徴として留意すべき点であろう。

(換算)の対前年変動(昭47/46)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・ レーバー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
0.93	0.91	0.91	0.86	0.95	1.12	0.88	0.91
1.02	0.90	0.93	1.04	1.10	1.04	0.87	0.91
0.93	0.89	0.90	0.99	1.09	0.98	0.89	0.92
1.00	0.91	0.93	1.00	1.07	1.00	0.92	0.94
0.93	0.87	0.91	0.98	1.12	1.00	0.84	0.90
1.00	0.83	0.87	1.05	1.20	1.06	0.75	0.83
0.83	0.87	0.88	1.03	1.02	0.95	0.85	0.89
0.98	0.92	0.94	0.94	0.95	0.98	0.94	0.95
0.93	0.99	0.97	0.89	0.99	1.04	0.91	0.94
0.90	0.75	0.81	1.09	1.05	0.98	0.75	0.83
0.95	0.93	0.94	0.96	1.02	0.99	0.92	0.94
0.91	0.89	0.90	0.96	1.09	1.02	0.88	0.91
0.96	0.84	0.88	0.92	1.15	1.02	0.86	0.89
0.95	0.88	0.91	0.99	1.06	1.00	0.86	0.90

以上は昭和四〇年から四七年における七年間における変動であり、専従者基準による農業労働力の総投入量の減少率は第一三表から明らかなように、男女とも年率平均四・七％位である。しかしながら最近における減少率はきわめて著しいものがある。その点を明らかにするために、四六年から四七年にいたる最近時点の変動を地域別にみることにする。これを整理したのが第一四表である。これから明らかなように全国における農業労働力の総投入量は、この一年間に男子では九％、女子では一〇％という高い減少率を示しているが、これは米の生産調整による影響が強く働いていると考えられる。

また地域別にこの状態をみると、相対的に減少率の大きい地域は、男子の場合に山陽が一九％、東山が一三％、東海が一二％、南九州が一二％というところであり、女子の場合には山陽が一七％、東山が一七％、東海が一％、南九州が一％というところが一〇％以上という高い減少率を示している。これに対して減少率が相対的に緩やかな地域をみると、男子では山陰の三％、近畿の六％、四国の六％というところであり、女子の場合には近畿の五％、山陰、四国、南関東のそれぞれ六％というところが目立っている。

さらに都道府県別の立場から最近(四六年から四七年)における農業総労働力の減少が著しい地域をみると、秋田、富山、

第14表 最近における農業労働力

地 域	男 女 計					男	
	フリンジ・レーパー		補助者	専従者	計	フリンジ・レーパー	
	～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
北海道	0.82	0.96	1.04	0.90	0.90	0.82	0.94
東北	1.04	1.04	1.03	0.88	0.92	1.04	0.97
北関東	0.98	1.08	0.96	0.89	0.91	0.97	1.08
南関東	1.06	1.05	1.00	0.92	0.93	1.10	1.03
北陸	0.95	1.11	0.97	0.85	0.91	0.93	1.11
東海	1.07	1.09	1.04	0.78	0.85	1.08	0.99
近畿	1.03	0.99	0.90	0.86	0.89	1.03	0.96
山陰	0.94	0.96	0.98	0.93	0.95	0.94	0.97
山陽	0.91	0.99	0.99	0.94	0.95	0.92	0.99
四国	1.05	1.01	0.95	0.75	0.82	1.04	0.98
北九州	0.97	1.00	0.97	0.92	0.94	0.98	0.98
南九州	0.98	1.04	0.97	0.88	0.91	0.99	1.00
全国計	0.92	1.14	0.99	0.85	0.89	0.91	1.14
	0.99	1.03	0.98	0.87	0.91	0.99	1.01

石川、長野、岐阜、岡山、広島、山形の諸県では二〇%前後の減少率を示している。ついで埼玉、大阪、佐賀、鹿児島、諸県でも一〇%以上の減少となっている。これらの諸地域はいずれも稲作のウエイトが高いところ、出かせぎを含めて兼業の多いところ、あるいは過疎的色彩の強いところなどの性格を持っているのが特徴的である。このように減少率の著しい地域はその労働力の内容をみると、いずれも専従労働力の減少が格段に大きく、補助労働力、フリンジ・レーパーはむしろ増加している。しかしながら、専従労働力の減少が決定的となつて、投下総労働力としては上述のように著しい減少を示したことになる。

四 農業における

高齢（六〇歳以上）労働力の推計

前節までに述べてきたことからは、農業生産に投入された労働力を専従者基準で推計した値に関する考察であつた。しかもその場合に年齢については無視し、とにかく農業生産に従事したものの総てに関して、専従者基準で換算したわけである。しかしながら農業生産に投入された労働力としては、単に時間で測った量的なものではないことはいふまでもない。技能にもとづく生産力を考慮しなければならない。とくに最近における農業の機械化が進展している現状では、機械の操作能率が農業生

産に大きな影響を及ぼしている。

その意味から生産力を考慮した農業労働力を推計する必要があるが、これに関しては独自の基礎的研究がなされなければならない。そこでここではその接近の一つとして、六〇歳以上という老齢農業労働力を専従者基準で推計することにした。このことは最近における農業労働力の老齢化の進行をみるためにも必要である。さてこれを整理するための資料としては、「農業センサス」において従事日数別農業従事者の年齢区分を利用することになる。なおこの老齢区分は「農業調査」では公表されていないので、現在のところ昭和四〇年、四五年の両時点のみである。これを農業地域別に整理すると、第一五表のようにあらわすことができる。

これから明らかなように専従者基準で推計した六〇歳以上の農業労働力は、昭和四〇年において全国男女計で一五五・一万一人であるが、男女別には男子九六・一万一人、女子五九・〇万人というように、男子のほうが六二％と高い値を示している。既述のように農業生産に投入されて労働力は女子のほうが男子より多かったが、六〇歳以上という老齢労働力についてみるかぎり、男子のほうがはるかに多いことがわかる。さらにこれを従事日数別にみると、男子の場合には専従労働力のシェアが七七％、女子のそれは六三％と一四ポイントも多いが、逆にフリン

ジ・レーバーのシェアでは男子の場合に六％であるが、女子では一四％というようにはるかに多い点は農業における老齢労働力の特徴である。

また農業の老齢労働力を男女別にみると全国平均では、既述のようにその女性比率は三八・一％であるが、これを地域別にみるとこの値が相対的に大きいところは、南九州の四四・八％、山陽の四三・四％、山陰の四二・三％、などの諸地域であり、逆にこの比率が相対的に小さいところは東北の三三・八％、南関東の三四・三％、東山の三四・三％、近畿の三四・五％などであり、一般に西日本地帯では大きいのに対して、東日本地帯では相対的にこの値が小さい。

以上は昭和四〇年における状態であるが、それから五年後の四五年における状態をみると、専従者基準による農業労働力は全国男女計で一四三・七万人であるが、このうち男子は八七・二万人、女子は五六・五万人というように、女性比率は三九・四％であるので老齢労働力は男子のほうがはるかに大きい点は五年前と変わらないが、女性の比率はやや大きくなってきている。さらに従事日数別の労働力をみると、専従労働力の場合には男子のシェアは六九％、女子のそれは五四％とその格差は四〇年のそれと同じであるが、シェアの水準そのものは五年前に比べるとかなり低下している。いっぽうフリンジ・レーバーの

シニアについては、これと反対にその値は増大し、男子では一〇%、女子では一九%というようにそれぞれそのシニアは増加している。

これまでは農業生産に投入された労働力（専従者基準で換算）のうち、六〇歳以上の老齢労働力について推計した値を述べてきた。そこで、次にこの老齢労働力が全労働力に占める割合、すなわち労働力の老齢比率を専従労働力、補助労働力、フリンジ・レーパー別に求め、それぞれの性格を概観することにする。これによって地域の特徴をかなり明確にえがき出すことができる。これらを整理したのが第一六表である。

まず昭和四〇年における状態を同表からみると、全国男女計では、専従労働力の老齢比率は〇・一四五五、補助労働力では〇・二三五六、フリンジ・レーパーでは〇・二三一〇・二〇というように、専従労働力の場合には小さく、補助労働力、フリンジ・レーパーの比率は相対的に大きいことがわかる。さらにこれを男女別にみるとその性格の差異がより明らかになる。すなわち労働力の老齢比率は男子の場合には〇・二二四九、女子の場合には〇・一一六三というように、男子のほうが倍近い値を示し、農業生産における老齢労働力は男子が主流であることがわかる。

さらにこれを就業状態別にみると、男子では専従労働力の場

合に〇・二〇六五、補助労働力の場合に〇・二八八〇であるのにたいして、女子では専従、補助労働力の老齢比率がそれぞれ〇・〇九一六、〇・一九四四というように、男子のほうが格段に大きい。これに対してフリンジ・レーパーの老齢比率は、女子のほうが男子に比べて格段に大きい。このように農業生産に投入された老齢労働力は、男子のほうがはるかに多いとともに、就業状態別にも専従者ないし補助者として従事する割合が大きく、フリンジ・レーパーとして従事する割合は女子に比べて著しく小さいといえる。

以上是全国平均としての特徴であるが、さらにこれを地域別にみると地域の性格によって種々の差異がみられる。まず専従労働力における老齢比率をみると、この値が相対的に大きい地域は男子の場合に山陽、近畿、四国、東海であり、女子の場合には山陽、四国、南九州である。これに対してこの値が相対的に小さい地域は、男女とも北海道、東北の二地域が著しい。次に補助労働力の老齢比率をみると、この場合には地域によるバラツキは比較的少ないが、そのなかで相対的にこの比率が大きい地域は、男子では北海道であり、女子では南九州、山陽、山陰が目立ち、逆にこの値が相対的に小さい地域は、男子では北陸、女子では東北となっている。

最後にフリンジ・レーパーにおける老齢比率の値をみることに

業労働力(換算)

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリンジ・ レーバ		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
4.3	19.2	25.3	0.5	1.3	3.3	8.1	13.2
19.9	64.3	93.4	3.2	6.9	12.7	24.9	47.7
15.8	77.4	98.6	2.4	5.7	13.5	33.5	55.1
8.1	37.5	48.3	1.1	3.0	7.0	14.1	25.2
10.9	42.4	58.3	2.0	4.5	10.1	22.5	39.1
7.9	44.0	54.7	1.3	2.7	7.0	17.6	28.6
19.2	91.0	117.4	2.8	6.7	16.6	44.9	71.0
19.1	76.9	102.9	2.8	6.3	14.1	30.9	54.1
4.7	23.6	30.2	0.7	1.8	4.8	14.8	22.1
13.4	77.0	94.9	1.7	4.8	13.9	52.3	72.7
11.1	58.7	73.6	1.4	3.8	10.3	34.1	49.6
18.0	79.0	103.4	2.6	6.2	15.5	39.1	63.4
8.7	48.2	59.5	1.1	2.9	9.5	34.8	48.3
161.1	739.2	960.5	23.6	56.6	138.3	371.6	590.1
17	77	100	4	10	23	63	100
5.5	17.8	25.4	0.9	2.0	3.9	6.8	13.6
24.1	56.5	91.4	5.0	7.8	14.1	22.5	49.4
17.6	69.5	94.5	3.7	7.0	15.7	29.9	56.3
9.2	30.0	43.0	1.5	3.5	7.5	12.0	24.5
16.1	33.5	55.9	3.0	5.8	11.9	16.7	37.4
9.1	42.7	55.5	2.2	3.7	8.4	17.9	32.2
20.7	74.0	104.4	4.1	8.3	18.4	37.0	67.8
20.4	52.5	83.2	4.3	7.9	14.1	19.5	45.8
5.6	19.0	26.8	1.0	2.2	5.4	13.1	21.7
16.4	61.7	84.7	2.7	6.2	16.3	42.9	68.1
12.0	47.4	64.6	2.1	4.7	11.2	29.0	47.0
20.9	61.1	90.7	4.3	8.1	17.0	28.5	57.9
9.5	38.5	51.9	1.8	3.8	10.6	27.5	43.7
187.1	604.2	872.0	36.6	71.0	154.5	303.3	565.4
21	69	100	6	13	27	54	100

第15表 60歳以上の農

	地 域	男 女 計					男	
		フリッジ・レーパー		補助者	専従者	計	フリッジ・レーパー	
		～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
昭和46年	北海道	0.9	2.7	7.6	27.3	38.5	0.4	1.4
	東北	5.4	13.9	32.6	89.2	141.1	2.2	7.0
	北関東	3.7	9.8	29.3	110.9	153.7	1.3	4.1
	南関東	1.7	5.1	15.1	51.6	73.5	0.6	2.1
	北陸	3.4	8.1	21.0	64.9	97.4	1.4	3.6
	東山	2.1	4.7	14.9	61.6	83.3	0.8	2.0
	東海	4.6	12.1	35.8	135.9	188.4	1.8	5.4
	近畿	4.5	11.5	33.2	107.8	157.0	1.7	5.2
	山陰	1.2	3.2	9.5	38.4	52.3	0.5	1.4
	山陽	2.6	8.4	27.3	129.3	167.6	0.9	3.6
	四国	2.3	6.7	21.4	92.8	123.2	0.9	2.9
	北九州	4.2	11.0	33.5	118.1	166.8	1.6	4.8
	南九州	1.9	4.7	18.2	83.0	107.8	0.8	1.8
昭和45年	全国計	38.5	101.9	299.4	1,110.8	1,550.6	14.9	45.3
	同比率(%)	2	6	19	73	100	2	4
昭和45年	北海道	1.6	3.3	9.4	24.7	39.0	0.7	1.4
	東北	8.4	15.2	38.2	79.0	140.8	3.4	7.4
	北関東	5.9	12.1	33.3	99.4	150.7	2.2	5.2
	南関東	2.4	6.2	16.6	42.0	67.2	1.0	2.8
	北陸	4.9	10.2	28.1	50.2	93.4	1.9	4.4
	東山	3.3	6.3	17.5	60.7	87.8	1.1	2.6
	東海	6.8	15.3	39.2	111.1	172.4	2.7	7.0
	近畿	7.0	15.5	34.5	71.9	128.9	2.7	7.6
	山陰	1.6	3.9	11.0	32.1	48.6	0.6	1.6
	山陽	4.4	11.1	32.7	104.5	152.7	1.7	4.9
	四国	3.5	8.5	23.2	76.4	111.6	1.4	3.8
	北九州	6.9	14.2	37.5	89.6	148.2	2.6	6.1
	南九州	3.0	6.5	20.0	66.0	95.5	1.2	2.7
昭和45年	全国計	59.7	128.3	341.2	907.6	1,436.8	23.2	57.5
	同比率(%)	4	10	24	64	100	3	7

における60歳以上比率

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・レーバー		補助者	専従者	計
60～149	150～		～29日	30～59	60～149	150～	
0.3496	0.1040	0.1240	0.2941	0.2321	0.1684	0.0410	0.0588
0.2457	0.1147	0.1362	0.3107	0.2379	0.1304	0.0390	0.0616
0.3185	0.1585	0.1748	0.3529	0.2923	0.2090	0.0666	0.0927
0.3293	0.1787	0.1953	0.3333	0.2941	0.2083	0.0689	0.1000
0.2375	0.1752	0.1843	0.2817	0.2616	0.1709	0.0721	0.0988
0.3110	0.2477	0.2473	0.2453	0.2621	0.1977	0.0892	0.1152
0.2991	0.2702	0.2656	0.2523	0.2463	0.1974	0.1179	0.1411
0.3051	0.2936	0.2791	0.2171	0.2203	0.1855	0.1245	0.1480
0.2866	0.2713	0.2677	0.3333	0.3273	0.2319	0.1264	0.1520
0.2839	0.3407	0.3137	0.2500	0.2743	0.2447	0.1736	0.1901
0.2775	0.2716	0.2649	0.2642	0.2585	0.2133	0.1399	0.1589
0.2980	0.2030	0.2137	0.2857	0.2684	0.1938	0.0866	0.1124
0.2929	0.2418	0.2436	0.2895	0.3021	0.2624	0.1330	0.1552
0.2880	0.2065	0.2149	0.2760	0.2595	0.1944	0.0916	0.1163
0.4331	0.1185	0.1492	0.3103	0.3175	0.2167	0.0462	0.0781
0.2497	0.1252	0.1517	0.3067	0.2364	0.1286	0.0450	0.0750
0.3132	0.1742	0.1923	0.3109	0.3241	0.2221	0.0741	0.1109
0.3297	0.1926	0.2138	0.3191	0.2991	0.2027	0.0834	0.1242
0.2776	0.2000	0.2134	0.2752	0.2624	0.1619	0.0825	0.1214
0.3611	0.3011	0.2911	0.2472	0.2984	0.2414	0.1125	0.1492
0.3399	0.3058	0.2936	0.2316	0.2562	0.2217	0.1392	0.1705
0.3493	0.3205	0.3016	0.2299	0.2446	0.1964	0.1386	0.1734
0.3181	0.2923	0.2856	0.2941	0.3143	0.2571	0.1501	0.1830
0.3438	0.4073	0.3597	0.2389	0.2897	0.2726	0.2083	0.2284
0.3101	0.3017	0.2905	0.2530	0.2781	0.2398	0.1639	0.1889
0.3215	0.2031	0.2216	0.2829	0.2842	0.2017	0.0883	0.1276
0.3084	0.2515	0.2562	0.3000	0.3248	0.2732	0.1429	0.1755
0.3141	0.2238	0.2349	0.2691	0.2758	0.2059	0.1030	0.1382

第16表 農業労働力(換算)

	地 域	男 女 計					男	
		フ リ ン ジ ・ レ ー バ ー		補 助 者	専 従 者	計	フ リ ン ジ ・ レ ー バ ー	
		～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
昭和40年	北海道	0.2368	0.2596	0.2382	0.0714	0.0899	0.1905	0.2917
	東 北	0.2308	0.2317	0.1827	0.0744	0.0966	0.1679	0.2251
	北関東	0.2534	0.2593	0.2566	0.1118	0.1327	0.1667	0.2240
	南関東	0.2429	0.2629	0.2595	0.1245	0.1473	0.1579	0.2283
	北 陸	0.2048	0.2238	0.2000	0.1171	0.1368	0.1474	0.1895
	東 山	0.1795	0.2136	0.2451	0.1643	0.1775	0.1231	0.1709
	東 海	0.1840	0.2224	0.2414	0.1894	0.1993	0.1286	0.1993
	近 畿	0.1613	0.1990	0.2395	0.2114	0.2138	0.1133	0.1781
	山 陰	0.2353	0.2667	0.2568	0.1881	0.2026	0.1667	0.2154
	山 陽	0.1646	0.2222	0.2625	0.2453	0.2447	0.1000	0.1765
	四 国	0.2000	0.2219	0.2426	0.2018	0.2089	0.1452	0.1871
	北九州	0.2110	0.2366	0.2386	0.1405	0.1592	0.1481	0.2060
昭和45年	南九州	0.2262	0.2315	0.2762	0.1801	0.1941	0.1702	0.1698
	全国計	0.2018	0.2292	0.2356	0.1455	0.1625	0.1415	0.2000
	北海道	0.2909	0.3204	0.3062	0.0831	0.1131	0.2593	0.3415
	東 北	0.2346	0.2225	0.1853	0.0831	0.1116	0.1744	0.2096
	北関東	0.2314	0.2763	0.2637	0.1239	0.1509	0.1618	0.2342
	南関東	0.2353	0.2684	0.2558	0.1402	0.1691	0.1786	0.2456
	北 陸	0.2025	0.2277	0.2137	0.1357	0.1636	0.1429	0.1938
	東 山	0.1793	0.2342	0.2917	0.2017	0.2161	0.1146	0.1806
	東 海	0.1757	0.2394	0.2724	0.2187	0.2284	0.1286	0.2222
	近 畿	0.1799	0.2356	0.2650	0.2362	0.2390	0.1330	0.2269
	山 陰	0.2162	0.2671	0.2857	0.2108	0.2284	0.1500	0.2105
	山 陽	0.1849	0.2461	0.3053	0.2923	0.2864	0.1360	0.2068
昭和45年	四 国	0.2059	0.2464	0.2717	0.2287	0.2368	0.1609	0.2159
	北九州	0.2233	0.2522	0.2512	0.1437	0.1723	0.1656	0.2194
	南九州	0.2419	0.2708	0.2064	0.1910	0.2117	0.1875	0.2195
	全国計	0.2063	0.2462	0.2539	0.1607	0.1842	0.1504	0.2173

にする。この場合には従事日数が三〇日未満と三〇～五九日の二つがあるが、両者ともにその比率が相対的に大きい地域としては、男子の場合に北海道、東北であり、女子の場合には山陰、北関東、南関東である。これに対して老齢比率が相対的に小さい地域としては、男子の場合に山陽、近畿が、女子の場合には近畿が他の地域に比べて目立っているのが特徴である。

これまでは昭和四〇年における農業労働力（専従者基準による換算）の老齢比率を概観してきたのであるが、次に五年後のセンサス年次である四五年における老齢比率に考察を加えることにする。この五年間に各地域を通じて男女とも、農業労働力における老齢比率は上昇してきている。まず全国男女計について老齢比率の値をみると、〇・一八四二というように五年前に比べると一・一三倍に増加している。しかしながらこれを就業状態別にみると、老齢比率の上昇は専従労働力が最も大きく、ついで補助労働力、フリンジ・レーバーの順となっている。

さらにまたこれを男女別に区分してみると、男女による差異がはっきりした形であらわれている。男子の老齢比率は全体の平均として〇・二三四九、女子のそれは〇・一三八二というように、水準値としては男子のほうが格段に大きい点は、五年前の四〇年における状態と同じであるが、老齢比率の上昇の程度は男子が一・〇九倍、女子が一・一九倍というように、女子に

おける老齢化傾向が著しく大きい。しかしながら、これを就業状態別に区分してみると、専従労働力の老齢比率の場合には男子より女子のほうが上昇傾向が大きいのが、補助労働力、フリンジ・レーバーの場合には逆に男子のほうが大きい。

以上は全国平均としての傾向であるが、次にこれを地域の立場からその特徴を考察することにする。まず老齢比率の値そのものについては、地域による大小のバラツキがみられるが、その地域的傾向は四〇年の時とおおむね同様である。すなわち専従労働力における老齢比率が相対的に大きい地域は、男子では山陽、近畿、東海、東山、四国であり、女子では山陽、四国、山陰、南九州というように西日本地帯に多く、これと逆に老齢比率が相対的に小さい地域は、男女とも北海道、東北という東日本地帯に多いのが特徴的である。

次に補助労働力における老齢比率をみると、この値が相対的に大きい地域は男子では北海道が著しく、女子では南九州、山陽、山陰が目立っている。これに対してこの値が相対的に小さい地域は、男女とも東北、北陸において著しい。最後にフリンジ・レーバーにおける老齢比率をみると、この値が相対的に大きい地域は、男子の場合に北海道、女子の場合には北海道、北関東、南九州である。これに対してこの値が相対的に小さい地域は、男子の場合には東山、女子の場合には近畿が著しい。

以上は四五年における老齡比率の水準値に関する地域的特徴であるが、次にこの老齡比率が四〇年から四五年にいたる間に上昇してきている状況を、地域の立場から概観することにする。この点については既述のように全国平均でみるかぎり一般に上昇してきているが、地域によって、その程度に強弱がある。まず専従労働力における老齡比率の上昇が相対的に大きい地域は、男子の場合には東山、山陽であり、女子の場合には東山、南関東、山陽である。次に補助労働力における老齡比率の上昇程度は、男子の場合には北海道、山陽が、女子の場合には北海道、東山が目立って著しい。最後にフリンジ・レーバーの場合には、男子では北海道、山陽、近畿が、女子では北海道が目立っている。

以上で農業労働力（専従者基準で換算）における老齡労働力（六〇歳以上）の推計およびその変動傾向について、農業地域の立場から若干の考察を加えてきた。しかしながら本稿の主旨はこれらを都道府県別の立場から資料として整理するのが主要な目的である。したがってその意味から老齡労働力、老齡比率について、第一七・二〇表に示してある。これによって農業に投入された老齡労働力が専従者基準によって把握されるとともに、その比率が地域（都道府県別）の性格によっていかなる状

態を示すかがわかる。しかしながらこれらに関する論述は繁雑に過ぎるので、詳細は同表をみていただきここでは省略することにする。

五 農業労働力における女性比率の状態

これまでの各節では農業生産に投入された労働力について専従者基準で換算した値を推計し、その地域性について若干の考察を加えてきた。そこで本節ではこれら農業労働力のうち女子の労働力がいかなる比率を占めているか、またその推移がいかなる傾向を示しているかをみることにする。既出の第八表を基にして女性比率を求めると、第二一表のように整理することができる。農業における労働力は前節で述べたように老齡化が進行しているが、女性化についても同様に進行しているか否かを考えることにする。

まず昭和四〇年における女性比率の値は全国平均でみると、〇・五三一五というように全農業労働力のうち女子のほうが男子より多いことは明らかである。いっぽう非農林業における就業者のうち、女子の占める比率を「労働力調査」の年平均でみると、四〇年では〇・三五九七、四五年では〇・三六七二、四七年では〇・三六〇八というように、三六％前後の値を示している。したがって農業労働力における女性比率が五〇％以上の

(換算)の60歳以上(昭40)

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリンジ・レーバー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
4.3	19.2	25.3	0.5	1.3	3.3	8.1	13.2
2.6	9.8	13.5	0.4	1.0	2.1	5.2	8.7
3.4	13.4	18.2	0.5	1.3	2.8	7.1	11.7
3.6	8.0	13.4	0.6	1.0	1.3	1.6	4.5
2.6	7.9	12.0	0.5	0.9	1.2	2.3	4.9
3.1	8.2	12.7	0.5	1.0	1.5	1.9	4.9
4.6	17.0	23.6	0.7	1.7	3.8	6.8	13.0
4.7	20.4	27.0	0.7	1.9	4.3	11.4	18.3
3.7	13.5	18.4	0.6	1.1	2.8	6.3	10.8
3.5	20.2	24.8	0.5	1.3	3.0	6.8	11.6
3.9	23.3	28.4	0.6	1.4	3.4	9.0	14.4
4.7	17.3	23.6	0.7	1.9	4.3	9.5	16.4
1.7	7.6	9.7	0.1	0.4	1.0	1.4	2.9
1.7	12.6	15.0	0.3	0.7	1.7	3.2	5.9
4.8	15.6	22.8	1.0	1.8	3.5	5.9	12.2
2.2	10.4	13.4	0.3	0.9	2.2	7.0	10.4
2.0	7.7	10.7	0.4	1.0	2.2	4.1	7.7
1.9	8.7	11.4	0.3	0.8	2.2	5.5	8.8
1.8	13.5	16.0	0.3	0.6	1.8	4.7	7.4
6.1	30.5	38.7	1.0	2.1	5.2	12.9	21.2
5.1	20.3	27.2	0.7	1.6	4.0	8.1	14.4
4.9	25.6	32.2	0.7	1.6	4.6	12.6	19.5
5.4	29.0	36.5	0.9	2.0	5.0	16.0	23.9
3.8	16.1	21.5	0.5	1.5	3.0	8.2	13.2
3.1	10.1	14.3	0.5	1.0	2.6	4.3	8.4
2.3	12.7	15.8	0.4	0.8	2.6	6.5	10.3
2.4	9.5	12.8	0.4	0.7	1.0	1.7	3.8
6.7	27.1	36.2	0.9	2.3	5.2	12.2	20.6
2.0	7.5	10.3	0.3	0.7	0.9	1.9	3.8
2.6	10.0	13.5	0.3	0.8	1.8	4.3	7.2
1.7	9.2	11.6	0.3	0.7	1.9	7.0	9.9
3.0	14.4	18.6	0.4	1.1	2.9	7.8	12.2
4.9	28.4	35.0	0.7	1.8	5.1	15.5	23.1
5.1	28.5	35.2	0.6	1.8	5.3	21.8	29.5
3.4	20.1	24.7	0.4	1.2	3.5	15.0	20.1
2.3	12.4	15.5	0.3	0.7	2.1	8.6	11.7
2.7	12.9	16.4	0.3	1.0	2.6	7.3	11.2
3.8	21.0	26.1	0.5	1.3	3.3	9.4	14.5
2.3	12.4	15.6	0.3	0.8	2.3	6.8	12.2
4.5	21.8	28.0	0.7	1.6	3.9	10.4	16.6
2.2	8.2	11.1	0.4	0.9	1.8	2.8	5.9
3.0	13.3	17.4	0.3	1.1	2.9	7.8	12.1
4.5	19.3	25.4	0.7	1.5	3.3	8.5	14.0
3.8	16.4	21.5	0.5	1.1	3.6	9.6	14.8
2.9	13.1	16.8	0.4	0.8	2.5	7.7	11.4
5.8	35.1	42.7	0.7	2.1	7.0	27.1	36.9
161.1	739.2	960.5	23.6	56.6	138.3	371.6	590.1

第17表 農 業 勞 働 力

	男 女 計					男	
	フリッジ・レーバー		補助者	専従者	計	フリッジ・レーバー	
	～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
北海道	0.9	2.7	7.6	27.3	38.5	0.4	1.4
青森	0.7	1.8	4.7	15.0	22.2	0.3	0.8
岩手	0.8	2.4	6.2	20.5	29.9	0.3	1.1
宮城	1.0	2.4	4.9	9.6	17.9	0.4	1.4
秋田	0.9	2.0	3.8	10.2	16.9	0.4	1.1
山形	0.8	2.1	4.6	10.1	17.6	0.3	1.1
福島	1.2	3.2	8.4	23.8	36.6	0.5	1.5
茨城	1.2	3.3	9.0	31.8	45.3	0.5	1.4
栃木	0.9	2.0	6.5	19.8	29.2	0.3	0.9
群馬	0.7	2.2	6.5	27.0	36.4	0.2	0.9
埼玉	0.9	2.3	7.3	32.3	42.8	0.3	0.9
千葉	1.1	3.1	9.0	26.8	40.0	0.4	1.2
東京都	0.2	0.7	2.7	9.0	12.6	0.1	0.3
神奈川県	0.4	1.3	3.4	15.8	20.9	0.1	0.6
新潟	1.7	3.5	8.3	21.5	35.0	0.7	1.7
富山	0.5	1.5	4.4	17.4	23.8	0.2	0.6
石川	0.7	1.7	4.2	11.8	18.4	0.3	0.7
福山	0.5	1.4	4.1	14.2	20.2	0.2	0.6
山梨	0.5	1.1	3.6	18.2	23.4	0.2	0.5
長野	1.6	3.6	11.3	43.4	59.9	0.6	1.5
岐阜	1.1	3.0	9.1	28.4	41.6	0.4	1.4
静岡県	1.2	2.8	9.5	38.2	51.7	0.5	1.2
愛知県	1.4	3.6	10.4	45.0	60.4	0.5	1.6
三重	0.9	2.7	6.8	24.3	34.7	0.4	1.2
滋賀	0.8	1.8	5.7	14.4	22.7	0.3	0.8
京都	0.6	1.4	4.9	19.2	26.1	0.2	0.6
大阪	0.6	1.4	3.4	11.2	16.6	0.2	0.7
兵庫県	1.5	4.1	11.9	39.3	56.8	0.6	1.8
奈良	0.5	1.3	2.9	9.4	14.1	0.2	0.6
和歌山	0.5	1.5	4.4	14.3	20.7	0.2	0.7
鳥取	0.5	1.2	3.6	16.2	21.5	0.2	0.5
島根	0.7	2.0	5.9	22.2	30.8	0.3	0.9
岡山	1.0	3.2	10.0	43.9	58.1	0.3	1.4
広島	0.9	3.1	10.4	50.3	64.7	0.3	1.3
山口	0.7	2.1	6.9	35.1	44.8	0.3	0.9
徳島	0.5	1.3	4.4	21.0	27.2	0.2	0.6
香川	0.5	1.6	5.3	20.2	27.6	0.2	0.6
愛媛	0.8	2.3	7.1	30.4	40.6	0.3	1.0
高知	0.5	1.5	4.6	21.2	27.8	0.2	0.7
福岡	1.1	2.9	8.4	32.2	44.6	0.4	1.3
佐賀	0.6	1.4	4.0	11.0	17.0	0.2	0.5
長崎	0.6	1.9	5.9	21.1	29.5	0.3	0.8
熊本	1.1	2.7	7.8	27.8	39.4	0.4	1.2
大分	0.8	2.1	7.4	26.0	36.3	0.3	1.0
宮崎	0.7	1.3	5.4	20.8	28.2	0.3	0.5
鹿児島	1.2	3.4	12.8	62.2	79.6	0.5	1.3
全 国	38.5	101.9	299.4	1,110.8	1,550.6	14.9	45.3

(換算)の60歳以上(昭45)

(単位:千人)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・レーパー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
5.5	17.8	25.3	0.9	2.0	3.9	6.8	13.6
3.0	8.8	13.3	0.7	1.2	2.4	4.9	9.3
5.4	11.4	18.4	0.9	1.6	3.7	5.9	12.1
3.8	6.4	12.2	0.8	1.0	1.2	1.1	4.0
3.3	6.5	11.6	0.8	1.0	1.4	1.8	4.9
3.6	7.6	12.9	0.7	1.0	1.5	1.4	4.7
5.1	15.8	23.0	1.1	1.9	4.0	7.5	14.4
5.1	18.6	26.3	1.2	2.3	5.0	10.3	18.7
4.3	11.3	17.1	0.8	1.4	3.1	4.8	10.1
3.9	19.3	24.6	0.8	1.5	3.7	7.0	13.0
4.4	20.3	26.4	0.9	1.7	3.9	7.9	14.4
5.7	13.1	21.2	0.9	2.3	4.8	7.6	15.7
1.3	6.0	7.9	0.2	0.4	0.7	1.2	2.5
2.1	10.9	13.8	0.4	0.8	1.9	3.2	6.3
7.5	13.1	23.4	1.6	2.4	4.0	3.9	11.9
3.0	7.9	12.1	0.5	1.3	3.1	4.3	9.2
3.3	5.5	10.0	0.6	1.2	2.4	3.3	7.5
2.2	6.9	10.2	0.4	1.0	2.4	5.1	8.9
2.4	11.9	15.3	0.6	1.0	2.1	4.5	8.2
6.7	30.9	40.4	1.6	2.7	6.3	13.4	24.0
5.3	15.8	23.6	1.0	2.0	4.1	6.7	13.9
5.2	24.3	31.7	1.0	2.1	5.3	12.9	21.3
6.0	22.5	31.3	1.3	2.5	5.6	12.1	21.5
4.2	11.4	17.8	0.9	1.7	3.4	5.3	11.2
3.1	6.2	10.9	0.7	1.4	2.3	2.4	6.8
2.6	10.7	14.5	0.5	1.0	2.4	5.5	9.5
2.2	6.3	9.9	0.5	0.7	0.9	1.0	3.0
8.1	14.7	26.7	1.6	3.1	5.6	6.0	16.3
2.0	6.3	9.4	0.5	0.7	1.1	1.4	3.6
2.4	8.3	11.9	0.5	1.0	1.9	3.1	6.5
1.9	8.2	10.9	0.4	0.8	2.3	6.7	10.2
3.7	10.9	16.0	0.6	1.4	3.1	6.4	11.5
6.4	23.3	32.3	1.2	2.4	5.6	13.0	22.2
5.9	22.7	31.1	0.9	2.2	6.2	18.3	27.6
4.0	15.6	21.2	0.6	1.6	4.5	11.5	18.3
2.5	9.7	13.4	0.5	1.0	2.4	7.2	11.1
2.8	10.6	14.6	0.5	1.2	2.7	6.6	11.0
4.3	16.8	22.8	0.8	1.6	3.8	7.8	13.9
2.4	10.2	13.7	0.4	0.9	2.3	7.4	11.0
6.2	16.3	24.8	1.2	2.3	4.9	7.2	15.5
2.5	7.0	10.7	0.6	1.1	1.9	2.6	6.2
3.0	11.2	15.6	0.9	1.3	2.9	6.2	11.0
4.8	15.1	22.0	1.1	1.8	3.4	6.7	12.9
4.4	11.5	17.7	0.8	1.7	3.5	5.8	11.9
2.9	10.7	14.9	0.6	1.2	2.8	6.6	11.1
6.6	27.8	37.0	1.2	2.7	7.8	21.0	32.6
187.1	604.1	871.6	36.6	71.0	154.1	303.5	565.2

第18表 農 業 勞 働 力

	男		女		計	男	
	フリッジ・レーパー		補助者	専従者	計	フリッジ・レーパー	
	～29日	30～59				60～149	150～
北海道	1.6	3.3	9.4	24.7	38.9	0.7	1.4
青森	1.2	2.2	5.4	13.7	22.5	0.5	1.0
岩手	1.4	2.7	9.1	17.3	30.5	0.5	1.1
宮城	1.4	2.4	4.9	7.5	16.2	0.6	1.4
秋田	1.3	2.2	4.6	8.3	16.5	0.6	1.2
山形	1.3	2.2	5.1	9.0	17.6	0.5	1.2
福島	1.7	3.5	9.0	23.3	37.5	0.7	1.5
茨城	2.0	4.1	10.0	28.8	45.0	0.8	1.8
栃木	1.2	2.5	7.4	16.1	27.3	0.5	1.1
群馬	1.2	2.5	7.6	26.3	37.6	0.4	1.0
埼玉	1.4	3.0	8.2	28.2	40.8	0.5	1.3
千葉	1.5	4.0	10.5	20.7	36.8	0.6	1.7
東京	0.3	0.8	2.1	7.2	10.4	0.1	0.4
奈良	0.6	1.4	4.0	14.1	20.1	0.2	0.6
和歌山	2.5	4.3	11.6	17.0	35.3	0.9	1.9
新加	0.8	2.2	6.1	12.2	21.3	0.3	0.8
富山	0.9	2.0	5.7	8.9	17.6	0.3	0.8
石川	0.7	1.7	4.6	12.1	19.1	0.3	0.7
福井	0.8	1.7	4.5	16.4	23.4	0.3	0.7
山梨	2.5	4.6	13.0	44.3	64.3	0.8	1.9
長野	1.7	3.9	9.4	22.6	37.5	0.6	1.8
岐阜	1.6	3.6	10.5	37.2	53.0	0.6	1.6
静岡	2.1	4.5	11.6	34.6	52.8	0.8	2.0
愛知	1.4	3.3	7.6	16.7	29.0	0.6	1.6
三重	1.2	2.5	5.4	8.7	17.7	0.5	1.1
滋賀	0.9	1.9	5.0	16.3	24.0	0.3	0.9
京都	0.8	1.6	3.1	7.3	12.9	0.4	0.9
大阪	2.6	6.1	13.7	20.7	43.0	1.0	3.0
兵庫	0.8	1.5	3.1	7.6	13.0	0.3	0.8
奈良	0.8	1.9	4.3	11.3	18.3	0.3	0.9
和歌山	0.6	1.4	4.2	14.9	21.9	0.2	0.6
鳥取	1.0	2.6	6.8	17.2	27.6	0.4	1.1
岡山	1.8	4.2	12.1	36.4	54.9	0.7	1.8
広島	1.5	4.1	12.1	41.1	58.8	0.6	1.9
山口	1.0	2.8	8.6	27.1	39.6	0.4	1.2
徳島	0.8	1.8	5.0	16.9	24.4	0.3	0.8
香川	0.8	2.1	5.5	17.3	25.7	0.3	0.9
愛媛	1.2	2.9	8.1	24.6	36.8	0.4	1.3
高知	0.7	1.7	4.7	17.7	24.7	0.2	0.8
阿賀	1.8	3.9	11.1	23.6	40.3	0.6	1.6
佐賀	0.9	1.9	4.4	9.7	16.8	0.3	0.8
長崎	1.0	2.2	6.0	17.4	26.6	0.4	0.9
熊本	1.8	3.2	8.2	21.7	34.9	0.7	1.4
分岐	1.4	3.0	7.9	17.3	29.6	0.5	1.3
島	1.0	2.0	5.7	17.3	26.0	0.4	0.9
鹿兒	2.0	4.5	14.3	48.7	69.5	0.8	1.9
全 国	59.6	128.4	341.2	907.6	1,436.8	23.0	57.4

の 60 歳 以 上 比 率 (昭40)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・レーパー		補助者	専従者	計
60～149	150～		～29日	30～59	60～149	150～	
0.3496	0.1040	0.1240	0.2941	0.2321	0.1684	0.0410	0.0588
0.2185	0.1474	0.1312	0.2857	0.2381	0.1400	0.0466	0.0659
0.2394	0.0929	0.1611	0.3571	0.2955	0.1687	0.0575	0.0802
0.2571	0.1001	0.1248	0.3158	0.1852	0.0739	0.0200	0.0428
0.1844	0.0915	0.1193	0.2500	0.1731	0.0710	0.0282	0.0463
0.2696	0.1294	0.1186	0.2941	0.2222	0.1111	0.0219	0.0460
0.3007	0.1294	0.1525	0.3889	0.3269	0.2135	0.0440	0.0725
0.2975	0.1248	0.1441	0.3684	0.3276	0.2205	0.0627	0.0875
0.3458	0.1387	0.1624	0.4000	0.2619	0.2258	0.0612	0.0893
0.3241	0.1952	0.2070	0.3125	0.2955	0.1875	0.0740	0.1019
0.3171	0.1876	0.1978	0.3333	0.2745	0.2036	0.0710	0.0958
0.3072	0.1303	0.1526	0.4376	0.3392	0.2216	0.0623	0.0916
0.4146	0.2648	0.2779	0.2000	0.2353	0.1923	0.0782	0.1146
0.3269	0.2609	0.2595	0.2500	0.2414	0.1889	0.0930	0.1242
0.2319	0.1110	0.1324	0.3333	0.2571	0.1383	0.0361	0.0613
0.2316	0.2607	0.2401	0.2308	0.2571	0.1719	0.1161	0.1335
0.2273	0.2326	0.2229	0.2500	0.2632	0.1913	0.0899	0.1232
0.2794	0.3063	0.2822	0.2500	0.2759	0.2316	0.1291	0.1566
0.2813	0.2668	0.2606	0.2308	0.2069	0.1957	0.1098	0.1314
0.3211	0.2400	0.2422	0.2564	0.2877	0.1992	0.0835	0.1105
0.2656	0.3181	0.2894	0.2500	0.2286	0.1778	0.1186	0.1431
0.3475	0.2300	0.2401	0.2800	0.2667	0.2312	0.1055	0.1318
0.3121	0.2832	0.2746	0.2368	0.2469	0.2083	0.1291	0.1497
0.2815	0.2715	0.2654	0.2500	0.2419	0.1695	0.1187	0.1389
0.2981	0.2596	0.2558	0.3125	0.2439	0.1781	0.0851	0.1186
0.2911	0.3191	0.2976	0.2857	0.2500	0.2500	0.1529	0.1788
0.3200	0.2853	0.2700	0.1739	0.1795	0.1408	0.1189	0.1423
0.2913	0.3325	0.3014	0.1915	0.2150	0.1926	0.1437	0.1618
0.3077	0.2475	0.2482	0.2143	0.2121	0.1268	0.0909	0.1162
0.3467	0.2618	0.2668	0.2000	0.2353	0.1856	0.1232	0.1455
0.3036	0.2592	0.2566	0.3000	0.3333	0.2500	0.1394	0.1626
0.2778	0.2796	0.2751	0.3333	0.3235	0.2214	0.1166	0.1444
0.2800	0.3012	0.2869	0.2593	0.2647	0.2383	0.1445	0.1671
0.2881	0.3677	0.3293	0.2308	0.2769	0.2524	0.1919	0.2053
0.2833	0.3708	0.3356	0.2500	0.2857	0.2431	0.1866	0.2000
0.2706	0.2600	0.2549	0.2727	0.2593	0.2360	0.1417	0.1594
0.2842	0.2786	0.2662	0.2308	0.2857	0.2080	0.1285	0.1511
0.2836	0.2763	0.2699	0.2632	0.2364	0.1908	0.1275	0.1474
0.2706	0.2684	0.2653	0.3333	0.2667	0.2395	0.1670	0.1843
0.2795	0.2486	0.2443	0.2121	0.2388	0.1749	0.1005	0.1222
0.3014	0.1712	0.1872	0.3077	0.3000	0.1698	0.0543	0.0887
0.3030	0.1962	0.2099	0.3000	0.2895	0.2132	0.1003	0.1258
0.3169	0.1641	0.1829	0.3889	0.2778	0.1964	0.0638	0.0891
0.2946	0.2405	0.2443	0.2941	0.2619	0.2143	0.1123	0.1368
0.2929	0.1890	0.1998	0.3077	0.2759	0.2273	0.0909	0.1141
0.2929	0.2702	0.2665	0.2800	0.3088	0.2778	0.1533	0.1746
0.2880	0.2065	0.2149	0.2760	0.2595	0.1944	0.0916	0.1163

第19表 農 業 勞 働 力 (換 算)

	男 女 計					男	
	フリッジ・レーバー		補助者	専従者	計	フリッジ・レーバー	
	～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
北海道	0.2368	0.2596	0.2382	0.0714	0.0899	0.1906	0.2917
青森	0.1944	0.1915	0.1747	0.0769	0.0945	0.1364	0.1538
岩手	0.2162	0.2400	0.2013	0.0956	0.1155	0.1364	0.1964
宮城	0.2439	0.2264	0.1551	0.0577	0.0842	0.1818	0.2692
秋田	0.2045	0.1905	0.1226	0.0635	0.0819	0.1667	0.2075
山形	0.2286	0.2414	0.1840	0.0572	0.0824	0.1667	0.2683
福島	0.2857	0.2909	0.2538	0.0832	0.1095	0.2174	0.2632
茨城	0.2857	0.2797	0.2550	0.0921	0.1142	0.2083	0.2373
栃木	0.2903	0.2564	0.2814	0.0989	0.1247	0.1765	0.2500
群馬	0.2121	0.2683	0.2425	0.1382	0.1559	0.1176	0.2368
埼玉	0.2308	0.2277	0.2517	0.1287	0.1456	0.1429	0.1800
千葉	0.3143	0.3010	0.2594	0.0940	0.1199	0.2106	0.2553
東京	0.2000	0.2111	0.2903	0.1935	0.2093	0.1667	0.2000
奈良	0.1600	0.2203	0.2394	0.1911	0.1987	0.0769	0.2000
神奈川	0.2537	0.2465	0.1800	0.0707	0.0943	0.1892	0.2361
新潟	0.1515	0.1923	0.1973	0.1737	0.1780	0.1000	0.1364
富山	0.1892	0.2208	0.2069	0.1497	0.1665	0.1429	0.1750
石川	0.1724	0.2188	0.2515	0.1997	0.2091	0.1176	0.1714
福井	0.1786	0.1864	0.2293	0.1951	0.1988	0.1333	0.1667
山梨	0.1798	0.2250	0.2506	0.1541	0.1704	0.1200	0.1724
長野	0.1803	0.2055	0.2182	0.2150	0.2138	0.1212	0.1818
岐阜	0.2143	0.2414	0.2786	0.1656	0.1833	0.1613	0.2143
静岡	0.1591	0.2209	0.2518	0.1989	0.2064	0.1000	0.1951
愛知	0.1957	0.2288	0.2179	0.1893	0.1972	0.1600	0.2105
三重	0.2105	0.2118	0.2280	0.1611	0.1793	0.1364	0.1818
滋賀	0.1935	0.2000	0.2678	0.2333	0.2358	0.1111	0.1622
京都	0.1250	0.1728	0.2329	0.2353	0.2210	0.0833	0.1667
大阪	0.1471	0.1962	0.2380	0.2363	0.2295	0.1091	0.1765
兵庫	0.1724	0.2000	0.2132	0.1836	0.1900	0.1333	0.1818
奈良	0.1613	0.2206	0.2558	0.1956	0.2068	0.1250	0.2059
和歌山	0.2174	0.2500	0.2727	0.1890	0.2026	0.1429	0.1852
鳥取	0.2500	0.2778	0.2469	0.1877	0.2025	0.1875	0.2368
島根	0.1667	0.2336	0.2571	0.2178	0.2233	0.0909	0.2000
岡山	0.1475	0.2109	0.2687	0.2632	0.2582	0.0857	0.1585
広島	0.1892	0.2234	0.2614	0.2608	0.2573	0.1429	0.1731
徳島	0.2083	0.2167	0.2529	0.1939	0.2028	0.1538	0.1818
香川	0.1613	0.2133	0.2409	0.1959	0.2034	0.1176	0.1500
愛媛	0.2000	0.2150	0.2313	0.2081	0.2081	0.1429	0.1923
高知	0.2500	0.2500	0.2541	0.2146	0.2226	0.1818	0.2333
福岡	0.1549	0.2117	0.2188	0.1684	0.1780	0.1053	0.1857
佐賀	0.2222	0.2414	0.2247	0.1106	0.1351	0.1429	0.1852
長崎	0.2500	0.2468	0.2511	0.1449	0.1646	0.2143	0.2051
熊本	0.2821	0.2621	0.2516	0.1108	0.1331	0.1905	0.2400
大分	0.2051	0.2333	0.2492	0.1692	0.1850	0.1429	0.2083
宮崎	0.2414	0.2097	0.2584	0.1351	0.1533	0.1875	0.1515
鹿児島	0.2143	0.2411	0.2844	0.2027	0.2143	0.1613	0.1757
全 国	0.2018	0.2292	0.2356	0.1455	0.1625	0.1415	0.2000

の 60 歳 以 上 比 率 (昭45)

子			女		子		
補助者	専従者	計	フリッジ・レーバー		補助者	専従者	計
60~149	150~		~29日	30~59	60~149	150~	
0.4331	0.1185	0.1492	0.3103	0.3175	0.2167	0.0462	0.0781
0.2098	0.1362	0.1511	0.2917	0.2264	0.1319	0.0581	0.0843
0.2919	0.1662	0.1901	0.3214	0.3019	0.1770	0.0641	0.1000
0.2346	0.0976	0.1345	0.2857	0.1724	0.0670	0.0186	0.0467
0.1919	0.1074	0.1327	0.2759	0.1667	0.0734	0.0281	0.0533
0.2687	0.0983	0.1318	0.2800	0.2128	0.0980	0.0206	0.0519
0.3000	0.1380	0.1623	0.3793	0.3220	0.2186	0.0567	0.0904
0.2881	0.1371	0.1599	0.3750	0.3382	0.2262	0.0690	0.1030
0.3282	0.1427	0.1720	0.3333	0.3111	0.2081	0.0600	0.0993
0.3421	0.2213	0.2310	0.2506	0.3333	0.2387	0.0906	0.1294
0.3143	0.2095	0.2189	0.2813	0.2982	0.2131	0.0816	0.1161
0.3032	0.1330	0.1668	0.3600	0.3108	0.1951	0.0712	0.1113
0.4063	0.2956	0.3074	0.3333	0.2667	0.1750	0.1071	0.1445
0.3559	0.2946	0.2887	0.2500	0.2857	0.2262	0.1236	0.1624
0.2622	0.1277	0.1610	0.3478	0.2727	0.1208	0.0351	0.0755
0.2752	0.3086	0.2689	0.2273	0.2600	0.1879	0.1215	0.1557
0.2973	0.2709	0.2577	0.2609	0.2553	0.1778	0.1209	0.1566
0.2973	0.3651	0.3148	0.2222	0.2778	0.2308	0.1789	0.2009
0.4138	0.3043	0.3000	0.2727	0.2941	0.2471	0.1324	0.1701
0.3454	0.3006	0.2884	0.2388	0.3000	0.2395	0.1072	0.1437
0.3136	0.3901	0.3296	0.2128	0.2299	0.2010	0.1533	0.1791
0.3939	0.2673	0.2749	0.2632	0.3088	0.2690	0.1355	0.1696
0.3571	0.3070	0.2942	0.2241	0.2632	0.2276	0.1422	0.1721
0.3000	0.3048	0.2857	0.2727	0.2297	0.1858	0.1268	0.1580
0.2897	0.2756	0.2595	0.2593	0.2545	0.1503	0.0860	0.1320
0.3662	0.3808	0.3477	0.2174	0.2632	0.2553	0.2045	0.2241
0.3667	0.3150	0.2982	0.1923	0.2059	0.1698	0.1315	0.1596
0.3682	0.3182	0.3198	0.2192	0.2422	0.2129	0.1316	0.1924
0.3333	0.2902	0.2831	0.2632	0.2188	0.1746	0.1567	0.1423
0.3692	0.2739	0.2813	0.2632	0.2703	0.2088	0.1188	0.1593
0.3220	0.3083	0.2899	0.2353	0.2857	0.2987	0.1772	0.2040
0.3190	0.2839	0.2832	0.3529	0.3333	0.2331	0.1293	0.1674
0.3386	0.3698	0.3382	0.2553	0.2824	0.2545	0.1796	0.2063
0.3450	0.4399	0.3783	0.2250	0.2857	0.2952	0.2355	0.2502
0.3448	0.4216	0.3668	0.2308	0.3019	0.2744	0.2057	0.2282
0.2976	0.2896	0.2803	0.2778	0.2941	0.2553	0.1618	0.1878
0.2947	0.3344	0.3004	0.2174	0.2609	0.2308	0.1658	0.1880
0.3258	0.2989	0.2927	0.2667	0.2712	0.2249	0.1491	0.1780
0.3158	0.2857	0.2872	0.3333	0.3000	0.2674	0.1841	0.2072
0.3407	0.2527	0.2567	0.2308	0.2614	0.1968	0.1068	0.1458
0.2907	0.1852	0.2058	0.2727	0.3056	0.1712	0.0675	0.1117
0.3000	0.2129	0.2267	0.5294	0.3171	0.2283	0.1051	0.1421
0.3243	0.1524	0.1790	0.3333	0.3000	0.1977	0.0639	0.0982
0.3235	0.2457	0.2562	0.2759	0.2833	0.1902	0.1094	0.1482
0.2871	0.1880	0.2041	0.3000	0.3333	0.2414	0.0998	0.1333
0.3188	0.2890	0.2855	0.3000	0.3333	0.2868	0.1661	0.1967
0.3141	0.2238	0.2349	0.2691	0.2758	0.2059	0.1030	0.1382

第20表 農 業 勞 働 力 (換 算)

	男		女		計	男	
	フリッジ・レーバー		補助者	専従者	計	フリッジ・レーバー	
	～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59
北海道	0.2909	0.3204	0.3062	0.0831	0.1131	0.2593	0.3415
青森	0.2143	0.1964	0.1662	0.0919	0.1134	0.1563	0.1695
岩手	0.2222	0.2348	0.2310	0.1077	0.1400	0.1389	0.1777
宮城	0.2373	0.2069	0.1437	0.0601	0.0919	0.1935	0.2414
秋山	0.2063	0.1789	0.1271	0.0666	0.0920	0.1765	0.1875
山形	0.2500	0.2391	0.1777	0.0616	0.0935	0.1852	0.2667
福島	0.2615	0.2800	0.2557	0.0944	0.1246	0.2000	0.2273
茨城	0.2817	0.2929	0.2513	0.1011	0.1306	0.2051	0.2500
栃木	0.2353	0.2778	0.2643	0.1012	0.1358	0.1852	0.2500
群馬	0.1875	0.2717	0.2836	0.1598	0.1816	0.1212	0.2128
埼玉	0.2000	0.2586	0.2539	0.1456	0.1668	0.1316	0.2203
千葉	0.2679	0.2817	0.2419	0.1009	0.1372	0.1935	0.2500
東京	0.2308	0.2667	0.2917	0.2278	0.2419	0.1429	0.2667
神奈川	0.1765	0.2373	0.2797	0.2242	0.2321	0.1111	0.1935
新潟	0.2475	0.2471	0.1880	0.0796	0.1165	0.1636	0.2209
富山	0.1569	0.2115	0.2218	0.2000	0.2046	0.1000	0.1481
石川	0.1837	0.2105	0.2317	0.1866	0.2032	0.1154	0.1667
福井	0.1750	0.2267	0.2599	0.2553	0.2490	0.1304	0.1795
山梨	0.1818	0.2329	0.3147	0.2244	0.2359	0.1364	0.1842
長野	0.1786	0.2347	0.2851	0.1945	0.2094	0.1096	0.1792
岐阜	0.1717	0.2191	0.2520	0.2684	0.2515	0.1154	0.2000
静岡	0.1883	0.2707	0.3191	0.1999	0.2201	0.1277	0.2462
愛知	0.1615	0.2432	0.2802	0.2184	0.2282	0.1111	0.2198
三重	0.1918	0.2308	0.2353	0.2109	0.2179	0.1538	0.2319
滋賀	0.1967	0.2315	0.2077	0.1726	0.1893	0.1471	0.2037
京都	0.1875	0.2436	0.3012	0.2964	0.2854	0.1200	0.2250
大阪	0.1481	0.2051	0.2743	0.2655	0.2481	0.1429	0.2045
兵庫	0.1745	0.2402	0.2831	0.2604	0.2556	0.1316	0.2381
奈良	0.2051	0.2206	0.2520	0.2135	0.2222	0.1500	0.2222
和歌山	0.2105	0.2639	0.2739	0.2004	0.2202	0.1579	0.2571
鳥取	0.1667	0.2373	0.3088	0.2314	0.2500	0.1000	0.1875
島根	0.2632	0.3023	0.2731	0.1957	0.2204	0.1905	0.2500
岡山	0.1875	0.2456	0.2958	0.2688	0.2703	0.1429	0.2069
広島	0.1744	0.2470	0.3176	0.3179	0.3055	0.1304	0.2135
山口	0.1786	0.2456	0.3071	0.2917	0.2870	0.1333	0.1967
徳島	0.2105	0.2432	0.2809	0.2167	0.2280	0.1500	0.2051
香川	0.1667	0.2234	0.2582	0.2416	0.2400	0.1200	0.1837
愛媛	0.2069	0.2500	0.2691	0.2267	0.2359	0.1429	0.2241
高知	0.2692	0.2787	0.2883	0.2332	0.2450	0.1538	0.2581
福岡	0.1714	0.2241	0.2575	0.1789	0.1986	0.1132	0.1860
佐賀	0.2093	0.2676	0.2234	0.1271	0.1564	0.1429	0.2286
長崎	0.2703	0.2683	0.2643	0.1559	0.1819	0.2000	0.2143
熊本	0.2769	0.2689	0.2571	0.1064	0.1372	0.2188	0.2373
大分	0.2414	0.2564	0.2476	0.1732	0.1983	0.1667	0.2281
宮崎	0.2439	0.2667	0.2627	0.1408	0.1665	0.1905	0.2308
鹿児島	0.2410	0.2727	0.2985	0.2188	0.2354	0.1860	0.2262
全 国	0.2063	0.2462	0.2539	0.1607	0.1842	0.1504	0.2173

第21表 農業労働力(換算)における女性比率

地 域	フ リ ソ ン ジ ・ レ ー バ ー		補 助 者	専 従 者	計	フ リ ソ ン ジ ・ レ ー バ ー		補 助 者	専 従 者	計
	～29日	30～59	60～149	150～		～29日	30～59	60～149	150～	
昭 和 40 年	北海道	0.4474	0.5385	0.6144	0.5167	0.5239	0.5000	0.6129	0.5657	0.4949
	東北	0.4402	0.4833	0.5460	0.5324	0.5306	0.4463	0.4917	0.5184	0.5153
	関東	0.4658	0.5159	0.5657	0.5076	0.5130	0.4272	0.4946	0.5621	0.5066
	中部	0.4714	0.5258	0.5773	0.4938	0.5045	0.4507	0.4898	0.5424	0.5018
	近畿	0.4277	0.4751	0.5629	0.5633	0.5557	0.4250	0.5106	0.5670	0.5526
昭 和 45 年	北海道	0.4530	0.4682	0.5822	0.5263	0.5288	0.4634	0.4688	0.5644	0.5426
	東北	0.4440	0.5000	0.5671	0.5306	0.5324	0.4190	0.5270	0.5810	0.5332
	関東	0.4440	0.4948	0.5483	0.4865	0.4979	0.4565	0.5217	0.5481	0.5366
	中部	0.4118	0.4563	0.5595	0.5737	0.5631	0.4242	0.5000	0.5541	0.5010
	近畿	0.4304	0.4630	0.5462	0.5715	0.5583	0.4455	0.4816	0.5617	0.5882
昭 和 46 年	北海道	0.4609	0.4868	0.5476	0.5301	0.5292	0.4558	0.5015	0.5453	0.5607
	東北	0.4573	0.4968	0.5698	0.5371	0.5382	0.4488	0.4837	0.5585	0.5377
	関東	0.4524	0.4729	0.5493	0.5677	0.5603	0.4471	0.4676	0.5260	0.5303
	中部	0.4481	0.4906	0.5599	0.5313	0.5315	0.4429	0.5012	0.5521	0.5661
	近畿									
昭 和 47 年	北海道	0.5273	0.6117	0.5863	0.4950	0.5067	0.5278	0.6067	0.6115	0.4884
	東北	0.4553	0.4832	0.5318	0.5255	0.5222	0.4483	0.5219	0.5241	0.5096
	関東	0.4667	0.4932	0.5598	0.5027	0.5084	0.4327	0.4959	0.5732	0.5103
	中部	0.5065	0.5065	0.5701	0.4800	0.4956	0.4267	0.5000	0.5444	0.5020
	近畿	0.4504	0.4933	0.5589	0.5472	0.5417	0.4387	0.5116	0.5825	0.5030
昭 和 48 年	北海道	0.4837	0.4610	0.5800	0.5287	0.5298	0.4871	0.5161	0.5792	0.5550
	東北	0.4574	0.5070	0.5768	0.5235	0.5287	0.4198	0.5425	0.6130	0.5247
	関東	0.4807	0.4909	0.5515	0.4622	0.4885	0.4579	0.5172	0.5489	0.5399
	中部	0.4795	0.4995	0.5455	0.5732	0.4885	0.4579	0.5000	0.5856	0.4874
	近畿	0.4748	0.4745	0.5546	0.5762	0.5388	0.4623	0.5000	0.5809	0.5685
昭 和 49 年	北海道	0.4882	0.4899	0.5468	0.5296	0.5388	0.4607	0.5102	0.5551	0.5792
	東北	0.4919	0.5062	0.5646	0.5178	0.5241	0.4435	0.5064	0.5623	0.5425
	関東	0.4839	0.4875	0.5575	0.5320	0.5514	0.4487	0.4715	0.5428	0.5272
	中部	0.4708	0.4935	0.5569	0.5220	0.5242	0.4448	0.5135	0.5668	0.5715
	近畿									
昭 和 50 年	北海道	0.5273	0.6117	0.5863	0.4950	0.5067	0.5278	0.6067	0.6115	0.4884
	東北	0.4553	0.4832	0.5318	0.5255	0.5222	0.4483	0.5219	0.5241	0.5096
	関東	0.4667	0.4932	0.5598	0.5027	0.5084	0.4327	0.4959	0.5732	0.5103
	中部	0.5065	0.5065	0.5701	0.4800	0.4956	0.4267	0.5000	0.5444	0.5020
	近畿	0.4504	0.4933	0.5589	0.5472	0.5417	0.4387	0.5116	0.5825	0.5030
昭 和 51 年	北海道	0.4837	0.4610	0.5800	0.5287	0.5298	0.4871	0.5161	0.5792	0.5550
	東北	0.4574	0.5070	0.5768	0.5235	0.5287	0.4198	0.5425	0.6130	0.5247
	関東	0.4807	0.4909	0.5515	0.4622	0.4885	0.4579	0.5172	0.5489	0.5399
	中部	0.4795	0.4995	0.5455	0.5732	0.4885	0.4579	0.5000	0.5856	0.4874
	近畿	0.4748	0.4745	0.5546	0.5762	0.5388	0.4623	0.5000	0.5809	0.5685
昭 和 52 年	北海道	0.4882	0.4899	0.5468	0.5296	0.5388	0.4607	0.5102	0.5551	0.5792
	東北	0.4919	0.5062	0.5646	0.5178	0.5241	0.4435	0.5064	0.5623	0.5425
	関東	0.4839	0.4875	0.5575	0.5320	0.5514	0.4487	0.4715	0.5428	0.5272
	中部	0.4708	0.4935	0.5569	0.5220	0.5242	0.4448	0.5135	0.5668	0.5715
	近畿									
昭 和 53 年	北海道	0.5273	0.6117	0.5863	0.4950	0.5067	0.5278	0.6067	0.6115	0.4884
	東北	0.4553	0.4832	0.5318	0.5255	0.5222	0.4483	0.5219	0.5241	0.5096
	関東	0.4667	0.4932	0.5598	0.5027	0.5084	0.4327	0.4959	0.5732	0.5103
	中部	0.5065	0.5065	0.5701	0.4800	0.4956	0.4267	0.5000	0.5444	0.5020
	近畿	0.4504	0.4933	0.5589	0.5472	0.5417	0.4387	0.5116	0.5825	0.5030
昭 和 54 年	北海道	0.4837	0.4610	0.5800	0.5287	0.5298	0.4871	0.5161	0.5792	0.5550
	東北	0.4574	0.5070	0.5768	0.5235	0.5287	0.4198	0.5425	0.6130	0.5247
	関東	0.4807	0.4909	0.5515	0.4622	0.4885	0.4579	0.5172	0.5489	0.5399
	中部	0.4795	0.4995	0.5455	0.5732	0.4885	0.4579	0.5000	0.5856	0.4874
	近畿	0.4748	0.4745	0.5546	0.5762	0.5388	0.4623	0.5000	0.5809	0.5685
昭 和 55 年	北海道	0.4882	0.4899	0.5468	0.5296	0.5388	0.4607	0.5102	0.5551	0.5792
	東北	0.4919	0.5062	0.5646	0.5178	0.5241	0.4435	0.5064	0.5623	0.5425
	関東	0.4839	0.4875	0.5575	0.5320	0.5514	0.4487	0.4715	0.5428	0.5272
	中部	0.4708	0.4935	0.5569	0.5220	0.5242	0.4448	0.5135	0.5668	0.5715
	近畿									
昭 和 56 年	北海道	0.5273	0.6117	0.5863	0.4950	0.5067	0.5278	0.6067	0.6115	0.4884
	東北	0.4553	0.4832	0.5318	0.5255	0.5222	0.4483	0.5219	0.5241	0.5096
	関東	0.4667	0.4932	0.5598	0.5027	0.5084	0.4327	0.4959	0.5732	0.5103
	中部	0.5065	0.5065	0.5701	0.4800	0.4956	0.4267	0.5000	0.5444	0.5020
	近畿	0.4504	0.4933	0.5589	0.5472	0.5417	0.4387	0.5116	0.5825	0.5030
昭 和 57 年	北海道	0.4837	0.4610	0.5800	0.5287	0.5298	0.4871	0.5161	0.5792	0.5550
	東北	0.4574	0.5070	0.5768	0.5235	0.5287	0.4198	0.5425	0.6130	0.5247
	関東	0.4807	0.4909	0.5515	0.4622	0.4885	0.4579	0.5172	0.5489	0.5399
	中部	0.4795	0.4995	0.5455	0.5732	0.4885	0.4579	0.5000	0.5856	0.4874
	近畿	0.4748	0.4745	0.5546	0.5762	0.5388	0.4623	0.5000	0.5809	0.5685
昭 和 58 年	北海道	0.4882	0.4899	0.5468	0.5296	0.5388	0.4607	0.5102	0.5551	0.5792
	東北	0.4919	0.5062	0.5646	0.5178	0.5241	0.4435	0.5064	0.5623	0.5425
	関東	0.4839	0.4875	0.5575	0.5320	0.5514	0.4487	0.4715	0.5428	0.5272
	中部	0.4708	0.4935	0.5569	0.5220	0.5242	0.4448	0.5135	0.5668	0.5715
	近畿									
昭 和 59 年	北海道	0.5273	0.6117	0.5863	0.4950	0.5067	0.5278	0.6067	0.6115	0.4884
	東北	0.4553	0.4832	0.5318	0.5255	0.5222	0.4483	0.5219	0.5241	0.5096
	関東	0.4667	0.4932	0.5598	0.5027	0.5084	0.4327	0.4959	0.5732	0.5103
	中部	0.5065	0.5065	0.5701	0.4800	0.4956	0.4267	0.5000	0.5444	0.5020
	近畿	0.4504	0.4933	0.5589	0.5472	0.5417	0.4387	0.5116	0.5825	0.5030
昭 和 60 年	北海道	0.4837	0.4610	0.5800	0.5287	0.5298	0.4871	0.5161	0.5792	0.5550
	東北	0.4574	0.5070	0.5768	0.5235	0.5287	0.4198	0.5425	0.6130	0.5247
	関東	0.4807	0.4909	0.5515	0.4622	0.4885	0.4579	0.5172	0.5489	0.5399
	中部	0.4795	0.4995	0.5455	0.5732	0.4885	0.4579	0.5000	0.5856	0.4874
	近畿	0.4748	0.4745	0.5546	0.5762	0.5388	0.4623	0.5000	0.5809	0.5685
昭 和 61 年	北海道	0.4882	0.4899	0.5468	0.5296	0.5388	0.4607	0.5102	0.5551	0.5792
	東北	0.4919	0.5062	0.5646	0.5178	0.5241	0.4435	0.5064	0.5623	0.5425
	関東	0.4839	0.4875	0.5575	0.5320	0.5514	0.4487	0.4715	0.5428	0.5272
	中部	0.4708	0.4935	0.5569	0.5220	0.5242	0.4448	0.5135	0.5668	0.5715
	近畿									
昭 和 62 年	北海道	0.5273	0.6117	0.5863	0.4950	0.5067	0.5278	0.6067	0.6115	0.4884
	東北	0.4553	0.4832	0.5318	0.5255	0.5222	0.4483	0.5219	0.5241	0.5096
	関東	0.4667	0.4932	0.5598	0.5027	0.5084	0.4327	0.4959	0.5732	0.5103
	中部	0.5065	0.5065	0.5701	0.4800	0.4956	0.4267	0.5000	0.5444	0.5020
	近畿	0.4504	0.4933	0.5589	0.5472	0.5417	0.4387	0.5116	0.5825	0.5030
昭 和 63 年	北海道	0.4837	0.4610	0.5800	0.5287	0.5298	0.4871	0.5161	0.5792	0.5550
	東北	0.4574	0.5070	0.5768	0.5235	0.5287	0.4198	0.5425	0.6130	0.5247
	関東	0.4807	0.4909	0.5515	0.4622	0.4885	0.4579	0.5172	0.5489	0.5399
	中部	0.4795	0.4995	0.5455	0.5732	0.4885	0.4579	0.5000	0.5856	0.4874
	近畿	0.4748	0.4745	0.5546	0.5762	0.5388	0.4623	0.5000	0.5809	0.5685
昭 和 64 年	北海道	0.4882	0.4899	0.5468	0.5296	0.5388	0.4607	0.5102	0.5551	0.

値をとることは、農業生産に投入された労働力の特徴であり、農業の老齢化とともに女性化といわれるゆえんである。

以上は全国平均の値であるがさらにこれを地域別にみると、地域の性格によってその値にかなりの差異がでてゐる。相対的にこの値が大きいところは山陰、南九州、山陽などの地域であり、逆にこの値が相対的に小さいところは近畿、南関東の地域が目立っている。このような地域の特徴は農業労働力全体についてであるが、これを専従労働力に限ってみても全く同様である。しかしながら補助労働力については地域による差異が比較的小さく、ただ北海道における女性比率が相対的に大きいのが目立っている。最後にフリンジ・レーバーについてみると、南関東における値が大きく、近畿におけるそれは逆に小さいのが特徴的である。

昭和四〇年における女性比率の値およびその地域性の概略は上述のとおりであるが、その五年後の四五年（「七〇年農林業センサス」の結果）ならびに四六年、四七年（「農業調査」の結果）についても既出の表に示したように、おおむね同様の状況であるが地域の性格に多少の差異があらわれている。すなわち四五年、四六年、四七年を通じて農業労働力の全体および専従労働力における女性比率が相対的に大きい地域は、山陰、山陽ついで北陸、南九州の諸地域であり、これと反対にその値が

相対的に小さいところは、近畿ついで北海道、北関東、南関東である。次に補助労働力の女性比率では北海道と東海が相対的に大きく、東北ではその値が比較的小さい。またフリンジ・レーバーの女性比率では、北海道においてその値が大きいが目立っている。

最後に農業労働力における女性比率が時間の経過とともに、いかに変動してきたかをみることにする。この点を端的に示したのが第二表であり、昭和四〇年に対する四七年の指数で表したものである。これから明らかなように農業労働力を全国平均でみれば、この期間内に女性比率の上昇はみられず、むしろ減少の傾向といえる。とくに北海道、東北では女性比率の低下傾向が目立っているが、四国ではその逆にやや上昇を示している。一般に東日本地帯では低下傾向が、西日本地帯では上昇傾向がみられるのが地域の特徴である。

以上は労働力全体についての傾向であるが、これを就業状態別に区分してみるとフリンジ・レーバーのうち従事日数が三〇～五九日の労働力における女性比率の上昇がもっとも大きく、ついで補助労働力の女性比率がわずかに上昇し、専従労働力および従事日数が三〇日未満のフリンジ・レーバーの女性比率はわずかであるがむしろ低下してきている。女性比率のこのような変動は全国平均としての傾向であり、地域別にみると地域に

第22表 農業労働力（換算）における女性比率の変動（昭47/40）

地 域	フリンジ・レーパー		補 助 者	専 従 者	計
	～ 29 日	30 ～ 59	60 ～ 149	150 ～	
北海道	1.18	1.13	1.00	0.95	0.96
東北道	1.02	1.08	0.96	0.96	0.96
北関東	0.93	0.96	1.01	0.99	0.99
南関東	0.91	0.95	0.94	1.02	1.00
北陸道	1.03	1.08	1.03	0.99	0.99
東山陽	1.01	1.10	0.99	0.98	0.99
東海	0.95	1.09	1.08	1.00	1.01
近畿	0.99	1.05	1.00	1.00	1.01
山陰	1.01	1.09	1.04	0.99	1.00
山陽	1.07	1.08	1.06	1.01	1.01
四国	0.98	1.05	1.01	1.02	1.02
北九州	0.97	1.02	1.03	0.98	0.99
南九州	0.99	0.99	0.99	1.01	1.00
全国計	0.99	1.05	1.01	0.99	0.99

よって種々の差異があらわれている。

まず専従労働力の女性比率は北海道と東北において低下傾向が大きく、南関東と四国では逆に上昇傾向を示している。次に補助労働力の女性比率をみると、東海と山陽では上昇傾向が著しく、南関東と東北では逆に低下傾向が大きい。最後にフリンジ・レーパーの女性比率をみると、北海道のそれはこの期間内に著しい上昇傾向を示しているが、山陽、北陸、東北などの諸地域でも相対的に上昇の程度が大きい。これに対して南関東と北関東では逆にこの比率が著しく低下してきている点が特徴的である。

以上で農業労働力（専従者基準で換算）における女子労働力の比率がいかなる水準をとり、またその値が年次のいかなる変動を示してきたかについて、農業地域の立場からその特徴を概観してきた。既述のように本稿の目的は都道府県の立場から農業労働力（専従者基準で換算）を推定することであるから、この推定された農業労働力における女性比率も都道府県の立場から概観する必要がある。これを昭和四〇年、四五年、四六年、四七年について整理したのが第二三、二四表である。

この表から明らかなように女性比率の値には、地域によりまた年次によりそれぞれ差異がある。その詳細について論ずるのは繁雑になるので省略し、ここではそのなかでとくに目につく

点を簡単に述べることとする。まず女性比率の値が小さい地域をみると、年次による多少のブレはあるが、大阪の値が著しく小さく、ついで東京、奈良、神奈川が目立っている。これらの地域はいずれも大都市あるいはその近郊の地域であるが、このような地域における農業生産はその労働力を男子に依存していることがわかる。なお山形、宮城、群馬の三県も、相対的ではあるが女性比率の値が小さい。これに対してこの値が相対的に大きい地域をみると、石川、福井、富山、鳥取、広島、山口、鹿児島諸県である。これらの地域では農業生産のための労働力として、とくに専従労働力、補助労働力という主要労働力において女子に依存していることが多いことがわかる。

以上の各節において農業生産に投入された労働力を推計するのに、農業従事日数によるウェイトを考慮して求めてきた。さらに農業労働力のうち年齢労働力がいかなる水準にあるか、また女子労働力の割合がいかなる状態であるか、およびそれらの地域的性格の概要について述べてきた。そこで最後にこのように推計した農業労働力の水準が、他の統計の値とどの程度接近しているかをみることにする。比較すべき統計としては「労働力調査」(総理府統計局)の結果を採るが、この統計は毎年公表されているのみならず、産業別労働力としては一般性の高い統計

計として利用されているからである。

昭和四〇年から四七年にいたる値を全国計で整理すると、第二五表のように示すことができる。これから明らかのように専従者基準で換算した農業労働力は、四〇年で九五四万人、四五年で七八〇万人、四六年で七五四万人、四七年で六八二万人であり、いっぽう「労働力調査」による農業就業者はそれぞれ九九〇万人、八二三万人、七五〇万人、六八七万人である。この両者では把握時点が前者では期首、後者では年平均というように異なるが、両者の水準値はほぼ同じとみることができるとくに男子についてはきわめてよく一致している点は注目すべきであろう。

これに対して農林統計において利用されている農業労働力は、「農業センサス」または「農業調査」において公表されている農業就業人口であるが、この水準値は年次によって異なるがおおむね二〇〇〜二二〇万人位多く把握されている。しかもこの値のギャップは主として女子の値によるものである点は留意すべきである。かくして農業生産に投入された労働力を、専従者基準によって換算した値と考えると、この値はこれまで利用されてきた農業就業人口の二三%前後を割り引いた値と考えることになり、農業生産の労働生産性あるいは生産関数における労働の弾性値には変更を加える必要がでてこよう。

(換算)の女性比率

昭和45年				
～29日	30～59	60～149	150～	計
0.5273	0.6117	0.5863	0.4950	0.5067
0.4286	0.4732	0.5600	0.5664	0.5560
0.4444	0.4609	0.5305	0.5729	0.5553
0.4746	0.5000	0.5249	0.4739	0.4855
0.4603	0.4878	0.5249	0.5136	0.5125
0.4808	0.5109	0.5331	0.4680	0.4806
0.4462	0.4720	0.5199	0.5359	0.5294
0.4507	0.4857	0.5553	0.5239	0.5246
0.4706	0.5000	0.5321	0.5028	0.5057
0.4844	0.4891	0.5784	0.4696	0.4855
0.4571	0.4914	0.5666	0.4997	0.5070
0.4464	0.5211	0.5668	0.5202	0.5259
0.4615	0.5000	0.5556	0.3544	0.4023
0.4706	0.4746	0.5874	0.4118	0.4480
0.4554	0.5057	0.5365	0.5199	0.5205
0.4314	0.4808	0.6000	0.5803	0.5677
0.4694	0.4947	0.5487	0.5723	0.5531
0.4500	0.4800	0.5876	0.6013	0.5776
0.5000	0.4658	0.5944	0.4651	0.4859
0.4786	0.4592	0.5768	0.5487	0.5440
0.4747	0.4888	0.5469	0.5190	0.5205
0.4471	0.5113	0.5988	0.5116	0.5216
0.4462	0.5135	0.5942	0.5372	0.5398
0.4521	0.5175	0.5666	0.5278	0.5327
0.4426	0.5093	0.5885	0.5536	0.5508
0.4792	0.4872	0.5663	0.4891	0.5042
0.4815	0.4359	0.4690	0.2764	0.3615
0.4899	0.5039	0.5434	0.4818	0.5036
0.4872	0.4706	0.5122	0.3904	0.4325
0.5000	0.5139	0.5796	0.4628	0.4910
0.4722	0.4746	0.5662	0.5870	0.5708
0.4474	0.4884	0.5341	0.5631	0.5487
0.4896	0.4971	0.5379	0.5347	0.5298
0.4651	0.4639	0.5512	0.6009	0.5730
0.4643	0.4649	0.5857	0.6017	0.5812
0.4737	0.4595	0.5281	0.5705	0.5523
0.4792	0.4894	0.5493	0.5559	0.5462
0.5172	0.5086	0.5615	0.4821	0.5006
0.4615	0.4918	0.5276	0.5296	0.5268
0.4952	0.5057	0.5777	0.5110	0.5239
0.5116	0.5070	0.5635	0.5046	0.5168
0.4595	0.5000	0.5595	0.5287	0.5294
0.5077	0.5042	0.5392	0.5142	0.5167
0.5000	0.5128	0.5768	0.5305	0.5378
0.4878	0.4800	0.5346	0.5378	0.5333
0.4819	0.4909	0.5678	0.5678	0.5611
0.4708	0.4935	0.5569	0.5220	0.5242

第23表 農 業 勞 働 力

		昭和40年				
		～ 29 日	30 ～ 59	60 ～ 149	150 ～	計
北 海 道	道	0.4474	0.5385	0.6144	0.5167	0.5239
青 森 県	森	0.3889	0.4468	0.5576	0.5718	0.5624
岩 手 県	手	0.3784	0.4400	0.5390	0.5756	0.5634
宮 城 県	城	0.4634	0.5094	0.5570	0.4820	0.4948
秋 田 県	田	0.4545	0.4952	0.5452	0.5087	0.5126
山 形 県	形	0.4857	0.5172	0.5400	0.4918	0.4988
福 島 県	島	0.4286	0.4727	0.5378	0.5404	0.5370
茨 城 県	城	0.4524	0.4915	0.5524	0.5269	0.5275
栃 木 県	木	0.4839	0.5385	0.5368	0.5140	0.5162
群 馬 県	馬	0.4848	0.5366	0.5970	0.4700	0.4874
埼 玉 県	玉	0.4615	0.5050	0.5759	0.5050	0.5114
千 葉 県	葉	0.4571	0.5437	0.5591	0.5344	0.5364
東 京 都	京	0.5000	0.5151	0.5591	0.3849	0.4203
神 奈 川 県	奈	0.4800	0.4915	0.6338	0.4160	0.4515
新 潟 県	潟	0.4478	0.4930	0.5488	0.5380	0.5360
富 山 県	山	0.3939	0.4487	0.5740	0.6018	0.5826
石 川 県	川	0.4324	0.4935	0.5665	0.5787	0.5656
福 山 県	山	0.4138	0.4531	0.5828	0.5992	0.5818
山 梨 県	梨	0.4643	0.4915	0.5860	0.4587	0.4783
長 岐 県	岐	0.4382	0.4563	0.5787	0.5487	0.5458
静 岡 県	岡	0.4590	0.4795	0.5396	0.5170	0.5170
愛 知 県	知	0.4464	0.5172	0.5836	0.5176	0.5245
三 重 県	重	0.4318	0.4969	0.5811	0.5475	0.5458
滋 賀 県	賀	0.4348	0.5254	0.5673	0.5382	0.5398
京 都 府	都	0.4211	0.4824	0.5840	0.5649	0.5592
大 阪 府	府	0.4516	0.4571	0.5683	0.5164	0.5203
兵 庫 県	庫	0.4792	0.4815	0.4863	0.3004	0.3555
和 歌 山 県	歌	0.4608	0.5120	0.5400	0.5105	0.5143
奈 良 県	良	0.4828	0.5077	0.5221	0.4082	0.4407
和 歌 山 県	山	0.4839	0.5000	0.5640	0.4774	0.4945
鳥 取 県	取	0.4348	0.4375	0.5758	0.5858	0.5740
岡 山 県	山	0.4286	0.4722	0.5481	0.5655	0.5556
山 口 県	口	0.4500	0.4964	0.5501	0.5322	0.5311
徳 島 県	島	0.4262	0.4422	0.5426	0.5945	0.5734
香 川 県	川	0.4054	0.4468	0.5455	0.5973	0.5773
愛 媛 県	媛	0.4583	0.4500	0.5115	0.5605	0.5474
高 知 県	知	0.4194	0.4667	0.5682	0.5509	0.5461
福 岡 県	岡	0.4750	0.5140	0.5635	0.4923	0.5044
佐 賀 県	賀	0.4500	0.5000	0.5304	0.5334	0.5300
長 崎 県	崎	0.4648	0.4891	0.5807	0.5413	0.5421
大 分 県	分	0.4815	0.5172	0.5955	0.5186	0.5286
宮 崎 県	崎	0.4167	0.4935	0.5787	0.5343	0.5368
鹿 児 島 県	島	0.4615	0.5243	0.5419	0.5313	0.5309
全 国	国	0.4359	0.4667	0.5657	0.5563	0.5515
		0.4483	0.4677	0.5263	0.5500	0.5429
		0.4464	0.4823	0.5600	0.5763	0.5689
全 国	国	0.4481	0.4906	0.5599	0.5313	0.5315

(換算)の女性比率

昭和47年				
～ 29 日	30 ～ 59	60 ～ 149	150 ～	計
0.5278	0.6067	0.6115	0.4884	0.5048
0.4583	0.5464	0.5655	0.5254	0.5325
0.4130	0.4804	0.5415	0.5570	0.5488
0.4423	0.5041	0.5186	0.4720	0.4831
0.4462	0.5725	0.4942	0.4709	0.4895
0.5000	0.5319	0.5044	0.4407	0.4612
0.4483	0.4887	0.5300	0.5261	0.5232
0.4262	0.4702	0.5800	0.5178	0.5229
0.4444	0.5049	0.5426	0.5035	0.5074
0.4423	0.4796	0.5870	0.4820	0.4945
0.4200	0.5255	0.5781	0.4972	0.5092
0.4048	0.5089	0.5382	0.5425	0.5389
0.5714	0.5278	0.5342	0.3480	0.4029
0.4231	0.4655	0.5701	0.4400	0.4571
0.4444	0.5028	0.5322	0.5428	0.5351
0.4151	0.5294	0.6111	0.5751	0.5684
0.4600	0.5283	0.6376	0.5455	0.5690
0.4167	0.4886	0.6319	0.6094	0.5899
0.4586	0.5085	0.5385	0.5061	0.5084
0.4643	0.5182	0.5908	0.5225	0.5313
0.4330	0.5215	0.5913	0.5383	0.5411
0.4058	0.5656	0.6463	0.5091	0.5287
0.4124	0.5593	0.6199	0.5498	0.5546
0.4355	0.5324	0.5904	0.5167	0.5330
0.4118	0.5214	0.6162	0.5562	0.5616
0.4524	0.5000	0.5540	0.5208	0.5210
0.4681	0.4722	0.4412	0.3125	0.3774
0.4658	0.5427	0.5258	0.5075	0.5134
0.4722	0.5000	0.5405	0.4419	0.4717
0.5000	0.5294	0.5760	0.4881	0.5061
0.4286	0.5172	0.6136	0.5673	0.5665
0.4063	0.4896	0.5708	0.5694	0.5577
0.4713	0.5000	0.5249	0.5471	0.5339
0.4533	0.4830	0.6154	0.5961	0.5807
0.4314	0.5207	0.6142	0.6054	0.5908
0.4333	0.4930	0.5524	0.5808	0.5650
0.4444	0.5000	0.5778	0.5662	0.5553
0.4783	0.5138	0.5655	0.4982	0.5108
0.4545	0.5224	0.5190	0.5465	0.5384
0.4396	0.5244	0.6115	0.5174	0.5339
0.4615	0.4930	0.5862	0.5050	0.5170
0.4000	0.4889	0.5561	0.5429	0.5382
0.4667	0.5138	0.5564	0.5180	0.5209
0.4584	0.4956	0.5941	0.5571	0.5556
0.4783	0.4459	0.5000	0.5530	0.5405
0.4545	0.4826	0.5590	0.5840	0.5693
0.4448	0.5135	0.5668	0.5239	0.5279

第24表 農 業 勞 働 力

	昭 和 46 年				
	～ 29 日	30 ～ 59	60 ～ 149	150 ～	計
北海道	0.5000	0.6129	0.5657	0.4949	0.5039
北青森	0.4286	0.4808	0.5643	0.5512	0.5472
岩手	0.4423	0.4808	0.4890	0.5767	0.5563
宮城	0.4630	0.4870	0.5041	0.4638	0.4736
秋田	0.4706	0.5164	0.5203	0.4847	0.4940
山形	0.4565	0.5185	0.4891	0.4771	0.4798
福島	0.4355	0.4662	0.5394	0.5251	0.5222
茨城	0.4308	0.5000	0.5586	0.5171	0.5205
栃群	0.4186	0.5102	0.5451	0.4990	0.5043
埼馬	0.4643	0.4783	0.6007	0.4615	0.4815
埼玉	0.3878	0.4914	0.5488	0.5104	0.5117
東京	0.4390	0.5000	0.5215	0.5379	0.5331
奈川	0.5000	0.5161	0.5342	0.3684	0.4084
新	0.4348	0.4545	0.6147	0.4406	0.4631
富士	0.4375	0.4832	0.5216	0.5443	0.5338
石川	0.3846	0.5429	0.6014	0.5742	0.5667
福山	0.4423	0.5000	0.6009	0.5894	0.5739
山井	0.4146	0.5375	0.6129	0.6128	0.5925
長野	0.4706	0.4677	0.5714	0.4885	0.4980
岐阜	0.4615	0.4691	0.5644	0.5613	0.5513
静岡	0.4368	0.5057	0.5646	0.5390	0.5356
愛知	0.3934	0.5396	0.5803	0.5211	0.5257
三重	0.4158	0.5471	0.5938	0.5425	0.5459
滋賀	0.4154	0.5208	0.5836	0.5365	0.5411
京都	0.4182	0.5354	0.6109	0.5491	0.5604
大阪	0.4250	0.5185	0.5541	0.5160	0.5190
兵庫	0.4615	0.4789	0.4766	0.2867	0.3691
歌	0.4620	0.5538	0.5182	0.5265	0.5223
和歌	0.5000	0.4688	0.4956	0.4406	0.4563
鳥	0.4595	0.4933	0.5971	0.4747	0.4981
島	0.4000	0.4921	0.5833	0.5876	0.5726
岡	0.4054	0.5161	0.5462	0.5879	0.5673
山	0.4568	0.4971	0.5472	0.5338	0.5302
広	0.4342	0.4706	0.5508	0.6108	0.5792
山	0.4444	0.4754	0.5933	0.5998	0.5814
徳	0.4286	0.4583	0.5500	0.5794	0.5616
香	0.4419	0.5106	0.5692	0.5605	0.5519
愛	0.4717	0.5172	0.5495	0.5139	0.5188
高	0.4783	0.5167	0.5120	0.5336	0.5278
福	0.4348	0.4850	0.5925	0.5303	0.5341
佐	0.4595	0.4925	0.5587	0.5075	0.5148
熊	0.4400	0.4478	0.5000	0.5524	0.5385
大	0.4773	0.4907	0.5341	0.5243	0.5226
宮	0.4464	0.4957	0.5755	0.5399	0.5416
鹿	0.4483	0.4928	0.4898	0.5421	0.5309
児	0.4464	0.4558	0.5437	0.5795	0.5656
全 国	0.4429	0.5012	0.5521	0.5289	0.5280

第25表 農 業 労 働 力 (全国計)

(単位:万人)

統計の種類	昭40	41	42	43	44	45	46	47	減少率 (昭45~47 平均年率) %
(1)農業労働力	男	447	—	—	—	371	356	322	6.61
	女	507	—	—	—	409	398	360	5.99
	計	954	—	—	—	780	754	682	6.28
(2)農業就業者	男	446	432	421	417	410	385	324	7.92
	女	544	522	508	490	467	438	364	8.45
	計	990	954	929	907	878	823	687	8.27
(3)農業就業人口	男	456	460	443	428	408	397	378	6.43
	女	695	678	657	630	605	628	554	5.89
	計	1,151	1,138	1,100	1,058	1,013	1,025	960	6.10

備考: (1)の農業労働力は、専従者基準で換算した推計値で、期首の値である。

(2)の農業就業者は「労働力調査」(総理府統計局)の結果で、年平均の値である。

(3)の農業就業人口は「農業センサス」,「農業調査」(農林省統計情報部)の結果で期首の値である。

なお農業の従事日数の立場から農業労働力を推計するに必要な資料としては、本稿で用いた「農業センサス」、「農業調査」の資料のほかに「農家経済調査」の資料を利用することができる。これを用いて推計した値についても考察する必要があるが、ここでは省略して他の機会に譲ることとする。

注(1) 「労働力調査」は、特定の期間中の実際の状態⁴に基づいて行なう調査方式であるから、調査結果から得られた農業就業者のなかにはフリッジ・レーバ¹の就業者が含まれるのがたてまえである。したがってここで述べた農業労働力(専従者基準による)の値と、一致する必然性は本来ないはずである。本文中で述べたように両者の値が相対的に近似しているのは、「労働力調査」において把握した農業就業者には専従労働力、補助労働力を中心であって、フリッジ・レーバ¹は把握されていないとみることがができる。

六 要 約

(1) 農業労働力をあらわす統計の水準や減少率は調査方式によって種々異なるが、これはまた当然である。しかしながら昭和四〇年頃までは相対的にその開差が小さかったが、これ以降は次第にその開差が拡大してきている。これは農業と他の産業に従事する者が増大してきたために、あたかもととしての人数

で把握された農業労働力と、農業生産に実際に投入された労働力に大きなギャップが生じているためである。

(2) この意味で農業の従事日数ウェイトによる労働力の量的把握を推計しようとしたのが本稿の目的であるが、この場合に全国一本の形ではなく、都道府県の立場からこれを求めた。使用した資料は「農業センサス」、「農業調査」(農林省統計情報部)である。

(3) 年間の農業従事日数が一五〇日以上という専従者を基準に考え、従事日数が六〇〜一四九日のものを補助労働力、六〇日未満のものをフリッジ・レーバーとし、これらを専従者単位で換算・推計した。推計結果を昭和四〇年についてみると、全国男女計で九五四・三万人(男四四七・一万人、女五〇七・三万人)であり、これは農業従事者総数一五四・四万人の六割余である。また労働力の内訳は専従労働力のシェアが八〇・〇%、補助労働力が一三・三%、フリッジ・レーバーが六・七%である(第八表参照)。

(4) 農業労働力の地域性をみると、専従労働力のシェアが相対的に大きいのは北海道、ついで北関東であり、反対にこの値が小さいのは近畿、ついで東海である。補助労働力の場合には近畿、東海、山陽が相対的に大きく、北海道ついで北関東ではその値が相対的に小さい。フリッジ・レーバーの場合には近畿

が著しく大きく、逆に北海道では目立ってその値が小さい(第八表参照)。

(5) 次に昭和四五年における推計値をみると、全国男女計で七八〇・〇万人(男三七一・一万人、女四〇九・〇万人)であり、これは農業従事者総数一五四・五万人の約五割である。また労働力の内訳は専従労働力のシェアが七二・四%、補助労働力が一七・二%、フリッジ・レーバーが一〇・四%となり、専従労働力の低下、補助労働力、フリッジ・レーバーの増大の傾向を示している(第八表参照)。

(6) 農業労働力の地域的特徴については、おおむね四〇年の場合と大同小異であるが、専従労働力のシェアが相対的に小さい地域として、北陸および山陽が新たに出現してきている。また補助労働力では北陸がそのシェアを大きくしているのが目立っている(第八表参照)。

(7) 専従者基準による農業労働力について、四〇年から四七年にいたる変動指数をみると、この期間内に全体として〇・七一倍に低下しているが、専従労働力は〇・六三倍に激減、補助労働力は〇・九六倍とわずかな減少、フリッジ・レーバーは一・二二倍に増加してきている。次にこれを地域別にみると、専従労働力の減少は山陽、近畿、北陸で著しいのに対して、南関東では減少の程度が緩やかである。補助労働力の場合には北

海道、近畿、東海で減少傾向が著しく、逆に東北、北陸、北関東ではむしろ増加を示している点が特徴的である。フリンジ・レーバーの場合には北海道が減少しているのを除くと各地域とも増大しているが、なかでも北関東、北陸、東山ではその程度が著しい（第一三表参照）。

(8) 農業における老齢労働力（六〇歳以上）を専従者基準で推計すると、昭和四〇年で全国男女計で一五五・一万人（男九六・一万人、女五九・〇万人）であるが、男子の割合が六二％と高い値である。農業労働力は既述のように女子のほうが多かったが、老齢労働力についてみると男子のほうが遙かに多いことがわかる。さらに専従労働のシェアは男子七七％、女子が六三％というように男子のほうが大きい、補助労働力では男が一七％、女が二三％、またフリンジ・レーバーでは男が六％、女が一四％というように女子のほうが大きい点は特徴的である（第一五表参照）。

(9) 農業労働力のうち老齢労働力の占める老齢比率をみると、昭和四〇年において全国男女計では〇・一六二五であるが、男子が〇・二二四九、女子が〇・一一六三というように男子のほうが倍近い値を示している。さらにこの内容を見ると専従労働力では、男子が〇・二〇六五、女子が〇・〇九一六、また補助労働力では男子が〇・二八八〇、女子が〇・一九四〇というよ

うに男子のほうが格段に大きい。これに対してフリンジ・レーバーの場合には女子のほうが男子に比べて著しく大きい（第一六表参照）。

(10) 次に昭和四五年における老齢比率をみると、全国平均では男子の場合には〇・二三四九、女子のそれは〇・一三八二というように、男子のほうが格段に大きい点は四〇年の場合と同様であるが、老齢比率の上昇傾向は男子が一・〇九倍、女子が一・一九倍と、女子における老齢化傾向がより進行している。

しかしながらこれを就業状態別に区分してみると、専従労働力の老齢比率は男子より女子のほうが上昇傾向が大きい、補助労働力、フリンジ・レーバーの場合には逆に男子のほうが大きい（第一六表参照）。

(11) 老齢比率の地域的性格をみると、専従労働力の場合にこの値が大きい地域は、男子では山陽、近畿、東海、東山、四国の諸地域、女子では山陽、四国、山陰、南九州という西日本地帯に多い。逆にこの値が小さい地域は男女とも北海道、東北という東日本地帯に多いのが特徴的である。次に補助労働力の場合にこの値が大きい地域は、男子では北海道、女子では南九州、山陽、山陰であり、逆にこの値が小さい地域は、男女とも東北、北陸が目立っている。最後にフリンジ・レーバーの場合にこの値が大きい地域は、男子では北海道、女子では北海道、北関東、

南九州であり、逆にこの値が小さい地域は、男子では東山、女子では近畿が著しい（第一六表参照）。

(12) 農業労働力における女性比率をみると、昭和四〇年で〇・五三一五というように女子のほうが男子より大きいことは明らかである。いっぽう非農林就業者の場合にはこの値は三六%前後の水準であるから、農業労働力の女性比率が五〇%以上の値を示す点は、農業労働力の大きな特徴である。さらにこれを地域別にみると、この値が相対的に大きいところは山陰、南九州、山陽であり、逆にこの値が相対的に小さいところは近畿、南関東が目立っている（第二一表参照）。

(13) 女性比率の値を就業状態別に見ると、専従労働力の場合にこの値が大きい地域は、山陰、山陽ついで北陸、南九州であり、逆にこの値が小さい地域は、近畿ついで北海道、北関東、南関東である。つぎに補助労働力の場合には、北海道、東海でこの値が大きく、逆に東北では女性比率が小さい。またフリンジ・レーバーの場合には、北海道においてその値が大きいのが目立っている（第二一表参照）。

(14) 農業労働力の女性比率が時間的に如何に変動してきたかをみると、昭和四〇年から四七年にいたる期間内では、全国平均でみるかぎりこの値の上昇はみられず、むしろ減少のみである。とくに北海道、東北では女性比率の低下傾向が大きく、四

国では逆にやや上昇傾向がみられる。一般に東日本地帯では低下傾向が、西日本地帯では上昇傾向がみられるのが地域的特徴である（第二二表参照）。

(15) 女性比率の変動を就業状態別に見ると、専従労働力の場合には北海道と東北において低下傾向が大きく、南関東と四国では逆に上昇傾向がみられる。次に補助労働力の場合には、東海と山陽において上昇傾向が著しく、南関東と東北では逆に低下傾向が大きい。最後にフリンジ・レーバーの場合には、北海道において上昇傾向が著しく、ついで山陽、北陸、東北でも上昇がみられる。これに対して南関東、北関東では女性比率が著しく低下してきている点が特徴的である（第二二表参照）。